

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 8157

件 名	市道 1 8 8 9 号線道路改良工事	
履行場所	海老名市 めぐみ町 地内	
工 期	令和 8 年 11 月 9 日～令和 9 年 6 月 30 日 (234 日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり ○週休2日制確保工事(現場閉所)の対象案件 ○複数年契約 ○入札は期間全体の税抜金額 ○各年度の支払限度額については、契約締結時に示します	
予定価格	105,358,000 円 (税込)	95,780,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (事前算定型) ※本案件は、スクラップ費を一般管理費に含めて最低制限価格を算出しています。 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参 加 条 件	営業種目	010 土木一式 経審 - 点以上 - 点未満		○下請契約の請負代金の合計の額 が5千万円（建築一式工事の場合は 8千万円）以上となる場合には特定 建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技 術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認し てください。	第 1 区分		第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業 実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入している こと。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く		
	落札件数制限	あり （第1区分及び第2区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで） 詳細は入札説明書等を参照してください。		
配置技術者等の 兼任について		本案件に配置する主任（監理）技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・ 一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。		
事前提出書類 (システム添付)		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入してい ることを証する書類の写し。（次の（1）～（3）のいずれか） （1）経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し ※ <u>経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> （2） <u>（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）</u> 健康保険、厚生年金保険及び 労働（雇用）保険料の領収書の写し （3） <u>（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）</u> 健康保険、厚生年金保 険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書		
入札時提出 (システム添付)		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書(工事入札時システム添付)」をダウ ンロードして使用してください。 <u>システムへはPDF化して添付してください。</u>		

**落札候補者が
提出する書類**
(FAX046-232-6574)

開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。
(落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。)

- 配置技術者等に関する書類
- 建設業許可の確認できる書類

案 内 図

工事件名： 市道1889号線道路改良工事

工事箇所： 海老名市 めぐみ町 地内

市道名称： 市道1889号線



施工条件明示書（土木工事共通）

1 工事概要

発注者	海老名市		
工事件名	市道1889号線道路改良工事		
工事場所	海老名市	めぐみ町	地内
工事目的	本工事は、歩道の新規整備、車道の拡幅整備、クランク状区間の解消を実施し、利用者が安全に通行できる通行空間を創出するものです。		
工事概要	施工延長 L=98.47m ・撤去工 1.0式 ・土工 1.0式 ・排水工 1.0式 ・舗装工 1.0式 ・下水道切回し工 1.0式 ・附帯工1 1.0式 ・附帯工2 1.0式 ・区画線工 1.0式 ・電気設備工 1.0式 ・仮設工 1.0式		
契約工期	令和8年11月9日 から 令和9年6月30日 まで		
事業区分	☒ 補助金事業	☒ 国庫	
		☐ 県費	
設計区分	☐ 市単独事業		
	☒ 単独積算		
	☐ 合算積算	工事	
		工事	

2 積算諸条件

主たる工種 : 道路改良工事
施工地域・工事場所区分 : 一般交通影響有り（2）
契約保証の方法 : 発注者が金銭的保証を必要とする
施工パッケージの使用（一部使用含む） : ☒ 有 ☐ 無
週休二日制確保工事該当の有無 : 週休2日制確保工事（現場閉所）

【使用歩掛及び単価等】

☒ 土木工事標準積算基準書	適用年版：令和	8年	7月
☒ 諸経費率	適用年版：令和	8年	7月
☒ 下水道用設計標準歩掛表	適用年版：令和	8年版	
☒ 土木工事資材等単価表	適用年版：令和	8年	8月
☒ 刊行物	適用年版：令和	8年	7月
☐ 特別調査	適用年版：令和	年	月
☒ 海老名市見積単価等	適用年版：令和	8年	4月
☐ その他（ ）	適用年版：令和	年	月

3 施工条件

【1】 工程関係	1	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	☐ 無 (他工事件名等) ☒ 有 (工期、内容等) (完了時期の制約あり) 令和9年7月上旬までに施工ヤードの引渡し
	2	当工事における施工時期の制約について	☐ 無 (制約を受ける施工内容等) ・施工ヤード内で他機関にてボーリング調査を実施予定。 ・新設歩道内に他機関にて新設水道管埋設予定。 ☒ 有 (施工時期等) ・(ボーリング調査) 調査時期未定。 ・(新設水道管埋設) 令和9年3月(予定)
	3	施工時間について	☐ 昼間施工 (その他特記事項) ☒ 夜間施工(一部含む)
	4	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	☐ 無 (関係機関名) ☒ 有 神奈川県警(海老名警察署)、海老名水道営業所、海老名市立図書館、総合福祉会館、文化会館
	5	工事着手前に地上物件(家屋調査)、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	☒ 無 (対象内容) ☐ 有
	※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。		
	6	設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数について	☐ 無 (詳細内容、作業不能日数等) ☒ 有 年末年始休暇6日間
【2】 用地関係	1	工事用地等の未処理部分について(用地買収状況について)	☒ 無 (用地未取得部分等) ☐ 有 (取得予定年月日等)
	2	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	☐ 無 (使用場所、期間、借用条件、復旧方法等) ☒ 有 市民ギャラリー及び商工会議所跡地を施工ヤードとして使用可能。(発注者提供用地)
	3	使用後の復旧条件	☐ 無 (復旧内容等) ☒ 有 敷均しを行うこと。
【3】 公害関係	1	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	☐ 無 (建設機械と制限内容) 騒音規制法、振動規制法による ☒ 有 (作業時間と制限内容) 騒音規制法、振動規制法による
	2	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	☒ 無 (対策内容) ☐ 有

【４】 安全対策 関係	1	安全施設等の指定について（有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む）	☒ 無 （指定内容） ☐ 有
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	☐ 無 （対象内容） ☒ 有 ☐ 鉄道 ☐ ガス ☐ 電気 ☐ 電話 ☒ 上水道 ☐ 下水道 ☐ その他（ ）
	3	交通誘導警備員の配置について	☐ 無 （１）交通誘導員の配置 ・工事内容ごとに必要人員を配置（交代要員なし） ☒ 有 （搬入中・後の処置）
【５】 工事用道 路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	☒ 無 （搬入経路・使用期間等の制限） ☐ 有 （搬入中・後の処置）
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	☒ 無 （仮設道路に関する安全施設） ☐ 有 （工事後の措置、維持補修内容）
【６】 建設副産 物関係	1	建設発生土が発生する場合について	☐ 無 （建設発生土の処分先） ☒ 有 処分先指定あり。
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	☐ 無 （対象内容） ☒ コンクリート塊 ☒ アスファルト・コンクリート塊 ☐ 建設発生木材 ☒ 建設発生木材（伐木・除根材） ☒ 建設汚泥 ☒ 建設混合廃棄物 ☒ 金属くず ☐ その他（ ）
		※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること ※この工事が「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成３年法律第48号）」の規定より再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。	
【７】 工事支障 物件	1	工事支障物件について（地下埋設物含む）	☐ 無 （対象内容） ☐ 電柱 ☒ 上水道 ☐ 下水道 ☐ 電話 ☐ ガス管 ☒ 有 ☐ 架空電線 ☐ 標識・看板 ☐ その他（ ）

【8】 薬液注入 関係	1	薬液注入について	☒ 無	(対象内容)
			工法区分： 使用材料： ☐ 有 施工範囲、削孔数： 注入量： 施工管理基準等：	
【9】 その他	1	工事現場発生品がある 場合について	☒ 無	(品名、数量等)
			☐ 有	
	2	支給材料及び貸与品が ある場合について	☒ 無	(品名、数量等)
			☐ 有	
	3	特殊・特定使用材料を 使用する場合及び資材 搬入等に制限がある場 合について	☒ 無	(品名、数量、搬入制限等)
			☐ 有	
4	発生売却品評価額（ス クラップ等）を計上し ている場合について	☐ 無	(品名等)	
		☒ 有	駐輪場廃材等 諸経費対象外	
5	週休2日制確保工事 (現場閉所)	☐ 無	☒ 現場閉所による週休2日制確保工事 ☒ 有 ☐ 交替制による週休2日制確保工事 ☐ 対象外	
6		☐ 無		
			☐ 有	

※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

工 事 説 明 書 (特 記 仕 様 書)

工事件名 : 市道 1 8 8 9 号線道路改良工事
工事場所 : 海老名市 めぐみ町 地内
路線名称 : 市道 1 8 8 9 号線

1. 工事目的

○本工事は歩道の新規整備、車道の拡幅整備、クランク状区間の解消を実施し、利用者が安全に通行できる通行空間を創出するものです。

2. 工事概要

○施工延長 L=98.47m

・撤去工	1.0 式	・土工	1.0 式	・排水工	1.0 式
・舗装工	1.0 式	・下水道切回し工	1.0 式		
・附帯工 1	1.0 式	・附帯工 2	1.0 式	・区画線工	1.0 式
・電気設備工	1.0 式	・仮設工	1.0 式		

3. 仕様（施工管理）

○本工事は、「海老名市土木工事共通仕様書及び土木工事施工管理基準」に基づき施工すること。但し、測定基準において、施工延長 L=40.0m とあるものは、L=20.0m とし、L=20.0m 未満については、2 箇所とすること。

○海老名市土木工事共通仕様書及び土木工事施工管理基準に基づき舗装工については以下の試験を行うこととする。試験は各工種の施工数量により対応すること。

- ・アスファルト舗装工、アスファルト安定処理工
現場密度の測定・コア抜き
(1000 m²未満 3 個 別途 1000 m²毎に 1 個追加)
- ・上層路盤
現場密度の測定 (300 m²以上 3 個実施)
- ・下層路盤
現場密度測定 (300 m²以上 3 個実施)
プルフローリング (段階確認項目)
- ・路床（道路土工）
現場密度測定 (300 m²以上 3 個実施)
プルフローリング (段階確認項目)
- ・排水性舗装
現場透水性試験 (10 箇所実施)
- ・透水性舗装
現場透水性試験 (10 箇所実施)

○上記の試験については海老名市土木工事施工管理基準により、300 m²未満は小規模により省略することもできる。

ただし、監督員が必要と認める場合は施工計画段階の協議により決定する。

○型枠材料については、熱帯雨林材の使用を避けること。

○海老名市公共工事デジタル写真管理要領に基づき工事写真を作成し、提出することとするが、詳細については、監督員と協議し、決定する。

○道路計画高等、必要段階に於いては、監督員に立会いを求め、承認の上、施工を推進すること。

○再生砂(RC-10)を使用する際、六価クロムについて、平成3年8月23日付環境庁告示第46号に規定されている測定方法に基づき、予め土壤汚染に係る環境基準に適合することを確認し、製造者側から試験結果報告書を入手し、六価クロムに係る環境基準の適合確認をした上で、監督員に報告書を提出し、確認を受けることとする。

○舗装切断時に発生する濁水処理に係る仕様については、別添『舗装切断時に発生する濁水処理に係る特記仕様書』を参照すること。

○上記以外の内容については、監督員と協議し、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

4. 工程管理

○契約工期

令和8年11月9日から令和9年6月30日まで

○詳細な工程については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

5. 安全対策

○道路使用許可条件（交通管理、施工時間等）を遵守すること。

尚、利用者の安全上、やむを得ず施工時間が許可範囲を超えてしまう場合、監督員に連絡するとともに、交通管理者（所轄警察署）に連絡をすること。

○工事区域の安全対策を十分に施し、道路管理者、道路利用者及び現場作業員等の安全を確保すること。

○特に作業を行わない時は第三者が工事区域内に入り込まないように、安全対策（安全柵・チューブライト等により）を十分に行うこと。尚、特に夜間の安全管理については、留意すること。

○工事実施期間中に現場を開放する場合（工事実施時間帯以外）、現況道路高と計画道路高に段差が生ずる時には、必ず安全対策（看板設置・段差擦り付け・通行止め等）を講ずること。

○風雨が強い場合、工事現場の見周りをを行い、工事看板、仮囲い、仮設電力、重機等に破損、転倒等が無いか確認し、監督員に状況を報告すること。又、気象情報で注意報及び警報が発令された場合においては、特に留意すること。

○詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

6. 仮設備関係

○仮設備（現場事務所等）の建設については、位置・規模等について監督員の承諾を得ること。

○工事用電力、用排水、水道、仮設駐車場、現場事務所に係る建設費用等は、

請負業者の負担とする。

○詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

7. 道路関係

- 一般道路を工事用資器材等の搬入に使用するので、搬入経路・使用期間等を明確にすること。
- 工事車両については、速やかに工事ヤード内に誘導し、道路上で工事車両が待機し、一般車及び公共交通車両の通行を妨げないようにする。
- 一般道路を使用するときは、関係法令を遵守し、道路管理者、交通管理者等の許可を得ること。尚、大型車両を使用する場合、規定の路線を利用し、十分に速度を落とし、安全に留意して走行すること。
- 施工段階で、周辺道路の通行止めを行う場合、所轄警察署の許可を得ることは基より、通行止めの予告・案内看板等により、車両及び人を安全に誘導すること。尚、看板設置位置等については、監督員と協議し、承諾を得ること。
- 一般道路を通行止めとする場合、その期間が極力短くなる創意工夫した提案を監督員に行う。
- 夜間にて、資材等の搬入を行う場合に於いても、十分留意すること。
- 資機材の搬入路については、新設道路であるため、監督員と協議を行い、決定すること。
- 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承認を得ること。

8. 建設副産物関係

- 建設副産物の処分は、建設リサイクル法等を遵守し、再生工場に搬入すること。
- 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承認を得ること。
また、この工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。

9. 海老名環境マネジメントシステム関係

○本工事は、海老名市環境マネジメントシステムの公共工事環境配慮マニュアル適用工事であり、下表の事項に留意し施工すること。

適用工事件名	市道1889号線道路改良工事
作業	配慮事項
掘削	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
排出土処理	排出土中に他の廃棄物が混入しないように分別する。
埋戻し(盛土)	現場内排出土及び再生砕石を使用する。
コンクリート取壊し	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する。(マニフェスト管理) 周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
アスファルト取壊し	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する。(マニフェスト管理) 周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に

	抑える。
構造物	基礎材は、再生砕石を使用する。
路盤工	路盤材は再生材（RC-10・RM-40・RC-40）を使用する。
舗装工 (車道及び歩道)	舗装材には一部を除き、リサイクル材を採用する。
工事作業 機械車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。
	排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用する。
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。

10. 工事全般

- 工事に際し、現場代理人及び主任技術者は設計図書を熟知し、現場代理人に於いて、作業中現場に常駐すること。又、現場代理人は、施工計画書を作成し、事前に監督員の承諾を得ること。尚、本工事の内容に応じた安全訓練等の具体的な計画も作成し、明記すること。
- 事前調査は十分に行い、不明確な部分については打合せ簿により施工前に監督員と協議し、確認を得ること。尚、工事打合せ簿においては、指定の書式を使用すること。**(海老名市ホームページ内 『工事提出書類様式集』 参照)**
- 工事に際し、事前に関係者へ十分な周知を図るとともに、民地内に立ち入る場合は、了解を得てから実施すること。
- 基準点、測量点及び境界点は、工事着手前に点検し、保存の必要があれば確保し、関係者より復元等を求められた場合は、早急に復元すること。
- 騒音、振動及び粉塵等により駅利用者に対し不利益になりうる事は、工事期間・時間及び施工方法等を十分配慮し、施工に当たること。
- 掘削位置直近の構造物（ブロック塀等）は、施工前に状態を確認し、必要であれば、地権者に立会いを求め、記録し、監督員に報告すること。
- 工事現場から発生する不要物等が、工事エリア外に飛散、流出等しないよう必要な処置を講じること。
- 請負業者(下請業者含)は、関連法令の遵守の上、公共事業という認識を常に持ち責務を果たすこと。
- 道路占用物件(ライフライン等)の移設及び撤去が生ずる場合、関係機関との調整を十分行い、監督職員に報告し、工事を円滑に履行すること。
- 設計図書及び工事説明書(特記仕様書)に記載されていない事項については、監督職員と協議の上、履行すること。
- 工事提出書類については十分把握し、適正に作成すること。
(海老名市ホームページ内 『工事提出書類様式集』 参照)
- 本工事は、**『道路改良工事』**で積算しています。
- その他の条件等については、別途**『施工条件明示書』**を参照すること。
- 本仕様書に定めのない事項については、その都度、監督員と請負者で協議を行い、決定していくこと。

11. その他（工程関係）

- 速やかな工事着手と完成引き渡しについて、発注者と協議すること。
- 文化会館、総合福祉会館、海老名市立図書館の施設運用に支障ないよう作業計画を作成すること。また必要に応じ、作業内容及び工程等を周知し、円滑

な施工管理に努めること。

- 本工事作業区間内で、水道管の切回し工事（別工事）を予定しているため、他企業と工程調整を行う必要があります。
- 本路線はコミュニティバス路線に指定されており、バス停も配置されています。そのため、施工中はバスの運行ルートを確保すること。（片側交互通行等の一時規制は可とします。）

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

(趣旨)

第1条 この特記仕様書は、海老名市土木工事共通仕様書等に定めるもののほか、舗装版切断時に発生する濁水の処理に関し必要な事項を定めるものとする。

(適用)

第2条 海老名市が発注する工事で、舗装版の切断作業に適用する。

(処理方法)

第3条 舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

(条件)

第4条 受注者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

- 2 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

(提出書類等)

第5条 受注者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、受注者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。また、受注者が濁水の収集運搬を委託した場合は、受注者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。

- 2 受注者は、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。

(その他)

第6条 この特記仕様書に疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

令和8年度
市道1889号線道路改良工事

数量計算書

市道1889号線道路改良工事
数量計算書(1)

上段() : 変更前
下段 : 変更後

名 称	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	備 考
撤去工	撤去工	舗装版切断	15cm以下	m	84.3	
		Con舗装版切断	15cm以下	m	10.6	
		舗装版切断濁水処理工	t=5cm	式	1.0	
		舗装版切断濁水処理工	t=4cm	式	1.0	
		舗装版切断濁水処理工	t=7cm	式	1.0	
		As舗装盤破砕	対策必要 15cm以下	m2	519.4	
		As舗装盤破砕【夜間】	対策必要 15cm以下		287.4	
		Con舗装版破砕	対策必要 15cm以下	m2	136.8	
		インターロッキングﾌﾞﾛｯｸ撤去	t=6cm	m2	71.0	
		インターロッキングﾌﾞﾛｯｸ撤去	t=8cm	m2	9.4	
		インターロッキングﾌﾞﾛｯｸ撤去(再利用目的)	t=6cm	m2	83.2	
		インターロッキングﾌﾞﾛｯｸ撤去(再利用目的)	t=8cm	m2	17.5	
		平板ﾌﾞﾛｯｸ撤去	t=6cm	m2	138.7	
		As舗装殻運搬	運搬距離≦4.0km	m3	25.0	
		As舗装殻運搬【夜間】	運搬距離≦4.0km	m3	14.3	
		As殻処分		m3	39.3	
		Con舗装版運搬・処分	運搬距離≦4.0km	m3	22.9	
		Con殻処分		m3	22.9	
		構造物とりこわし(無筋)	対策必要	m3	28.8	
		構造物とりこわし(有筋)	対策必要	m3	33.8	
		Co殻運搬・処分(無筋)		m3	28.8	
		Co殻運搬・処分(有筋)		m3	33.8	
		現場発生品運搬		t	2.7	
		混合廃棄物処分		t	0.2	
		スクラップ処分		t	2.5	控除対象
		支障木伐採、伐根	低木 幹周20cm未満	本	6.0	
		支障木伐採、伐根	高木 幹周60cm以上90cm未満	本	1.0	
		支障木伐採、伐根	高木 幹周120cm	本	1.0	
		支障木伐採、伐根	高木 幹周157cm	本	1.0	
		木くず処分	枝・葉	t	2.3	
		木くず処分	根	t	2.3	
土工	土工	機械掘削(OP)	土砂	m3	680.6	
		機械掘削(OP)【夜間】	土砂	m3	53.2	

市道1889号線道路改良工事
数量計算書(1)

		機械床掘り(標準)	土砂	m3	105.8	
		機械床掘り(障害あり)	土砂	m3	3.0	
		路床盛土【夜間】	土砂	m3	2.2	
		機械埋戻し	RC-40	m3	48.8	
		機械埋戻し	発生土	m3	46.8	
		機械埋戻し	RC-10	m3	16.7	
		路床置換え	RC-40	m3	239.8	
		積込み	ルーズ	m3	53.2	
		残土運搬	土砂 L≤19.5km以下	m3	829.2	
		建設発生土処分		m3	829.2	
		残地敷均し		m2	1172.0	
排水工	排水工	L型側溝		m	1.7	
		L型側溝1		m	10.6	
		L型側溝(擦付け)		m	16.1	
		縦断側溝①		m	12.1	
		縦断側溝②		m	79.5	
		縦断側溝③		m	35.1	
		縦断側溝④		m	4.4	
		管理柵①		基	5.0	
		管理柵②		基	2.0	
		管理柵③		基	1.0	
		集水柵	□400	基	1.0	
		暗渠管	φ300	m	6.5	
舗装工	車道舗装1	表層(昼)	再生密粒度As(13) t=50mm	m2	399.2	
		上層路盤(昼)	再生粒度調整碎石(RM-40) t=150mm	m2	399.2	
		下層路盤(昼)	再生クラッシャーラン(RC-40) t=200mm	m2	399.2	
		表層(夜)	再生密粒度As(13) t=50mm	m2	115.0	
		上層路盤(夜)	再生粒度調整碎石(RM-40) t=150mm	m2	115.0	
		下層路盤(夜)	再生クラッシャーラン(RC-40) t=200mm	m2	115.0	
	車道舗装2	表層(夜)	再生密粒度As(13) t=50mm	m2	228.0	
		不陸整生(夜)	再生粒度調整碎石(RM-40) t=30mm	m2	228.0	
	平板ﾌﾞﾛｯｸ舗装 (歩道)	表層	透水性 t=60mm	m2	324.4	
		下層路盤	再生クラッシャーラン(RC-40) t=100mm	m2	324.4	
	歩道舗装1 (切下げ)	表層	再生密粒度As(13) t=50mm	m2	33.4	
		下層路盤	再生クラッシャーラン(RC-40) t=200mm	m2	33.4	
	歩道舗装2 (透水性)	表層	開粒度As(13) t=40mm	m2	4.9	
		下層路盤	再生クラッシャーラン(RC-40) t=100mm	m2	4.9	

市道1889号線道路改良工事
数量計算書(1)

	摺り付け舗装1 広場	表層	再生密粒度As (13) t=50mm	m2	6.4	
		不陸整生	再生粒度調整碎石 (RM-40) t=30mm	m2	6.4	
	摺り付け舗装2 広場	表層	開粒度As (13) t=40mm	m2	113.2	
		下層路盤	再生クラッシャーラン (RC-40) t=100mm	m2	113.2	
	インターロッキング改修1 (擦り付け)	表層	インターロッキングブロック t=80mm	m2	17.5	再利用
		フィルター層	RC-10 t=30mm	m2	17.5	
		下層路盤	再生クラッシャーラン (RC-40) t=150mm	m2	17.5	
	インターロッキング改修2 (擦り付け)	表層	インターロッキングブロック (透水性) t=60mm	m2	83.2	再利用
		フィルター層	RC-10 t=30mm	m2	83.2	
	カー舗装		歩道、緑色	m2	1.1	
	カー舗装		車道、赤色	m2	105.0	
下水道切回し工	別紙「数量総括表2による」					
附帯工 1		歩車道境界ブロック	両R	m	129.4	
		歩車道境界ブロック	フラット	m	16.9	
		歩車道境界ブロック	横断歩道	m	3.1	
		地先境界ブロック (間仕切り部含む)		m	172.1	
		車止め		基	8.0	
		車止め	脱着式	基	4.0	
		ポストコーン		基	2.0	
		隔壁		m	10.0	
		簡易土留め		式	1.0	
		横断防止柵		m	18.0	
		郵便ポスト移設		基	1.0	
		仕切弁移設 (水道)		箇所	1.0	
		間詰コンクリート		m2	0.4	
		標識移設		基	6.0	
		点字シート	再利用	枚	621.0	
		点字ブロック		m2	1.5	
		防火水槽人孔改修 (設置)		基	1.0	
附帯工 2	別紙「数量総括表2による」					
区画線工		外側線	実線 白色 W=15cm	m	460.0	機械費及び労務費
				m	280.4	材料費
		外側線 (ドット)	破線 白色 W=15cm	m	5.0	機械費及び労務費
				m	3.0	材料費
		停止線	ゼブラ 白色 W=30cm	m	20.0	機械費及び労務費
				m	12.4	材料費
		ゼブラ、横断歩道	ゼブラ 白色 W=45cm	m	88.0	機械費及び労務費

市道1889号線道路改良工事
数量計算書(1)

				m	53.6	材料費
		消化栓	破線 橙色 W=15cm	m	7.0	機械費及び労務費
				m	4.0	材料費
		減速マーク	矢印・記号・文字 白色 15cm換算	m	59.0	機械費及び労務費
				m	36.0	材料費
		自転車マーク		箇所	4.0	
		矢羽根		箇所	11.0	
		路側線除去	W=15cm	箇所	25.1	
電気設備工		引込柱(分電盤含む)	H=6.0m	基	1.0	
		照明柱(LED・H=10.0m)		基	3.0	
		地中配管	FEP30	m	93.9	
		地中配線	CV3.5-2C	m	95.2	
		ハンドホール	600×600×600 中耐重鉄蓋付き	基	3.0	
仮設工		仮舗装 設置・撤去		m2	125.2	
		擦付け舗装 設置・撤去		m2	48.5	
		As殻運搬・処分		m3	7.5	
		交通誘導警備員B		現場	1.0	
		交通誘導警備員B	夜間	現場	1.0	

撤 去 工

撤去工集計

上段 () : 変更前

下段 : 変更後

細別	規格	単位	数量	摘要
舗装版切断	15cm以下	m	84.3	
Con舗装版切断	15cm以下	m	10.6	
舗装版切断濁水処理工	t=5cm	式	1.0	
舗装版切断濁水処理工	t=4cm	式	1.0	
舗装版切断濁水処理工	t=7cm	式	1.0	
As舗装盤破碎	対策必要 15cm以下	m2	519.4	
As舗装盤破碎【夜間】	対策必要 15cm以下		287.4	
Con舗装版破碎	対策必要 15cm以下	m2	136.8	
インターロッキングﾌﾞﾛｯｸ撤去	t=6cm	m2	71.0	
インターロッキングﾌﾞﾛｯｸ撤去	t=8cm	m2	9.4	
インターロッキングﾌﾞﾛｯｸ撤去（再利用目的	t=6cm	m2	83.2	
インターロッキングﾌﾞﾛｯｸ撤去（再利用目的	t=8cm	m2	17.5	
平板ﾌﾞﾛｯｸ撤去	t=6cm	m2	138.7	
As舗装殻運搬	運搬距離≦4.0km	m3	25.0	
As舗装殻運搬【夜間】	運搬距離≦4.0km	m3	14.3	
As殻処分		m3	39.3	
Con舗装版運搬・処分	運搬距離≦4.0km	m3	22.9	
Con殻処分		m3	22.9	
構造物とりこわし（無筋）	対策必要	m3	28.8	
構造物とりこわし（有筋）	対策必要	m3	33.8	
Co殻運搬・処分（無筋）		m3	28.8	
Co殻運搬・処分（有筋）		m3	33.8	
現場発生品運搬		t	2.7	
混合廃棄物処分		t	0.2	
スクラップ処分		t	2.5	
支障木伐採、伐根	低木 幹周20cm未満	本	6.0	
支障木伐採、伐根	高木 幹周60cm以上90cm未満	本	1.0	

支障木伐採、伐根	高木 幹周120cm	本	1.0	
支障木伐採、伐根	高木 幹周157cm	本	1.0	
木くず処分	枝・葉	t	2.3	
木くず処分	根	t	2.3	

撤去工（舗装）

上段（ ）：変更前
下段：変更後

名称	計算式	数量	単位
As舗装版切断 15cm以下	$ \begin{aligned} &t=5\text{cm} \\ &L= 4.8 \text{ m} + 7.4 \text{ m} + 5.5 \text{ m} + 7.6 \text{ m} \\ &\quad + 6.5 \text{ m} + 7.5 \text{ m} + 9.3 \text{ m} + 7.6 \text{ m} \\ &\quad + 6.1 \text{ m} + 6.1 \text{ m} + 10.2 \text{ m} \\ &\hspace{10em} = 78.6 \\ &t=4\text{cm} \\ &L= 5.7 \text{ m} \\ &\hspace{10em} = 5.7 \end{aligned} $ [別紙撤去平面図2より]	84.3	m
Co舗装版切断 15cm以下	$ \begin{aligned} &t=7\text{cm} \\ &L= 4.6 \text{ m} + 6.0 \text{ m} \end{aligned} $ [別紙撤去平面図2より]	10.6	m
舗装版切断濁水処理		1.0	式
As舗装盤破碎 対策必要 15cm以下	$ \begin{aligned} &t=5\text{cm} \\ &A= 379.1 \text{ m}^2 + 39.4 \text{ m}^2 \\ &\quad \text{車道} \quad \quad \quad \text{広場} \\ &\hspace{10em} = 418.5 \\ &t=4\text{cm} \\ &A= 70.9 \text{ m}^2 + 30.0 \text{ m}^2 \\ &\quad \text{歩道} \quad \quad \quad \text{歩道} \\ &\hspace{10em} = 100.9 \end{aligned} $ [別紙撤去平面図2より]	519.4	m ²
As舗装版破碎（夜） 対策必要 15cm以下	$ \begin{aligned} &t=5\text{cm} \\ &A= 153.6 \text{ m}^2 + 133.8 \text{ m}^2 \\ &\quad \text{車道} \quad \quad \quad \text{車道} \\ &\hspace{10em} [別紙撤去平面図2より] \end{aligned} $	287.4	m ²
Con舗装版破碎 対策必要 15cm以下	$ \begin{aligned} &t=7\text{cm} \\ &A= 6.5 \text{ m}^2 + 130.3 \text{ m}^2 \\ &\hspace{10em} [別紙撤去平面図2より] \end{aligned} $	136.8	m ²
インターロッキングﾌﾞﾛｯｸ撤去 t=6cm	$ \begin{aligned} &A= 28.1 \text{ m}^2 + 42.9 \text{ m}^2 \\ &\quad \text{※積込・運搬・処分は別表計上} \\ &\hspace{10em} [別紙撤去平面図2より] \end{aligned} $	71.0	m ²
インターロッキングﾌﾞﾛｯｸ撤去 t=8cm	$ \begin{aligned} &A= 9.4 \text{ m}^2 \\ &\quad \text{※積込・運搬・処分は別表計上} \\ &\hspace{10em} [別紙撤去平面図2より] \end{aligned} $	9.4	m ²
インターロッキングﾌﾞﾛｯｸ撤去（再利用目的） t=6cm	$ \begin{aligned} &A= 83.2 \text{ m}^2 \\ &\hspace{10em} [別紙撤去平面図2より] \end{aligned} $	83.2	m ²
インターロッキングﾌﾞﾛｯｸ撤去（再利用目的） t=8cm	$ \begin{aligned} &A= 17.5 \text{ m}^2 \\ &\hspace{10em} [別紙撤去平面図2より] \end{aligned} $	17.5	m ²
平板ﾌﾞﾛｯｸ撤去 t=6cm	$ \begin{aligned} &A= 94.4 \text{ m}^2 + 44.3 \text{ m}^2 \\ &\quad \text{※積込・運搬・処分は別表計上} \\ &\hspace{10em} [別紙撤去平面図2より] \end{aligned} $	138.7	m ²
As舗装殻運搬 運搬距離≤4.0km	[別紙舗装撤去集計表より]	25.0	m ³
As舗装殻運搬（夜） 運搬距離≤4.0km	[別紙舗装撤去集計表より]	14.3	m ³

As殻処分	V= 25.0 m ³ + 14.3 m ³	39.3	m ³
Con舗装版運搬 運搬距離≦4.0km	[別紙舗装撤去集計表より]	22.9	m ³
Con殻処分	V= 22.9 m ³	22.9	m ³

撤去工（街渠ほか）

上段（ ）：変更前
下段：変更後

名称	計算式	数量	単位
構造物とりこわし（無筋） 対策必要	$V = 28.8 \text{ m}^3$ [別紙取壊し集計表より]	28.8	m ³
構造物とりこわし（有筋） 対策必要	$V = 33.8 \text{ m}^3$ [別紙取壊し集計表より]	33.8	m ³
Co殻運搬・処分（無筋）	$V = 28.8 \text{ m}^3$ [別紙取壊し集計表より]	28.8	m ³
Co殻運搬・処分（有筋）	$V = 33.8 \text{ m}^3$ [別紙取壊し集計表より]	33.8	m ³
現場発生品運搬	$W = 0.2 \text{ t} + 2.3 \text{ t} + 0.18 \text{ t}$ 混合廃棄物 スクラップ（道路） スクラップ（下水）	2.7	t
混合廃棄物処分	$W = 0.2 \text{ t}$	0.2	t
スクラップ処分	$t = 2.3 \text{ t} + 0.18 \text{ t}$ 道路 下水道	2.5	t

撤去工（街渠ほか）

上段（ ）：変更前
下段：変更後

名称	計算式	数量	単位
L型側溝撤去	左側 $L = m + m + m = 0.0 \text{ m}$ + 右側 $L = 9.5 \text{ m} + 7.0 \text{ m} + m = 16.5 \text{ m}$ + [別紙撤去平面図1より]	16.5	m
L型街渠撤去1	左側 $L = 8.9 \text{ m} + m + m = 8.9 \text{ m}$ + 右側 $L = 9.3 \text{ m} + m + m = 9.3 \text{ m}$ + [別紙撤去平面図1より]	18.2	m
L型街渠撤去2	左側 $L = 5.4 \text{ m} + m + m = 5.4 \text{ m}$ + 右側 $L = 10.0 \text{ m} + 16.5 \text{ m} + 18.0 \text{ m} + 5.3 \text{ m} = 26.9 \text{ m} + 76.7 \text{ m}$ + [別紙撤去平面図1より]	82.1	m
U字溝撤去（CON蓋）	左側 $L = 33.5 \text{ m} + 10.8 \text{ m} + 7.1 \text{ m} + 11.4 \text{ m} = 62.8 \text{ m}$ + 右側 $L = m + m + m + m = 0.0 \text{ m}$ + [別紙撤去平面図1より]	62.8	m
U字溝撤去（Gr蓋）	左側 $L = 8.0 \text{ m} + 6.0 \text{ m} + m = 14.0 \text{ m}$ + 右側 $L = m + m + m + m = 0.0 \text{ m}$ + [別紙撤去平面図1より]	14.0	m
管理柵撤去	左側 $N = 3.0 \text{ 基}$ 右側 $N = 6.0 \text{ 基}$ [別紙撤去平面図1より]	9.0	基
集水柵撤去	左側 $N = \text{基}$ 右側 $N = 4.0 \text{ 基}$ [別紙撤去平面図1より]	4.0	基
暗渠管撤去 φ300	$L = 7.1 \text{ m} + 6.0 \text{ m}$ [別紙撤去平面図1より]	13.1	m
暗渠管撤去1 φ250	左側 $L = m + m + m + m = 0.0 \text{ m}$ + 右側 $L = 19.8 \text{ m} + 0.8 \text{ m} + 9.6 \text{ m} + 10.0 \text{ m} + m = 40.2 \text{ m}$ + [別紙撤去平面図1より]	40.2	m

歩車道境界ブロック撤去	左側 L= 9.3 m + m + m + m + m + m + m + m = 9.3 右側 L= m + m + m + m + m + m + m + m = 0.0 [別紙撤去平面図1より]	9.3	m
地先境界ブロック撤去	左側 L= 1.9 m + 5.6 m + 4.4 m + m + m + m + m + m = 11.9 右側 L= 54.9 m + m + m + m + m + m + m + m = 54.9 [別紙撤去平面図1より]	66.8	m
点字ブロック撤去 (再利用)	左側 A= m2 + m2 + m2 + m2 + m2 + m2 + m2 + m2 = 0.0 右側 A= 4.6 m2 + m2 + m2 + m2 + m2 + m2 + m2 + m2 = 4.6 [別紙撤去平面図1より]	4.6	m2
点字シート撤去	左側 A= 2.0 m2 + m2 + m2 + m2 + m2 + m2 + m2 + m2 = 2.0 右側 A= 1.8 m2 + m2 + m2 + m2 + m2 + m2 + m2 + m2 = 1.8 [別紙撤去平面図1より]	3.8	m2
車止め撤去 (チェーン付き)	左側 N= 本 = 0.0 右側 N= 5.0 本 = 5.0 [別紙撤去平面図1より]	5.0	本
車止め撤去	左側 N= 本 = 0.0 右側 N= 3.0 本 = 3.0 [別紙撤去平面図1より]	3.0	本
車止め撤去 (脱着式)	左側 N= 4.0 本 = 4.0 右側 N= 本 = 0.0 [別紙撤去平面図1より]	4.0	本
標識撤去	左側 N= 1.0 基 = 1.0 右側 N= 基 = 0.0 [別紙撤去平面図1より]	1.0	基
隔壁撤去	左側 L= 9.8 m [別紙撤去平面図1より]	9.8	m
U字溝撤去 (Gr) 広場	L= 5.9 m [別紙撤去平面図1より]	5.9	m

U字溝撤去1 広場	L= 15.8 m [別紙撤去平面図1より]	15.8	m
浸透柵撤去	N= 3.0 基 [別紙撤去平面図1より]	3.0	基
目隠し擁壁撤去	L= 17.9 m [別紙撤去平面図1より]	17.9	m
館名表示壁撤去	L= 5.2 m [別紙撤去平面図1より]	5.2	m
駐輪場撤去	N= 1.0 基 [別紙撤去平面図1より]	1.0	基
防火水槽改修(撤去)	N= 1.0 基 [別紙計画平面図より]	1.0	基

撤去工（樹木撤去）

上段（）：変更前
下段：変更後

名称	計算式	数量	単位
支障木伐採、伐根 低木 幹周20cm未満	N= 6.0 本	6.0	本
支障木伐採、伐根 高木 幹周60cm以上90cm未満	N= 1.0 本	1.0	本
支障木伐採、伐根 高木 幹周120cm	N= 1.0 本	1.0	本
支障木伐採、伐根 高木 幹周157cm	N= 1.0 本	1.0	本
木くず処分（参考） 低木	枝・葉 $V = 6.0 \text{ 本} \times 0.004 \text{ t・本} = 0.02 \text{ t}$ 根 $V = 6.0 \text{ 本} \times 0.002 \text{ t・本} = 0.01 \text{ t}$		
木くず処分（参考） 高木	枝・葉 $V = 3.0 \text{ 本} \times 0.750 \text{ t・本} = 2.25 \text{ t}$ 根 $V = 3.0 \text{ 本} \times 0.758 \text{ t・本} = 2.27 \text{ t}$		
木くず処分 枝・葉	$V = 0.02 \text{ t} + 2.25 \text{ t}$ 低木 高木	2.3	t
木くず処分 根	$V = 0.01 \text{ t} + 2.27 \text{ t}$ 低木 高木	2.3	t

舗装撤去 集計表

名 称	面 積 等	撤 去 量				摘 要
		アスファルト	コンクリート (無筋)			
		m3	m3			
As舗装殻撤去	(m2)					
車道 昼 t=5cm	418.5	20.93				
歩道 t=4cm	100.9	4.04				
車道 夜 t=5cm	287.4	14.37				
Con舗装殻撤去	(m2)					
t=7cm	136.8		9.6			
インターロッキングブロック撤去	(m2)					
t=6cm	71.0		4.3			
t=8cm	9.4		0.8			
平板ブロック撤去	(m2)					
t=6cm	138.7		8.3			
計		39.3	22.9	0.0	0.0	

取壊し集計表

名 称	単位 当り				延長等	撤 去 量				摘 要
	コンクリート (無筋)	コンクリート (有筋)	鋼 材	産廃		コンクリート (無筋)	コンクリート (鉄筋)	鋼材	産廃	
	m3	m3	t	t		m3	m3	t	t	
L型側溝撤去	0.169		0.004		16.5	2.79	0.00	0.07	0.00	
L型側溝撤去1	0.097				18.2	1.77	0.00	0.00	0.00	
L型側溝撤去2	0.132				82.1	10.84	0.00	0.00	0.00	
U字溝撤去 (CON蓋)	0.069	0.080			62.8	4.33	5.02	0.00	0.00	
U字溝撤去 (Gr蓋)	0.069	0.054	0.035		14.0	0.97	0.76	0.49	0.00	
管理柵撤去	0.256		0.027		9.0	2.30	0.00	0.24	0.00	
集水柵撤去	0.222	0.025			4.0	0.89	0.10	0.00	0.00	
暗渠管撤去 φ300		0.160			13.1	0.00	2.10	0.00	0.00	
暗渠管撤去1 φ250				0.004	40.2	0.00	0.00	0.00	0.16	
歩車道境界ブロック撤去	0.048				9.3	0.45	0.00	0.00	0.00	
地先境界ブロック撤去	0.031				66.8	2.07	0.00	0.00	0.00	
点字ブロック撤去 (再利用)	0.070				4.6	0.32	0.00	0.00	0.00	
点字シート撤去				0.005	3.8	0.00	0.00	0.00	0.02	
車止め撤去 (チェーン付き)	0.034		0.045		5.0	0.17	0.00	0.23	0.00	
車止め撤去	0.064		0.013		3.0	0.19	0.00	0.04	0.00	
車止め撤去 (脱着式)	0.028		0.010	0.007	4.0	0.11	0.00	0.04	0.03	
標識撤去	0.044		0.006		1.0	0.04	0.00	0.01	0.00	
隔壁撤去	0.075				11.4	0.86	0.00	0.00	0.00	
U字溝撤去 (Gr)		0.120	0.051		5.9	0.00	0.71	0.30	0.00	
U字溝撤去1		0.040	0.032		15.8	0.00	0.63	0.51	0.00	
浸透柵撤去	0.240		0.037		3.0	0.72	0.00	0.11	0.00	
目隠し擁壁撤去		0.663			17.9	0.00	11.87	0.00	0.00	
館名表示壁撤去		2.113			5.2	0.00	10.99	0.00	0.00	
駐輪場撤去		1.339	0.108		1.0	0.00	1.34	0.11	0.00	
防火水槽改修		0.277	0.192		1.0	0.00	0.28	0.19	0.00	
計						28.81	33.79	2.33	0.21	

± I

土工集計表

上段 () : 变更前

下段 : 変更後

[illegible]

土工

上段 () : 変更前
下段 : 変更後

名称	計算式	数量	単位
機械掘削 (OP) 土砂	V= 680.6 m ³ [別紙単位数量計算書、土量計算書より]	680.6	m ³
機械掘削 (OP) 【夜】 土砂	V= 53.2 m ³ [別紙単位数量計算書より]	53.2	m ³
機械床掘り (標準) 土砂	V= 47.8 m ³ + 58.0 m ³ [別紙単位数量計算書、土量計算書より]	105.8	m ³
機械床掘り (障害あり) 土砂	V= 3.0 m ³ [別紙土量計算書より]	3.0	m ³
路床盛土【夜】 RC-40	V= 2.2 m ³ [別紙単位数量計算書より]	2.2	m ³
機械埋戻し RC-40	V= 35.9 m ³ + 12.9 m ³ [別紙単位数量計算書、土量計算書より]	48.8	m ³
機械埋戻し 発生土	V= 1.9 m ³ + 44.9 m ³ [別紙単位数量計算書、土量計算書より]	46.8	m ³
機械埋戻し RC-10	V= 16.7 m ³ [別紙土量計算書より]	16.7	m ³
路床置換え RC-40	V= 239.8 m ³ [別紙単位数量計算書より]	239.8	m ³
積み ルーズ	V= 53.2 m ³ 夜間分	53.2	m ³
残土運搬 土砂 L≤19.5km以下	V= 680.6 m ³ + 105.8 m ³ - 46.8 m ³ + 36.4 m ³ + 53.2 m ³ [別紙単位数量計算書、土量計算書より]	829.2	m ³
建設発生土処分	[別紙単位数量計算書、土量計算書より]	829.2	m ³
残地敷均し	A= 908.0 m ² + 264.0 m ²	1172.0	m ²

土 量 計 算 書																
測 点			距 離	機械掘削 (OP)			機械掘削 (OP) 【夜】			機械床掘り (OP・標準)			路床盛土 (RC40) 【夜】			備考
				断面積	平均断面積	土 量	断面積	平均断面積	土 量	断面積	平均断面積	土 量	断面積	平均断面積	土 量	
No	2	+	2.250	0.000	0.15		0.00			0.34			0.00			
No	3	+	0.000	17.750	1.90	1.03	18.2	0.00	0.00	0.0	1.56	0.95	16.9	0.19	0.10	1.7
No	3	+	5.200	5.200	1.34	1.62	8.4	2.74	1.37	7.1	1.12	1.34	7.0	0.00	0.10	0.5
No	3	+	8.000	2.800	1.60	1.47	4.1	2.08	2.41	6.7	0.70	0.91	2.5	0.00	0.00	0.0
No	4	+	0.000	12.000	12.09	6.85	82.1	0.00	1.04	12.5	0.00	0.35	4.2	0.00	0.00	0.0
No	4	+	12.463	12.463	15.84	13.97	174.0	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0
No	5	+	0.000	7.537	14.92	15.38	115.9	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0
No	6	+	0.000	20.000	6.39	10.66	213.1	1.68	0.84	16.8	0.35	0.18	3.5	0.00	0.00	0.0
No	6	+	12.000	12.000	2.02	4.21	50.5	0.00	0.84	10.1	1.16	0.76	9.1	0.00	0.00	0.0
No	7	+	0.000	8.000	1.42	1.72	13.8	0.00	0.00	0.0	0.00	0.58	4.6	0.00	0.00	0.0
No	7	+	0.720	0.720	0.00	0.71	0.5	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0
									</							

測 点	距 離	機械埋戻し (RC40)			機械埋戻し (発生土)			路床置換え (RC40)			備考
		断面積	平均断面積	土 量	断面積	平均断面積	土 量	断面積	平均断面積	土 量	
No 2 + 2.250	0.000	0.28			0.00			No. 2+0.3~No. 3+0.43 A=35.1m ² : CAD計測 t=0.5m 17.6			
No 3 + 0.000	17.750	0.15	0.22	3.8	0.00	0.00	0				
No 3 + 5.200	5.200	0.66	0.41	2.1	0.00	0.00	0				
No 3 + 8.000	2.800	0.51	0.59	1.6	0.00	0.00	0				
No 4 + 0.000	12.000	0.32	0.42	5.0	0.00	0.00	0	No. 3+10.8~No. 6+0.09 A=444.5m ² : CAD計測 t=0.5m (置換え厚) 222.3			
No 4 + 12.463	12.463	0.32	0.32	4.0	0.00	0.00	0				
No 5 + 0.000	7.537	0.32	0.32	2.4	0.00	0.00	0				
No 6 + 0.000	20.000	0.40	0.36	7.2	0.00	0.00	0				
No 6 + 12.000	12.000	0.74	0.57	6.8	0.19	0.10	1.1				
No 7 + 0.000	8.000	0.00	0.37	3.0	0.00	0.10	0.8				
No 7 + 0.720	0.720	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0				
頁計	98.470			35.9			1.9			239.8	

頁計

土工集計表

種 別	延長 m	箇所数 箇所	床掘り（標準）		床掘り（障害あり）		埋戻し RC40		埋戻し 発生土		埋戻し RC10		残土		摘 要
			単位数量	数量	単位数量	数量	単位数量	数量	単位数量	数量	単位数量	数量	単位数量	数量	
暗渠管①	6.50		0.73	4.75		0.00	0.45	2.93		0.00		0.00	0.73	4.75	
集水柵口400		1.0	1.08	1.08		0.00	0.72	0.72		0.00		0.00	1.08	1.08	
車止め		8.0	0.18	1.41		0.00		0.00		0.00		0.00	0.18	1.41	
車止め（脱着式）		4.0	0.11	0.45		0.00		0.00	0.06	0.26		0.00	0.04	0.17	
防火水槽改修		1.0		0.00	2.97	2.97		0.00	2.53	2.53		0.00	0.17	0.17	
照明灯		3.0	2.66	7.98		0.00	2.23	6.69		0.00		0.00	2.66	7.98	
引込柱		1.0	0.17	0.17		0.00		0.00	0.09	0.09		0.00	0.07	0.07	
ハンドホール		3.0	1.30	3.90		0.00	0.87	2.61		0.00		0.00	1.30	3.90	
埋設管	93.90		0.18	16.90		0.00		0.00		0.00	0.18	16.71	0.18	16.90	
館名表示壁（撤去）	5.20		1.48	7.70		0.00		0.00	2.49	12.95		0.00		0.00	
目隠し擁壁（撤去）	17.90		0.68	12.17		0.00		0.00	1.48	26.49		0.00		0.00	
駐輪場（撤去）		1.0	1.47	1.47		0.00		0.00	2.57	2.57		0.00		0.00	
				57.98		2.97		12.95		44.88		16.71		36.42	

排水工

排水工集計表

上段 () : 変更前

下段 : 変更後

排水工

種別	細 別	規格	単位	数量	摘要
排水工	L型側溝		m	1.7	
	L型側溝1		m	10.6	
	L型側溝(擦付け)		m	16.1	
	縦断側溝①		m	12.1	
	縦断側溝②		m	79.5	
	縦断側溝③		m	35.1	
	縦断側溝④		m	4.4	
	管理枳①		基	5.0	
	管理枳②		基	2.0	
	管理枳③		基	1.0	
	集水枳	□400	基	1.0	
	暗渠管	φ 300	m	6.5	

排水工

上段 () : 変更前
下段 : 変更後

名称		計算式	数量	単位
L型側溝	左側	L= 1.7 m + m + m = 1.7 m	1.7	m
	右側	L= m + m + m = 0.0 m [別紙計画平面図（街渠）より]		
L型側溝1	左側	L= 5.5 m + m + m = 5.5 m	10.6	m
	右側	L= 5.1 m + m + m = 5.1 m [別紙計画平面図（街渠）より]		
L型側溝(擦付け)	左側	L= m + m + m = 0.0 m	16.1	m
	右側	L= 16.1 m + m + m = 16.1 m [別紙計画平面図（街渠）より]		
縦断側溝	①	左側 L= 12.1 m + m + m = 12.1 m 右側 L= m + m + m = 0.0 m [別紙計画平面図（街渠）より]	79.5	m
	②	左側 L= 8.3 m + 20.0 m + 12.3 m = 40.6 m 右側 L= 12.6 m + 19.3 m + 7.0 m = 38.9 m [別紙計画平面図（街渠）より]		
	③	左側 L= 5.8 m + 7.8 m + m = 13.6 m 右側 L= 8.2 m + 13.3 m + m = 21.5 m [別紙計画平面図（街渠）より]		
	④	左側 L= m + m + m = 0.0 m 右側 L= 4.4 m + m + m = 4.4 m [別紙計画平面図（街渠）より]		
管理柵	①	左側 N= 3.0 基 右側 N= 2.0 基 [別紙計画平面図（街渠）より]	5.0	基
	②	左側 N= 基 右側 N= 2.0 基 [別紙計画平面図（街渠）より]		

	③	左側 N= 1.0 基 右側 N= 基 [別紙計画平面図（街渠）より]	= 1.0 = 0.0	1.0	基
集水桝 □400		左側 N= 基 右側 N= 1.0 基 [別紙計画平面図（街渠）より]	= 0.0 = 1.0	1.0	基
暗渠管 φ 300		L= 6.5 m [別紙計画平面図（街渠）より]		6.5	m

舗 装 工

舗装工集計表

上段 () : 変更前

下段 : 変更後

種 別	規格	単位	数量	摘要
車道舗装1	表層 (昼) t=50mm	m2	399.2	
	上層路盤 (昼) t=150mm	m2	399.2	
	下層路盤 (昼) t=200mm	m2	399.2	
	表層 (夜) t=50mm	m2	115.0	
	上層路盤 (夜) t=150mm	m2	115.0	
	下層路盤 (夜) t=200mm	m2	115.0	
車道舗装2	表層 (夜) t=50mm	m2	228.0	
	不陸整生 (夜) t=30mm	m2	228.0	
平板ブロック舗装 (歩道)	表層 透水性 t=60mm	m2	324.4	
	下層路盤 t=100mm	m2	324.4	
歩道舗装1 (切下げ)	表層 再生密粒度As (13) t=50mm	m2	33.4	
	下層路盤 t=200mm	m2	33.4	
歩道舗装2 (透水性)	表層 開粒度As (13) t=40mm	m2	4.9	
	下層路盤 t=100mm	m2	4.9	
摺り付け舗装1 広場	表層 再生密粒度As (13) t=50mm	m2	6.4	
	不陸整生 t=30mm	m2	6.4	
摺り付け舗装2 広場	表層 開粒度As (13) t=40mm	m2	113.2	
	下層路盤 t=100mm	m2	113.2	
インターロッキング改修1 (擦り付け)	表層 インターロッキングブロック (透水性) t=80mm	m2	17.5	再利用
	フィルター層 t=30mm	m2	17.5	
	下層路盤 t=100mm	m2	17.5	
インターロッキング改修2 (擦り付け)	表層 インターロッキングブロック (透水性) t=60mm	m2	83.2	再利用
	フィルター層 t=30mm	m2	83.2	
カー舗装	歩道、緑色	m2	1.1	
カー舗装	車道、赤色	m2	105.0	

舗装工

上段 () : 変更前
下段 : 変更後

種別	名称	計算式	数量	単位
車道舗装1	表層 (昼) 再生密粒度As (13) t=50mm	A= 30.8 m ² + 368.4 m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	399.2	m ²
	上層路盤 (昼) 再生粒度調整碎石 (RM-40) t=150mm	A= 30.8 m ² + 368.4 m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	399.2	m ²
	下層路盤 (昼) 再生クラッシャーラン (RC-40) t=200mm	A= 30.8 m ² + 368.4 m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	399.2	m ²
	表層 (夜) 再生密粒度As (13) t=50mm	A= 76.8 m ² + 38.2 m ² + m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	115.0	m ²
	上層路盤 (夜) 再生粒度調整碎石 (RM-40) t=150mm	A= 76.8 m ² + 38.2 m ² + m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	115.0	m ²
	下層路盤 (夜) 再生クラッシャーラン (RC-40) t=200mm	A= 76.8 m ² + 38.2 m ² + m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	115.0	m ²
車道舗装2	表層 (夜) 再生密粒度As (13) t=50mm	A= 109.8 m ² + 118.2 m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	228.0	m ²
	不陸整生 (夜) 再生粒度調整碎石 (RM-40) t=30mm	A= 109.8 m ² + 118.2 m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	228.0	m ²
平板ブロック舗装 (歩道)	表層 透水性 t=60mm	左側 A= 2.8 m ² + 109.6 m ² + 50.3 m ² = 162.7 右側 A= 123.1 m ² + 38.6 m ² + m ² = 161.7 [別紙計画平面図 (舗装) より]	324.4	m ²
	下層路盤 再生クラッシャーラン (RC-40) t=100mm	左側 A= 2.8 m ² + 109.6 m ² + 50.3 m ² = 162.7 右側 A= 123.1 m ² + 38.6 m ² = 161.7 [別紙計画平面図 (舗装) より]	324.4	m ²
歩道舗装1 (切下げ)	表層 再生密粒度As (13) t=50mm	左側 A= 11.8 m ² + 12.5 m ² = 24.3 右側 A= 9.1 m ² + m ² = 9.1 [別紙計画平面図 (舗装) より]	33.4	m ²
	下層路盤 再生クラッシャーラン (RC-40) t=200mm	左側 A= 11.8 m ² + 12.5 m ² = 24.3 右側 A= 9.1 m ² + m ² = 9.1 [別紙計画平面図 (舗装) より]	33.4	m ²
歩道舗装2 (透水性)	表層 開粒度As (13) t=40mm	左側 A= 4.9 m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	4.9	m ²
	下層路盤 再生クラッシャーラン (RC-40) t=100mm	左側 A= 4.9 m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	4.9	m ²

摺り付け舗装1 広場	表層 再生密粒度As (13) t=50mm	A= 6.4 m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	6.4	m ²
	不陸整生 再生粒度調整碎石 (RM-40) t=30mm	A= 6.4 m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	6.4	m ²
摺り付け舗装2 広場	表層 開粒度As (13) t=40mm	A= 112.2 m ² + 1.0 m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	113.2	m ²
	下層路盤 再生クラッシャーラン (RC-40) t=100mm	A= 112.2 m ² + 1.0 m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	113.2	m ²
インターロッキング 改修1 (擦り付け)	表層 インターロッキング ブロック t=80mm 再利用	左側 A= 17.5 m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	17.5	m ²
	フィルター層 再生砂 (RC-10) t=30mm	左側 A= 17.5 m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	17.5	m ²
	下層路盤 再生クラッシャーラン (RC-40) t=150mm	左側 A= 17.5 m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	17.5	m ²
インターロッキング 改修2 (擦り付け)	表層 インターロッキング ブロック (透水性) t=60mm 再利用	右側 A= 83.2 m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	83.2	m ²
	フィルター層 再生砂 (RC-10) t=30mm	右側 A= 83.2 m ² [別紙計画平面図 (舗装) より]	83.2	m ²
カー舗装	歩道、緑色	左側 A= 1.1 m ² [別紙計画平面図 (安全施設) より]	1.1	m ²
カー舗装	車道、赤色	A= 28.6 m ² + 76.4 m ² [別紙計画平面図 (安全施設) より]	105.0	m ²

附帯工 1

附帯工1集計表

上段（ ）：変更前

下段：変更後

細 別	規格	単位	数量	摘要
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	両R	m	129.4	
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	フラット	m	16.9	
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	横断歩道	m	3.1	
地先境界ﾌﾞﾛｯｸ（間仕切り部含む）		m	172.1	
車止め		基	8.0	
車止め	脱着式	基	4.0	
ポストコーン		基	2.0	
隔壁		m	10.0	
簡易土留め		式	1.0	
横断防止柵		m	18.0	
郵便ポスト移設		基	1.0	
仕切弁移設（水道）		箇所	1.0	
間詰コンクリート		m2	0.4	
標識移設		基	6.0	
点字シート	再利用	枚	621.0	
点字ﾌﾞﾛｯｸ		m2	1.5	
防火水槽人孔改修（設置）		基	1.0	

附帯工

上段 () : 変更前
 下段 : 変更後

名称	計算式	数量	単位
歩車道境界ブロック	左側 $L = 59.6 \text{ m} + 4.1 \text{ m} + \text{m} = 63.7 \text{ m}$ 右側 $L = 2.5 \text{ m} + 56.1 \text{ m} + 7.1 \text{ m} = 65.7 \text{ m}$ [別紙計画平面図（街渠）より]	129.4	m
歩車道境界ブロック （フラット）	左側 $L = 6.9 \text{ m} + 5.8 \text{ m} + \text{m} = 12.7 \text{ m}$ 右側 $L = 4.2 \text{ m} + \text{m} + \text{m} = 4.2 \text{ m}$ [別紙計画平面図（街渠）より]	16.9	m
歩車道境界ブロック （横断歩道）	左側 $L = \text{m} + \text{m} + \text{m} = 0.0 \text{ m}$ 右側 $L = 3.1 \text{ m} + \text{m} + \text{m} = 3.1 \text{ m}$ [別紙計画平面図（街渠）より]	3.1	m
地先境界ブロック （間仕切り部含む）	左側 $L = 2.0 \text{ m} + 2.0 \text{ m} + 76.0 \text{ m} + 5.7 \text{ m}$ $+ 3.0 \text{ m} + 2.0 \text{ m} + 2.0 \text{ m} = 92.7 \text{ m}$ 右側 $L = 69.2 \text{ m} + 6.2 \text{ m} + 2.0 \text{ m} + 2.0 \text{ m}$ $+ \text{m} = 79.4 \text{ m}$ [別紙計画平面図（街渠）より]	172.1	m
車止め	左側 $N = 4.0 \text{ 基}$ $= 4.0$ 右側 $N = 4.0 \text{ 基}$ $= 4.0$ [別紙計画平面図（街渠）より]	8.0	基
車止め （脱着式）	左側 $N = 4.0 \text{ 基}$ $= 4.0$ 右側 $N = \text{基}$ $= 0.0$ [別紙計画平面図（街渠）より]	4.0	基
ポストコーン	左側 $N = 2.0 \text{ 基}$ $= 2.0$ 右側 $N = \text{基}$ $= 0.0$ [別紙計画平面図（街渠）より]	2.0	基
隔壁	左側 $L = 10.0 \text{ m}$ $= 10.0$ 右側 $L = \text{m}$ $= 0.0$ [別紙計画平面図（街渠）より]	10.0	m
簡易土留め	[別紙計画平面図（街渠）より]	1.0	式

横断防止柵	左側 $L = 3.0 \text{ m} + \text{ } \text{ m} + \text{ } \text{ m} + 3.0 \text{ m}$ 右側 $L = 6.0 \text{ m} + 6.0 \text{ m} + 3.0 \text{ m} + 15.0 \text{ m}$ [別紙計画平面図（街渠）より]	18.0	m
郵便ポスト移設	左側 $N = \text{ } \text{基}$ $= 0.0$ 右側 $N = 1.0 \text{ 基}$ $= 1.0$ [別紙計画平面図（街渠）より]	1.0	基
仕切弁移設（水道）	左側 $N = \text{ } \text{箇所}$ $= 0.0$ 右側 $N = 1.0 \text{ 箇所}$ $= 1.0$ [別紙計画平面図（街渠）より]	1.0	箇所
間詰コンクリート	左側 $A = 0.4 \text{ m}^2$ $= 0.4$ 右側 $A = \text{ } \text{m}^2$ $= 0.0$ [別紙計画平面図（街渠）より]	0.4	m ²
標識移設	左側 $N = 4.0 \text{ 基}$ $= 4.0$ 右側 $A = 2.0 \text{ 基}$ $= 2.0$ 別紙計画平面図（安全施設）より	6.0	基
点字シート	左側 $N = 266.0 \text{ 枚} + 64.0 \text{ 枚} + \text{ } \text{枚} + 330.0 \text{ 枚}$ $+ \text{ } \text{枚}$ 右側 $N = 267.0 \text{ 枚} + 24.0 \text{ 枚} + \text{ } \text{枚} + 291.0 \text{ 枚}$ $+ \text{ } \text{枚}$ 別紙計画平面図（安全施設）より	621.0	枚
点字ブロック（再利用）	左側 $N = \text{ } \text{m}^2 + \text{ } \text{m}^2 + \text{ } \text{m}^2 + 0.0 \text{ m}^2$ $+ \text{ } \text{m}^2$ 右側 $N = 1.5 \text{ m}^2 + \text{ } \text{m}^2 + \text{ } \text{m}^2 + 1.5 \text{ m}^2$ $+ \text{ } \text{m}^2$ 別紙計画平面図（安全施設）より	1.5	m ²
防火水槽人孔改修（設置）	左側 $N = 1.0 \text{ 基}$ $= 1.0$ 右側 $N = \text{ } \text{基}$ $= \text{ } \text{基}$ [別紙計画平面図（街渠）より]	1.0	基

区 画 線 工

区画線工集計表

上段 () : 変更前

下段 : 変更後

細別	規格	単位	数量	摘要
外側線	実線 白色 W=15cm	m	462.0	機械費及び労務費
			280.4	材料費
外側線 (ドット)	破線 白色 W=15cm	m	5.0	機械費及び労務費
			3.0	材料費
停止線	ゼブラ 白色 W=30cm	m	20.0	機械費及び労務費
			12.4	材料費
ゼブラ、横断歩道	ゼブラ 白色 W=45cm	m	88.0	機械費及び労務費
			53.6	材料費
消化栓	破線 橙色 W=15cm	m	7.0	機械費及び労務費
			4.0	材料費
減速マーク	矢印・記号・文字 白色 15cm換算	m	59.0	機械費及び労務費
			36.0	材料費
自転車マーク		箇所	4.0	
矢羽根		箇所	11.0	
路側線除去	W=15cm	m	25.1	

区画線工 施工数量表

上段 () : 変更前
下段 : 変更後

名称	計算式	数量	単位
外側線 実線 白色 W=15cm	左側 $L = 74.9 \text{ m} + \text{ } \text{ m} = 74.9$ 右側 $L = 100.1 \text{ m} + 16.2 \text{ m} = 116.3$ [別紙計画平面図 (安全施設) より]	191.2	m
中央線 実線 白色 W=15cm	左側 $L = 71.9 \text{ m} + 17.3 = 89.2$ 右側 $L = \text{ } \text{ m} = 0.0$ [別紙計画平面図 (安全施設) より]	89.2	m
外側線 (ドット) 破線 白色 W=15cm	左側 $L = \text{ } \text{ m} + \text{ } = 0.0$ 右側 $L = 3.0 \text{ m} = 3.0$ [別紙計画平面図 (安全施設) より]	3.0	m
区画線 (一時停止) 実線 白色 W=30cm	左側 $L = 5.4 \text{ m} = 5.4$ 右側 $L = 4.0 \text{ m} + 3.0 \text{ m} = 7.0$ [別紙計画平面図 (安全施設) より]	12.4	m
区画線 (減速マーク) ゼブラ 白色 W=30cm	左側 $L = 16.0 \text{ m} + \text{ } = 16.0$ 右側 $L = 20.0 \text{ m} = 20.0$ [別紙計画平面図 (安全施設) より]	36.0	m
区画線 (ゼブラ) ゼブラ 白色 W=45cm	左側 $L = 9.9 \text{ m} + \text{ } = 9.9$ 右側 $L = \text{ } \text{ m} = 0.0$ [別紙計画平面図 (安全施設) より]	9.9	m
区画線 (横断歩道) ゼブラ 白色 W=45cm	$L = 43.7 \text{ m} = 43.7$ [別紙計画平面図 (安全施設) より]	43.7	m
区画線 (消火栓) 破線 橙色 W=15cm	左側 $L = 4.0 \text{ m} + \text{ } = 4.0$ 右側 $L = \text{ } \text{ m} + \text{ } = 0.0$ [別紙計画平面図 (安全施設) より]	4.0	m
自転車マーク	左側 $N = 2.0 \text{ 箇所} = 2.0$ 右側 $N = 2.0 \text{ 箇所} = 2.0$ [別紙計画平面図 (安全施設) より]	4.0	箇所

矢羽根	左側 N= 5.0 箇所 = 5.0 右側 N= 6.0 箇所 = 6.0 [別紙計画平面図（安全施設）より]	11.0	箇所
路側線除去 W=15cm	L= 25.1 m = 25.1 [別紙計画平面図（安全施設）より]	25.1	m

1日未満で完了する作業の積算について（I-12-①-1）

	単位	設計数量 (Xi)	1日あたり 標準作業量 (Di)
実線15cm（外側線）	m	191.2	860
実線15cm（中央線）	m	89.2	860
破線15cm（ドット）	m	3.0	775
ゼブラ30cm（停止線）	m	12.4	455
ゼブラ45cm（ゼブラ、横断歩道）	m	53.6	380
破線15cm（消化線）	m	4	775
矢印・記号・文字（減速マーク）	m	36.0	345

$$\Sigma (Xi/Di) = \frac{191.2}{860} + \frac{89.2}{860} + \frac{3.0}{775} + \frac{12.4}{455} + \frac{53.6}{380} + \frac{4.0}{775} + \frac{36.0}{345} = 0.608 < 1.00$$

$$\alpha \Sigma (Xi/Di) = \alpha \times (\frac{191.2}{860} + \frac{89.2}{860} + \frac{3.0}{775} + \frac{12.4}{455} + \frac{53.6}{380} + \frac{4.0}{775} + \frac{36.0}{345}) = 1.00$$

$$\alpha = 1.645 \div 1.650$$

修正作業日当たり標準作業量

実線15cm（外側線）	D' 1	=	$\alpha \times X1$	=	1.65×191.2	=	315	m/日
実線15cm（中央線）	D' 2	=	$\alpha \times X2$	=	1.65×89.2	=	147	m/日
破線15cm（ドット）	D' 3	=	$\alpha \times X3$	=	1.65×3	=	5	m/日
ゼブラ30cm（停止線）	D' 4	=	$\alpha \times X4$	=	1.65×12.4	=	20	m/日
ゼブラ45cm（ゼブラ、横断歩道）	D' 5	=	$\alpha \times X5$	=	1.65×53.6	=	88	m/日
破線15cm（消化線）	D' 6	=	$\alpha \times X6$	=	1.65×4	=	7	m/日
矢印・記号・文字（減速マーク）	D' 7	=	$\alpha \times X7$	=	1.65×36	=	59	m/日

実線15cm（外側線）	:	労務費は	315	m	材料費は	191.2	m
		機械費					
実線15cm（中央線）	:	労務費は	147	m	材料費は	89.2	m
		機械費					
破線15cm（ドット）	:	労務費は	5	m	材料費は	3	m
		機械費					
ゼブラ30cm（停止線）	:	労務費は	20	m	材料費は	12.4	m
		機械費					
ゼブラ45cm（ゼブラ、横断歩道）	:	労務費は	88	m	材料費は	53.6	m
		機械費					
破線15cm（消化線）	:	労務費は	7	m	材料費は	4	m
		機械費					
矢印・記号・文字（減速マーク）	:	労務費は	59	m	材料費は	36.0	m
		機械費					

電 気 設 備 工

電気設備工集計表

上段 () : 変更前
下段 : 変更後

細 別	規格	単位	数量					適用
			左側	右側	横断	立上	合計	
引込柱 (分電盤含む)	H=6.0m	基		1.0			1.0	
地上配線	SV5.5-2C	m		4.5			4.5	
照明柱 (LED・H=10.0m)		基	2.0	1.0			3.0	
地中配管	FEP30	m	53	32.5	8.4		93.9	歩道 GL-600以上
地中配線	CV3.5-2C	m	45.3	32.5	8.4	9.0	95.2	横断 GL-800以上
ハンドホール	600×600×600 中耐重鉄蓋付き	基	2.0	1.0			3.0	

仮 設 工

仮設工集計表

上段 () : 変更前

下段 : 変更後

細 別	規格	単位	数量	摘要
仮舗装 設置・撤去	43.0+5.0+14.1+19.7+34.6+8.8	m ²	125.2	再生密粒度As (13) t=5cm
擦付け舗装 設置・撤去	9.0+13.6+4.4+21.5	m ²	48.5	再生密粒度As (13) t=2.5cm
As殻運搬・処分	125.2×0.05+48.5×0.025	m ³	7.5	
交通誘導警備員B		現場	1.0	
交通誘導警備員B		現場	1.0	夜間

数量総括表2 (1/2)

上段:当初数量

下段:変更数量

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数 量
下水道 切回し工	管渠工 管径200mm	管路土工				
			掘削	BH 0.28m3	m3	397
			砂(RC-10)埋戻	BH 0.28m3	m3	24
			碎石(RC-40)埋戻	BH 0.28m3	m3	365
			発生土処理工		m3	133
		管布設工				
			管体延長	VU φ 200	m	50
			基礎工	砂基礎(VU φ 200)	m3	4
			基礎延長	VU φ 200	m	49
			硬質塩化ビニル管	φ 200 × 4000	本	14
		仮設材質料				
			アルミ矢板土留 賃料等	建込・引込工 H=2.0m以下	m	8
			〃	土留支保工 H1段 2.0m以下	m	8
			〃	建込・引込工 H=3.0m以下	m	52
			〃	土留支保工 H2段 3.5m以下	m	52
			〃	建込・引込工 H=3.5m以下	m	84
			〃	土留支保工 H2段 3.5m以下	m	84
			〃	矢板材質料	式	1
			〃	腹起し材質料	式	1
			〃	水圧パイプサポー ト賃料	式	1
			〃	水圧手動ポンプ賃 料	式	1
		開削水替				
			ポンプ据付・撤去工	口径50mm、 揚程5m × 1～2台	現場	1
			ポンプ運転工 (作業時排水、発動発電機)	口径50mm、 揚程5m × 2台	日	23
	マンホール工					
		組立人孔工				
			組立1号マンホール	人孔深3.36m NO.4-1	箇所	1
			〃	人孔深3.36m NO.4-2	箇所	1
			〃	人孔深3.38m NO.4-3(既設)	箇所	1

数量総括表2 (2/2)

上段:当初数量

下段:変更数量

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数 量
			〃	人孔深3.14m (既設公樹)	箇所	1
			組立0号マンホール	人孔深1.80m (公樹)	箇所	1
	人孔鉄蓋交換工					
		人孔鉄蓋交換工				
			次世代型高機能鉄蓋		箇所	1
			標準鉄蓋		箇所	1
	取付管及び ます工					
		管路土工				
			地山掘削	BH 0.13m3	m3	27
			路盤掘削	BH 0.13m3	m3	
			砂(RC-10)埋戻	機械	m3	3
			砂(RC-40)埋戻	機械	m3	23
			発生土処理工		m3	27
		取付管布設工				
			取付管布設 (塩ビ管取付け)	φ150VU 5～12m未満	箇所	1
			取付管布設 (人孔付け)	φ200VU 5～12m未満	箇所	1
附帯工2		附帯工				
			既設構造物撤去工	既設管撤去	式	1
				既設人孔撤去	式	1

管布設工数量集計表					
			内径φ200VU管		
路線延長	全 体	52.00 m	掘削工	バックホウ	山積0.28m3 397.95 m ³
	φ 200 VU (新設)	52.00 m		バックホウ	山積0.45m3 m ³
	φ 250・200 VU (撤去)	78.42 m	残 土 量		133.88 m ³
管体延長	全 体	50.20 m	埋戻工	RC-10 (ハックホウ)	φ 200VU 24.91 m ³ m ³ 全体 24.91 m ³
	φ 200 VU (新設)	50.20 m		RC-40 (ハックホウ)	φ 200VU 365.92 m ³ m ³ 全体 365.92 m ³
	φ 250・200 VU (撤去)	67.29 m (250) 8.43 m (200)			m ³
基礎工	砂 基 礎	φ 200VU 4.99 m ³ m ³ 全体 4.99 m ³	山留工(アルミ矢板)	L = 2.00 m	m
	基礎延長	φ 200VU 49.90 m m 全体 49.90 m		L = 2.50 m	m
				L = 3.00 m	m
管材	硬質塩化ビニル管 φ 200 VU	14 本		L = 3.50 m	m
	曲管φ200 接着受口カラーφ200	0° 本 15° 本 30° 本 個		L = 4.00 m	m
	マンホール用可とう継手 上流用	3 個	支保工(金属)	1 段	m
	マンホール用可とう継手 下流用	3 個		2 段	m
	副管用マンホール継手 L=1.0m	本		3 段	m

管布設・土工数量計算表

管 径 φ 200 VU

人孔番号 路線番号	スパン 延長 L	人 孔 減 長	管 体 延 長	基 礎 減 長	基 礎 延 長 L'	掘削深		掘削幅 W	舗装構成	掘削土量 バックホウ		埋 戻 し 土 量			残 土 量
						上流	平均					RC-40	RC-10	砂基礎	
						下流	H			0.28m ³	0.45m ³	バックホウ	バックホウ		
	m	m	m	m	m	m	m	m		m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³
No. 4-1 ～ No. 4-2 ④	14.00	0.90	13.10	0.15	12.95	2.57 2.55	2.56	1.00	車道舗装	35.84		27.22	6.71	1.30	35.84
No. 4-2 ～ No. 4-3 ④	38.00	0.90	37.10	0.15	36.95	2.57 2.59	2.58	1.00	車道舗装	98.04		74.63	18.20	3.70	98.04
既存撤去本管250 A=0.06m ²	69.09	1.80	67.29				3.39	1.00		234.22		234.22			発生土利用
既存撤去取付管200 A=0.04m ²	9.33	0.90	8.43				3.20	1.00		29.86		29.86			発生土利用
合計	130.42	4.50	125.92	0.30	49.90					397.95		365.92	24.91	4.99	133.88

土 工 数 量 計 算 書		φ 200VU	車道舗装	As舗装
詳 細 図			数	量 計 算
VU φ 200 管控除分 $0.216^2 \times \pi/4 = 0.037 \text{ m}^2$			延 長 : L	
			平均掘削深 : H	
			① 掘削土量 : W × (H −) × L	
			② RC-40埋戻し (バックホ+ﾀﾝﾊﾟ)	
			: W × { H − (+ 0.616) } × L	
			③ RC-10埋戻し (バックホ+ﾀﾝﾊﾟ)	
			(W × 0.516 − 0.037) × L	
			基礎延長 : L'	
			④ 砂基礎 : (W × 0.100) × L'	

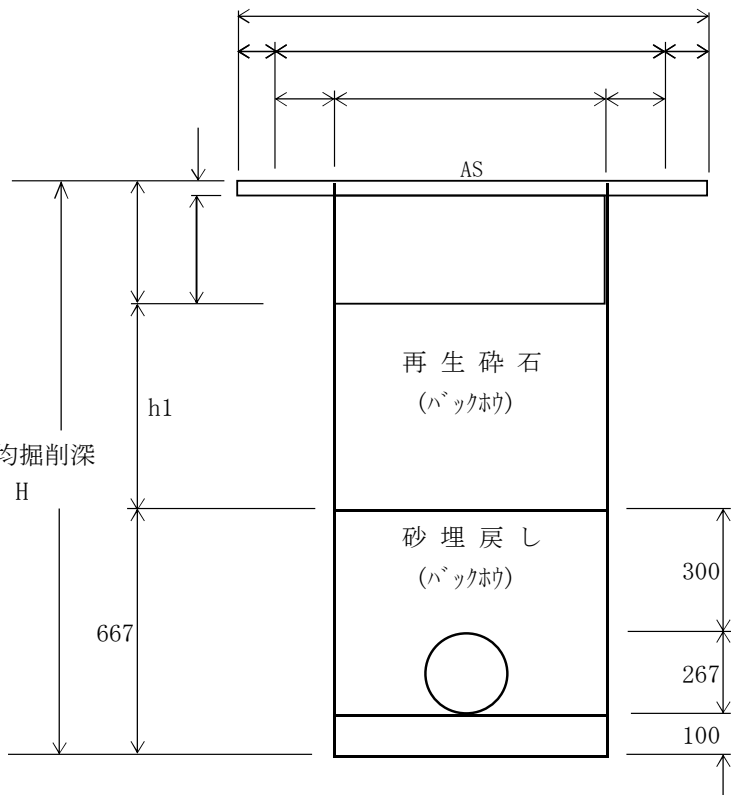
土 工 数 量 計 算 書

φ 250VU 撤去既存管

当初

詳 細 図

数 量 計 算



VU φ 250
管控除分 $0.267^2 \pi / 4 = 0.056 \text{ m}^2$

延 長 : L

平均掘削深 : H

① 掘削土量 : $W \times (H -) \times L$

② RC-40埋戻し (ハック材+ﾀﾝﾊﾟ)

: $W \times \{ H - (+ 0.667) \} \times L$

③ RC-10埋戻し (ハック材+ﾀﾝﾊﾟ)

($W \times 0.567 - 0.056$) $\times L$

基礎延長 : L'

④ 砂基礎 : ($W \times 0.100$) $\times L'$

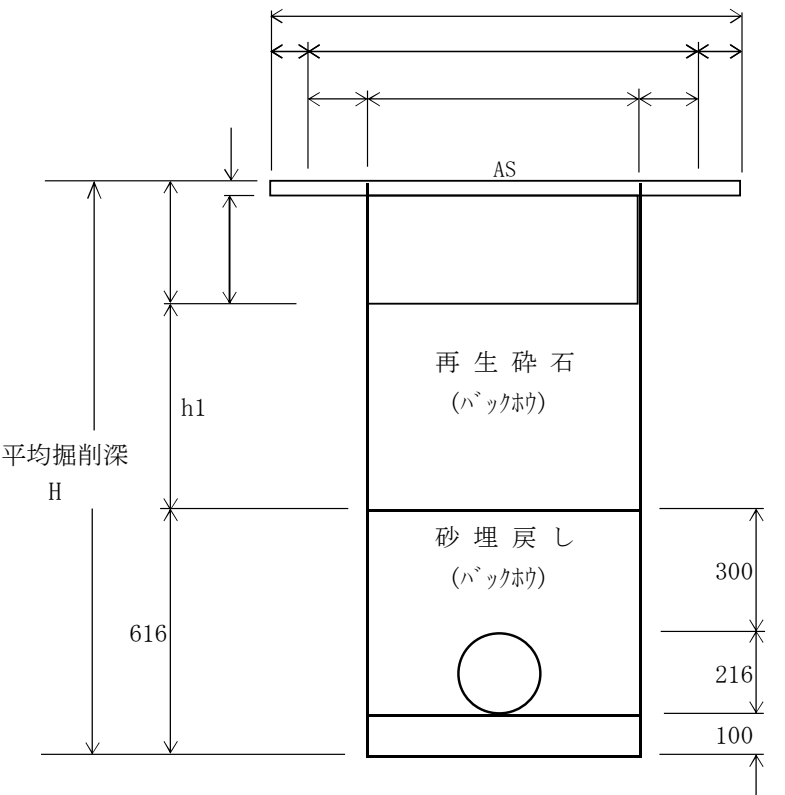
土 工 数 量 計 算 書

φ 200VU 撤去既存管

当初

詳 細 図

数 量 計 算



VU φ 200
管控除分 $0.216^2 \pi / 4 = 0.037 \text{ m}^2$

延 長 : L

平均掘削深 : H

① 掘削土量 : $W \times (H -) \times L$

② RC-40埋戻し (ハック材+ﾀﾝﾊﾟ)

: $W \times \{ H - (+ 0.616) \} \times L$

③ RC-10埋戻し (ハック材+ﾀﾝﾊﾟ)

($W \times 0.516 - 0.037$) $\times L$

基礎延長 : L'

④ 砂基礎 : ($W \times 0.100$) $\times L'$

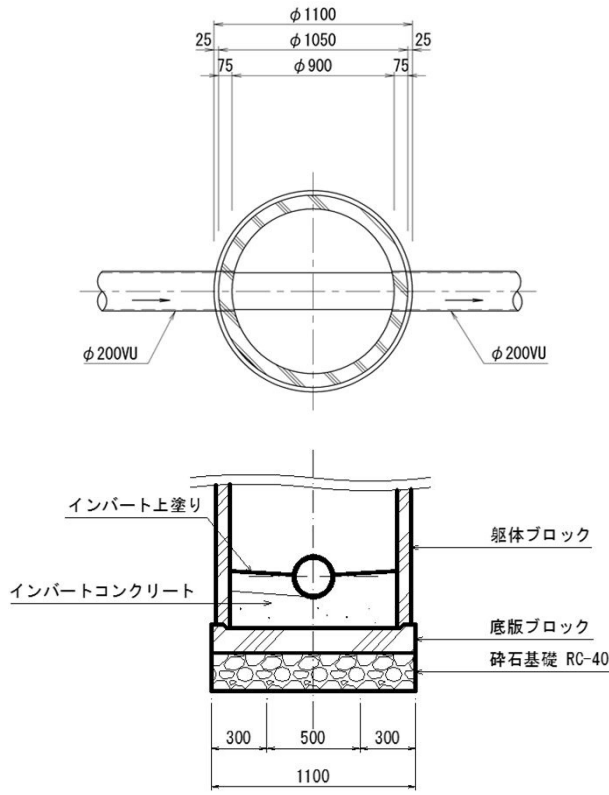
1 号組立マンホール設置工						
箇 所 数			2 箇所	直 壁 ブ ロ ッ ク	H＝ 1500 mm	個
ブ ロ ッ ク 据 付	～ 3 m		箇所		H＝ 1800 mm	個
	3 ～ 4 m		2 箇所		軀 体 ブ ロ ッ ク	H＝ 600 mm
	4 ～ 5 m		箇所	H＝ 900 mm		個
人 孔 鉄 蓋	海老名市型 標準鉄蓋	T-14	組	H＝ 1200 mm		個
		T-25	組	H＝ 1500 mm		個
	海老名市型 転落防止梯子付	T-14	組			
		T-25	2 組			
	調整無収縮 モルタル	5kg/cm	70 k g			
調 整 リ ン グ	H＝ 50 mm		個	底 版		H＝ 130 mm
	H＝ 100 mm		4 個			
	H＝ 150 mm		個			
斜 壁 ブ ロ ッ ク	H＝ 300 mm		個	流 入 管 削 孔	φ 150 VU	箇所
	H＝ 450 mm		2 個		φ 200 VU (2号人孔)	箇所
	H＝ 600 mm		個		φ 200 VU (1号人孔)	4 箇所
	直 壁 ブ ロ ッ ク	H＝ 300 mm		個		φ 200 VP
H＝ 600 mm		個	人 孔 底 部 工	標 準 流 出 φ 200 モルタル上塗り 1 箇所当り コンクリート(18-8-25 (20) BB) 基礎碎石 (RC-40 t=20cm)	2 箇所 0.739 m ² 0.160 m ³ 0.950 m ²	
H＝ 900 mm		2 個				
H＝ 1200 mm		個		人 孔 底 部 工 既 存 人 孔	標 準 流 出 φ 200 モルタル上塗り 1 箇所当り コンクリート(18-8-25 (20) BB) 基礎碎石 (RC-40 t=20cm)	2 箇所 0.739 m ² 0.160 m ³ － m ²
					可 と う 継 手	φ 200 VU (1号人孔)

1号組立マンホール材料表

路 線 番 号	マンホール 番 号	マンホール 深さ m	底 版 個	躯体ブロック					直壁ブロック					斜壁ブロック			調整リング			調整 高 mm	人孔蓋		削 孔			底部工 箇所	継手 副管			
				60 個	90 個	120 個	150 個	180 個	30 個	60 個	90 個	120 個	150 個	180 個	30 個	45 個	60 個	50 個	100 個		150 個	T14 組	T25 組	150 箇所	200 箇所		300 箇所	個	H	
④	No.4-1	3.360	1					1			1					1			2		70		1		1		1	2		
④	No.4-2	3.360	1					1			1					1			2		70		1		1		1	2		
④	既設 No.4-3																								1		1	1		
④	既設 汚水桧																									1		1	1	
計			2					2			2					2			4		140		2		4		4	6		

1号組立マンホール底部工数量計算書(本管径φ200)

(1箇所当り)

略 図	種 目	形状寸法	計 算 式	数 量
	砕 石 基 礎 工	RC-40 t=20cm	$\pi/4 \times 1.100^2 = 0.950$	0.950 m ² /箇所
	インバートコンクリート工	18N/mm ²	$\pi/4 \times 0.900^2 \times (0.170 + 0.200/2 + 0.008/2) - \pi/4 \times 0.200^2 \times 0.900 \times 1/2 + \pi/4 \times ^2 \times = 0.160$	0.160 m ³ /箇所
	モルタル上塗り工	配合 1:2 厚さ 2 cm	$\pi/4 \times 0.900^2 + \pi \times 0.200 \times 1/2 \times 0.900 - 0.200 \times 0.900 = 0.739$	0.739 m ² /箇所

0 号組立マンホール設置工（公桝）					当初	
筒 所 数		1 箇所	直壁ブロック	H＝ 1500 mm	個	
ブロック据付	～ 3 m	1 箇所		H＝ 1800 mm	個	
	3 ～ 4 m	箇所	躯体ブロック	H＝ 600 mm	個	
	4 ～ 5 m	箇所		H＝ 900 mm	個	
人 孔 鉄 蓋	海老名市型 標準鉄蓋	T-14		H＝ 1200 mm	1 個	
		T-25		H＝ 1500 mm	個	
	海老名市型 転落防止梯子付	T-14		H＝ 1800 mm	個	
		T-25				
	調整無収縮 モルタル	5kg/cm				
調整リング	H＝ 50 mm	個	底 版	H＝ 130 mm	1 個	
	H＝ 100 mm	個				
	H＝ 150 mm	1 個	流入管削孔	φ 150 VU	箇所	
斜壁ブロック	H＝ 300 mm	個		φ 200 VU（0号人孔）	箇所	
	H＝ 450 mm	1 個		φ 200 VP	箇所	
	H＝ 600 mm	個	人孔底部工	標 準 流出 φ 150 モルタル上塗り 1 箇所当り コンクリート(18-8-25 (20) BB) 基礎碎石(RC-40 t=20cm)	1 箇所 0.506 m ² 0.103 m ³ 0.709 m ²	
直壁ブロック	H＝ 300 mm	個		標 準 流出 φ 300 モルタル上塗り 1 箇所当り コンクリート(18-8-25 (20) BB) 基礎碎石(RC-40 t=20cm)	箇所 m ² m ³ m ²	
	H＝ 600 mm	個				
	H＝ 900 mm	個				
	H＝ 1200 mm	個				

0号組立マンホール材料表(公桧)

当初

路 線 番 号	マンホール 番 号	マンホール 深さ m	底 版 個	躯体ブロック					直壁ブロック						斜壁ブロック			調整リング			調整 高 mm	人孔蓋		削 孔			底部工 箇所	継手 個	副管 H
				60 個	90 個	120 個	150 個	180 個	30 個	60 個	90 個	120 個	150 個	180 個	30 個	45 個	60 個	50 個	100 個	150 個		T14 組	T25 組	150 箇所	200 箇所	300 箇所			
④	公桧	1.800	1			1										1				1	60	1					1	1	
計			1			1										1				1	60	1					1	1	

0号組立マンホール底部工数量計算書(取付管φ150)

(1箇所当り)

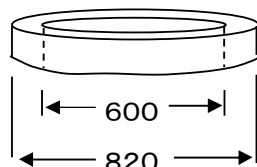
略 図	種 目	形状寸法	計 算 式	数 量
	砕 石 基 礎 工	RC-40 t=20cm	$\pi/4 \times 0.950^2 = 0.709$	0.709 m ² /箇所
	インハートコンクリート工	18N/mm ²	$\begin{aligned} &\pi/4 \times 0.750^2 \times (0.170 + 0.150/2 + 0.008/2) \\ &- \pi/4 \times 0.150^2 \times 0.750 \times 1/2 \\ &+ \pi/4 \times 0.150^2 \times 0.750 \times 1/2 \end{aligned} = 0.103$	0.103 m ³ /箇所
	モルタル上塗り工	配合 1:2 厚さ 2cm	$\begin{aligned} &\pi/4 \times 0.750^2 + \pi \times 0.150 \times 1/2 \times 0.750 \\ &- 0.150 \times 0.750 \end{aligned} = 0.506$	0.506 m ² /箇所

既設人孔マンホール蓋交換数量集計表

10箇所当り

モルタル取壊し高・調整モルタル高 4cm × 10箇所 = 40cm

1 コンクリート構造物取壊し



モルタル $(0.41^2 \pi - 0.3^2 \pi) = 0.25$

リング $(0.41^2 \pi - 0.3^2 \pi) = 0.25$

0.25 × 0.4m = 0.1 m3

2 コンクリート殻運搬・処分

0.25 × 0.4m = 0.1 m3

3 調整モルタル量

調整モルタル高 40cm

控除後モルタル高 30cm ※調整1cmは経費内として計上
(鉄蓋設置 10cm 分控除)

無収縮モルタル 5kg/cm換算

30 × 5 = 150 (kg)/25kg/袋 = 6 袋

無収縮モルタル設置

調整モルタル $(0.41^2 \pi - 0.3^2 \pi) / m$

$(0.41^2 \pi - 0.3^2 \pi) \times 0.3 = 0.07 m3$

4 鉄蓋撤去

= 10 箇所

5 鉄蓋設置

= 10 箇所

6 処分費

鉄蓋処分 92kg/組

= 10 組

汚水枺設置及び取付管工数量集計表

取付管	本管種 V U 150箇所数	1	箇所	塩ビ管	ゴム輪受口片受管 φ 1 5 0 * 4 0 0 0	7.6	m	÷	4	=	1.9	本	
	平均長	7.6	m		ゴム輪受口片受管 φ 200 * 4 0 0 0	5.4	m	÷	4	=	1.3	本	
	本管種 V U 200箇所数	1	箇所	掘削 埋戻	機械掘削 ハック杓	0.10	27.74					m³	
	平均長	5.4	m		再生砂 (ハック杓)	0.10	3.64					m³	
	さや管工 (φ 200)		箇所		再生碎石 (RC-40)	0.10	23.65					m³	
					発生土								
汚水枳	塩 ビ 枳		箇所										
	塩ビ枳 (ドロップ)		箇所		残 土 量	0.10	27.74					m³	
					舗 装 版 破 碎	0.10						m²	
硬質塩化ビニール管	可とう支管 塩ビ管φ 150*90	1	個		路 盤 掘 削	0.10						m³	
	自在曲管	1	個			土砂	0.10						m³
	可とう支管 塩ビ管φ 200*90		個		捨 場	AS	0.10						m³
	自在曲管		個			路盤	0.10						m³
			個		仮 復 旧							m²	
			個		舗 装 切 断							m	
												m²	
												m²	
												m²	
												m²	

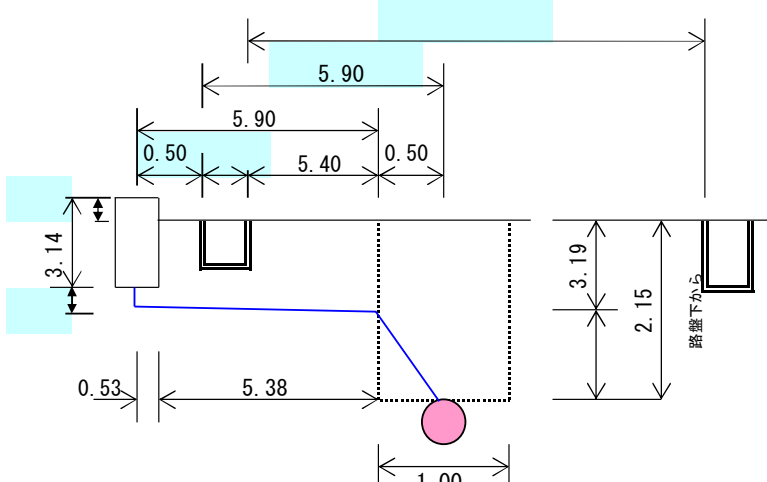
汚水枥及び取付管工

[illegible]

汚水柵及び取付管材料計算書

路線 番号	家 名	形 状 及 び 深 さ												可とう 支管				自在曲管				片受け直管		立上り直管		備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		塩 ビ 柵												φ 150		φ 200		φ 150		φ 200		φ 150	φ 200	φ 150	φ 200																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		0.80	0.90	1.00	1.10	1.20	1.30	1.40	1.50	1.60	1.70	1.80	ヒューム管	塩ビ管	ヒューム管	塩ビ管	HP/人孔	塩ビ管	HP/人孔	塩ビ管																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
No. 取付																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															</

路 線 名	No. 取付	なし	号	既設1号人孔	深さ	3.14	m	申請者
-------	--------	----	---	--------	----	------	---	-----

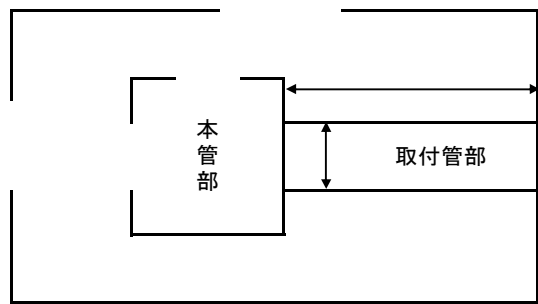


取付管長
L = 5.4 m

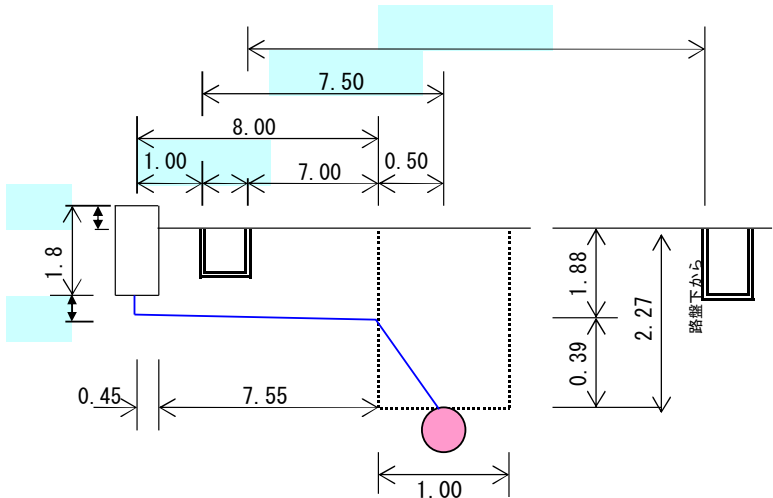
管控除200VU
0.04

機械掘削 (本管部)		
BH0.1m3 (取付部)	$(1.18 + 0.55) \div 2 \times 3.17 \times 5.90$	= 16.18 m
再生砂 (本管部)		
埋戻し (砂) (取付部)	$((0.65 + 0.55) \div 2 \times 0.52 - 0.04) \times 5.90$	= 1.59 m
再生碎石埋戻 (本管部)		
(RC-40) (取付部)	$(1.18 + 0.65) \div 2 \times 2.65 \times 5.90$	= 14.33 m
残土処分		16.18 m
舗装版破碎・積込み		
路盤掘削 仮復旧部		
BH0.1m3 本・取付管		
A s 塊処分		
舗装版切断		
先行復旧面積 (本管部)		
(取付部)		
表層面積	*	

本復旧幅 W = 3.17 m



路線名	No. 1	なし 号	0号人孔	深さ	1.80	m	申請者
-----	-------	------	------	----	------	---	-----



取付管長

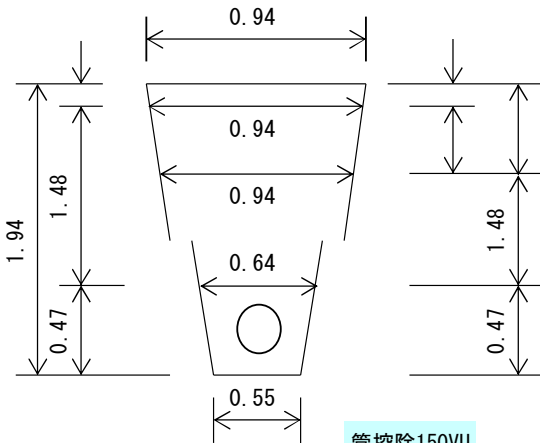
L = 8.2 m

本管

VU	200
HP	

As 版厚	
上層路盤厚	
下層路盤厚	

仮舗装厚	
------	--

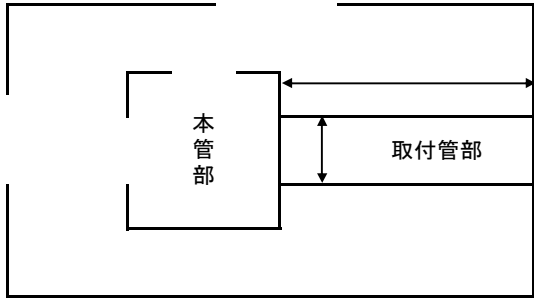


管控除150VU

0.02

機械掘削 (本管部)		
BH0. 1m3 (取付部)	$(0.94 + 0.55) \times 2 \times 1.94 \times 8.00 = 11.56$	11.56 m3
再生砂 (本管部)		
埋戻し (砂) (取付部)	$((0.64 + 0.55) \times 2 \times 0.47 - 0.02) \times 8.00 = 2.05$	2.05 m3
再生砕石埋戻 (本管部)		
(RC-40) (取付部)	$(0.94 + 0.64) \times 2 \times 1.48 \times 8.00 = 9.32$	9.32 m3
残土処分		11.56 m3
舗装版破碎・積込み		
路盤掘削 仮復旧部		
BH0. 1m3 本・取付管		
As 塊処分		
舗装版切断		
先行復旧面積 (本管部)		
(取付部)		
表層面積	*	

本復旧幅 W= m



山 留 工 矢 板 設 置 手 間 数 量 計 算 書

路 線 番 号	人孔番号 No ～ No	スパン 延 長 (m)	平 均 掘削深 (m)						備 考
				H=2. 0m以下	H=2. 5m以下	H=3. 0m以下	H=3. 5m以下	H=4. 0m以下	
				(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	
④	No. 4-1 ～ No. 4-2	14. 00	2. 56			14. 00			本 管
④	No. 4-2 ～ No. 4-3	38. 00	2. 58			38. 00			本 管
④	94-03225 ～ 94-03223	69. 09	3. 39				69. 09		撤 去
④	既設公桧 ～ 94-03225	9. 33	3. 20				9. 33		撤 去
	既設汚水桧 ～ 26-21095	6. 40	3. 17				6. 40		取 付 管
	本管 ～ 公桧	8. 50	1. 94	8. 50					取 付 管
合計		145. 32		8. 50		52. 00	84. 82		

山留工矢板数量計算書

路 線 番 号	人孔番号	スパン 延 長	平 均	掘削深（賃料集計）					掘削深（支保工段数）		
			掘 削 深	1. 8m以下	2. 3m以下	2. 8m以下	3. 3m以下	3. 8m以下	2. 0m以下	3. 5m以下	3. 8m以下
			矢板長	H=2. 0m	H=2. 5m	H=3. 0m	H=3. 5m	H=4. 0m	1段	2段	3段
	No No	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)
④	No. 4-1 ～ No. 4-2	14. 00	2. 56			14. 00				14. 00	
④	No. 4-2 ～ No. 4-3	38. 00	2. 58			38. 00				38. 00	
④	94-03225 ～ 94-03223	69. 09	3. 39					69. 09		69. 09	
④	既設公柵 ～ 94-03225	9. 33	3. 20				9. 33			9. 33	
	既設汚水柵 ～ 26-21095	6. 40	3. 14				6. 40			6. 40	
	本管 ～ 公柵	8. 50	1. 94		8. 50				8. 50		
合計		145. 32			8. 50	52. 00	15. 73	69. 09	8. 50	136. 82	

アルミ矢板損料計算書	※山留工矢板数量計算書参照
矢板長 $L = 2.00 \text{ m}$	矢板長 $L = 2.50 \text{ m}$
総締切延長 $L = \text{m}$	総締切延長 $L = 8.50 \text{ m}$
1回当たり締切延長 $L = 6.00 \text{ m}$	1回当たり締切延長 $L = 6.00 \text{ m}$
現場搬入出を含めた供用日数	現場搬入出を含めた供用日数
総締切延長×100m当たりの供用日数+現場搬入出日数	総締切延長×100m当たりの供用日数+現場搬入出日数
$\text{m} \times 29 \text{ 日} / 100\text{m} + 2 \text{ 日} = 2.0 \text{ 日}$	$8.50 \text{ m} \times 29 \text{ 日} / 100\text{m} + 2 \text{ 日} = 4.0 \text{ 日}$
1回当たりの使用総重量	1回締切延長当たりの使用総重量
$0.0101 \text{ t/枚} \times \text{同一材料1回使用枚数}$	$6.0 \text{ m} \div 0.333 \text{ m/枚} \times 2 \text{ 側} = 36 \text{ 枚}$ $0.0126 \text{ t/枚} \times 36 = 0.454 \text{ t}$
$0.0101 \text{ t/枚} \times 6.00 \text{ m} / 0.333 \text{ m/枚} \times 2 \text{ 側}$	
$= 0.363 \text{ t}$	
1現場における転用回数	1現場における転用回数
総締切延長÷1回当たりの締切延長	総締切延長÷1回当たりの締切延長
$\text{m} \div 6.00 \text{ m} = \text{回}$	$8.50 \text{ m} \div 6.00 \text{ m} = 1.4 \text{ 回}$
賃料日数	賃料日数
$6.00 \text{ m} \div 0.333 \text{ m} \times 2 \text{ 枚} \times 2.0 \text{ 日} = \text{枚} \cdot \text{日}$	(両側) $6.00 \text{ m} \div 0.333 \text{ m} \times 2 \text{ 枚} \times 4.0 \text{ 日} = 145 \text{ 枚} \cdot \text{日}$

アルミ矢板損料計算書

矢板長	L = 3.00 m	矢板長	L = 3.50 m
総締切延長	L = 52.00 m	総締切延長	L = 15.73 m
1 回当たり締切延長	L = 6.00 m	1 回当たり締切延長	L = 6.00 m
現場搬入出を含めた供用日数		現場搬入出を含めた供用日数	
総締切延長×100m当たりの供用日数+現場搬入出日数		総締切延長×100m当たりの供用日数+現場搬入出日数	
52.00 m × 29 日 / 100m + 2 日 = 17.0 日		15.73 m × 29 日 / 100m + 2 日 = 6.0 日	
1 現場当たりの使用総重量		1 現場当たりの使用総重量	
0.0151 t / m × 同一材料 1 回使用総延長		0.0177 t / m × 同一材料 1 回使用総延長	
0.0151 t / 枚 × 6.00 m / 0.333 m / 枚 × 2 側		0.0177 t / 枚 × 6.00 m / 0.333 m / 枚 × 2 側	
= 0.543 t		= 0.637 t	
1 現場における転用回数		1 現場における転用回数	
総締切延長 ÷ 1 回当たりの締切延長		総締切延長 ÷ 1 回当たりの締切延長	
52.00 m ÷ 6.00 m = 8.7 回		15.73 m ÷ 6.00 m = 2.6 回	
賃料日数		賃料日数	
6.00 m ÷ 0.333 m × 2 枚 × 17.0 日 = 613 枚・日		6.00 m ÷ 0.333 m × 2 枚 × 6.0 日 = 217 枚・日	

アルミ矢板損料計算書

矢板長	L = 4.00 m	矢板長	L = m
総締切延長	L = 69.09 m	総締切延長	L = m
1 回当たり締切延長	L = 6.00 m	1 回当たり締切延長	L = m
現場搬入出を含めた供用日数		現場搬入出を含めた供用日数	
総締切延長×100m当たりの供用日数+現場搬入出日数		総締切延長×100m当たりの供用日数+現場搬入出日数	
69.09 m × 29 日 / 100m + 2 日 = 22.0 日		m × 29 日 / 100m + 2 日 = 日	
1 現場当たりの使用総重量		1 現場当たりの使用総重量	
0.0202 t / m × 同一材料 1 回使用総延長		t / m × 同一材料 1 回使用総延長	
0.0202 t / m × 6.00 m / 0.25 × 2 × 4.00 m × 1		t / m × m / 0.25 × 2 × m × 1	
= 3.878 t		= t	
1 現場における転用回数		1 現場における転用回数	
総締切延長 ÷ 1 回当たりの締切延長		総締切延長 ÷ 1 回当たりの締切延長	
69.09 m ÷ 6.00 m = 11.5 回		m ÷ m = 回	
賃料日数			
6.00 m ÷ 0.333 m × 2 枚 × 22.0 日 = 793 枚・日			

軽量金属支保材損料計算書

		1 段梁の換算値	
1 段支保延長 L = 8.50 m	1 回当り締切延長 L = 6.00 m	1 回締切延長 $\times 1$ 6.00 m $\times 1 = 6.00$ m	最大支保使用段数及び延長
2 段支保延長 L = 136.82 m	1 回当り締切延長 L = 6.00 m	1 回締切延長 $\times 2$ 6.00 m $\times 2 = 12.00$ m	N = 2 段
3 段支保延長 L = m	1 回当り締切延長 L = m	1 回締切延長 $\times 3$ m $\times 3 =$ m	L = 6.00 m
1 現場当たりの最大使用本数の計算（基本料）			
アルミ腹起し (t=110mm, L=4.00m)	最大支保延長 6.00 m $\div 4.00$	$\times 2 \times 2$ 段	最大支保段数 = 6.0 本
水圧サポート (W=0.80～1.40m)	最大支保延長 6.00 m $\div 4.00$	$\times 2 \times 2$ 段	最大支保段数 = 6.0 本
水圧手動ポンプ (タンク容量15ℓ)			= 1.0 台
※ 基本料については、各支保段数のうち、1 現場での 1 回締切り最大のものを計上する。			

10.0m 当り

Technical drawing of a drainage structure (manhole) showing dimensions and components. The structure is circular with a diameter of 250mm. It is surrounded by a concrete base (基礎コンクリート) and a gravel base (基礎碎石). The total width of the structure is 360mm, and the total height is 1000mm. The drawing includes labels for '歩車道境界ブロック' (sidewalk boundary block), '滑り止め仕上げ' (anti-slip finish), '▽車道' (road level), 'モルタル (敷均し用 1:3)' (mortar for leveling, 1:3 ratio), and '基礎コンクリート' (base concrete). Dimensions are given in millimeters.

[illegible]

10.0m 当り

(歩車道境界ブロック)

360

15

22.5 22.5

滑り止め仕上げ

90

V車道

555

650

375

55

250

10

1001

モルタル
(敷均し用 1:3)

基礎コンクリート

基礎砕石
※路盤工にて計上

460

[illegible]

10.0m 当り

Technical drawing showing a cross-section of a drainage structure. Key dimensions and components include:

- Top width: 360
- Top opening diameter: 150 (122.5 x 22.5)
- Drain diameter: 250
- Base width: 570 (470 + 50 + 50)
- Base height: 1010
- Concrete base thickness: 100
- Concrete base material: RC-40
- Base material: 基礎砕石 (RC-40)
- Base material: フレキャスト基礎板 470 × 100 × 2000
- Base material: モルタル (敷均し用 1:3)
- Side material: 歩車道境界ブロック
- Side material: 滑り止め仕上げ
- Side material: 車道

[illegible]

10.0m 当り

(歩車道境界ブロック)

360

15

22.5 22.5

滑り止め仕上げ

90

▽車道

650

555

250

375

55

10

100

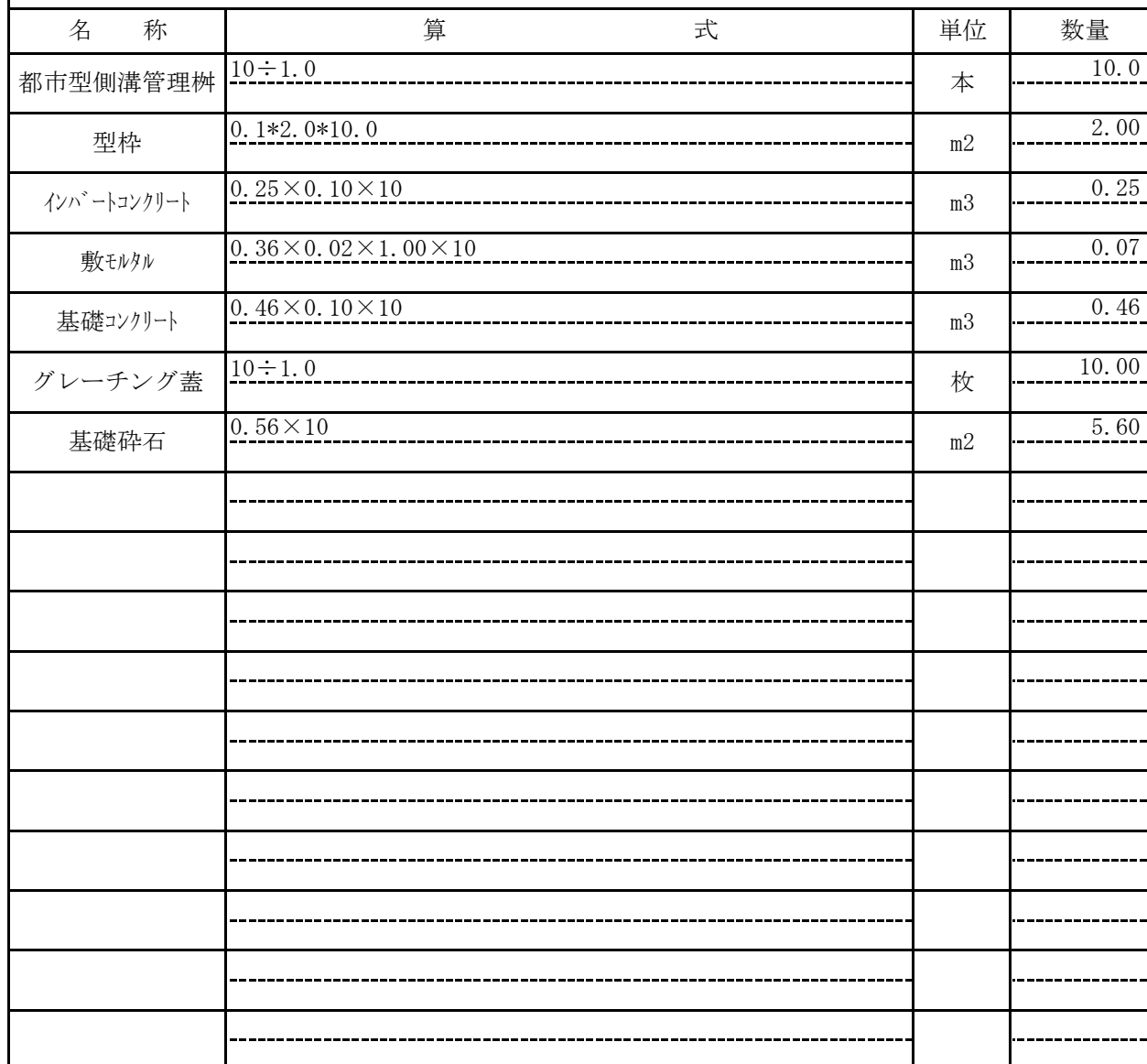
モルタル
(敷均し用 1:3)

プレキャスト基礎板
470×100×2000
基礎碎石
※路盤工にて計上

470

[illegible]

10.0箇所 当り



10.0箇所 当り

正面図

360

90 180 90

55 250 55

(歩車道境界ブロック)

普通目グレーチング

65

6120

375

690

250

250

100 150

20

100 100

インパットコンクリート

18-12-40

モルタル
(敷均し用 1:3)

プレキャスト基礎板
470×100×1000

基礎砕石
(RC-40)

50 470 50

570

1000

普通目グレーチング

55 55

250

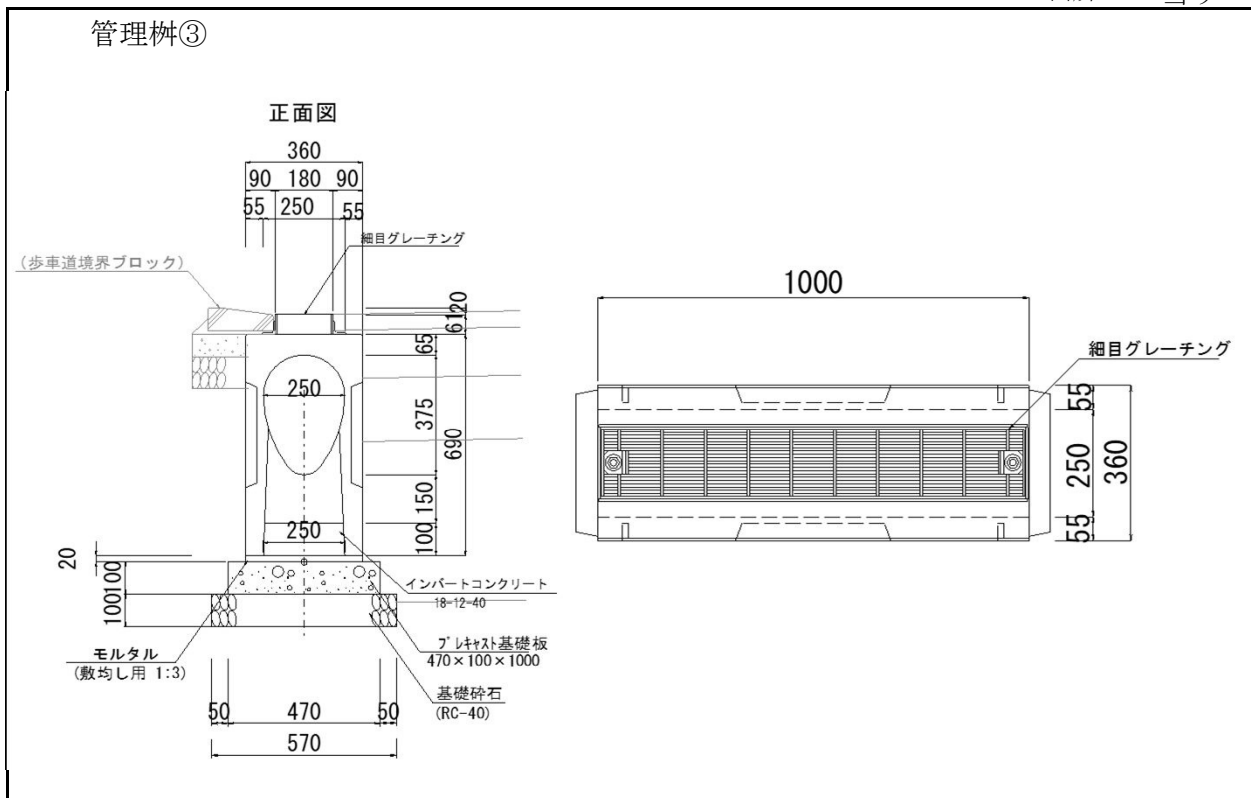
360

[illegible]

單位數量計算書

10.0箇所

当り

[illegible]

10.0m 当り

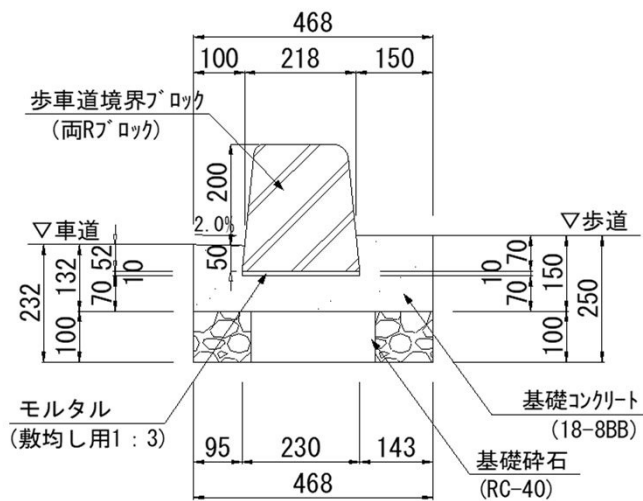
[illegible][illegible]

單位數量計算書

10. 0m

当り

L型側溝①

[illegible]

10.0m 当り

Technical drawing of a road cross-section showing a 2.0% slope. The drawing includes dimensions for the road width (468), sidewalk width (150), and various heights (100, 132, 70, 52, 10, 150). Labels indicate materials like concrete (基礎コンクリート), protection concrete (保護コンクリート), and gravel (基礎碎石). A note at the bottom right states: ※路盤工にて計上

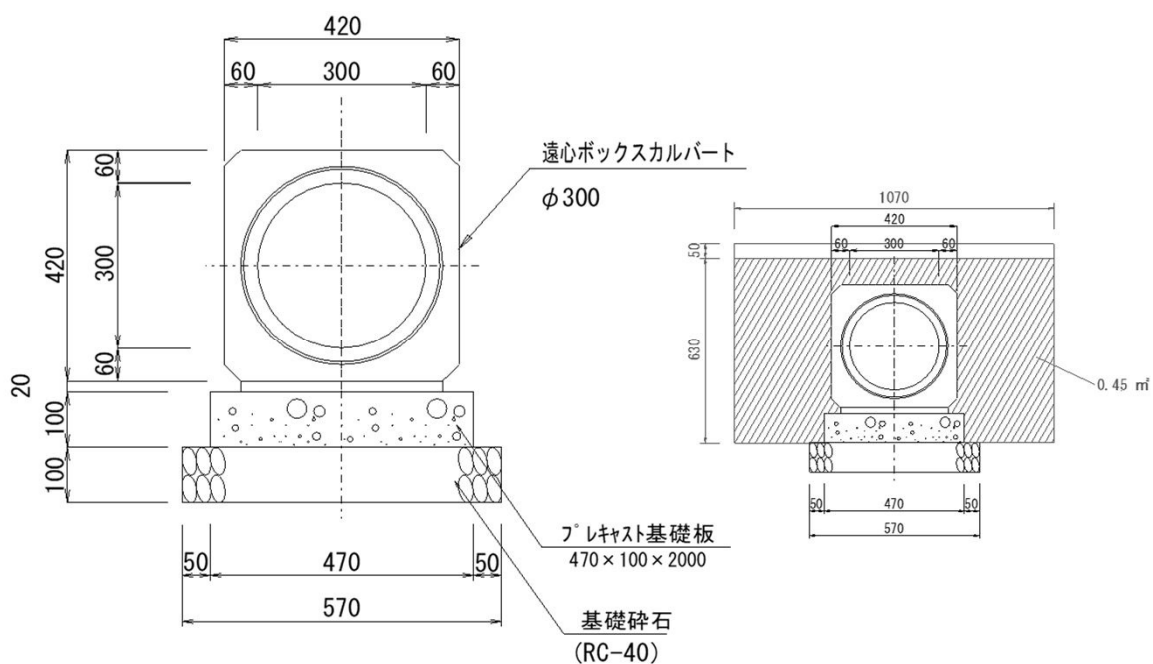
[illegible]

單位數量計算書

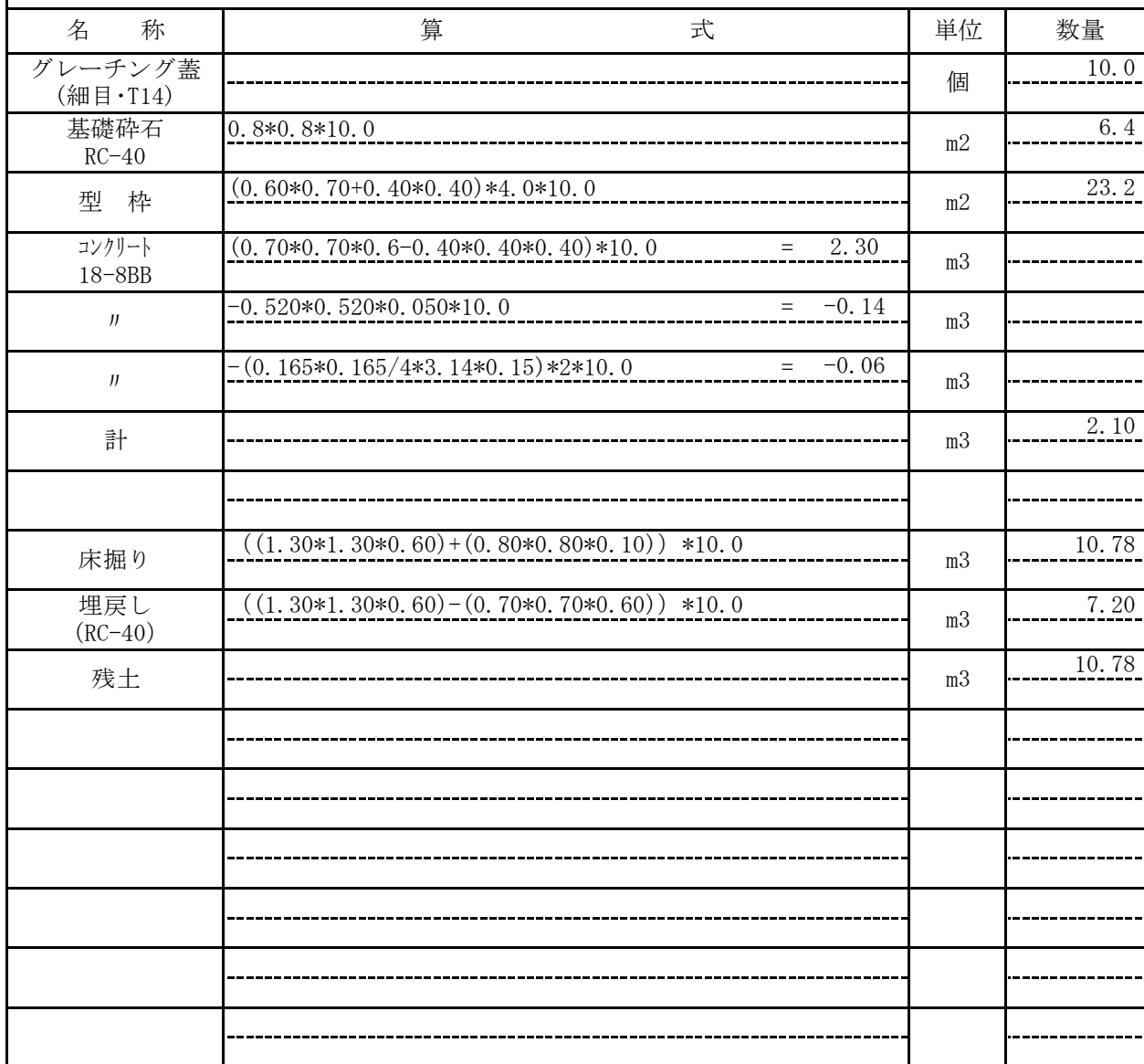
10. 0m

当り

暗渠管① ($\phi 300$)

[illegible]

10.0箇所 当り

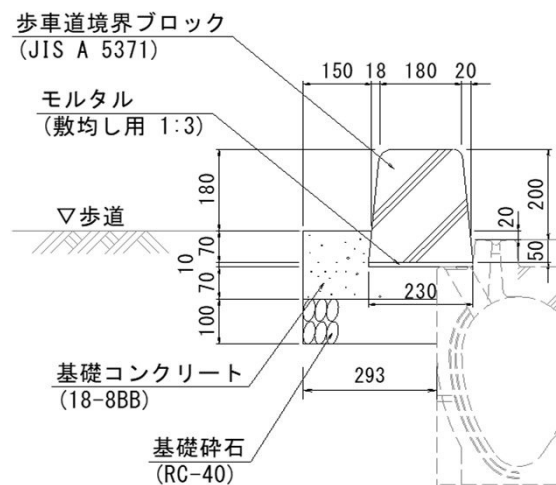


單位數量計算書

10. 0m

当り

歩車道境界ブロック (両R)

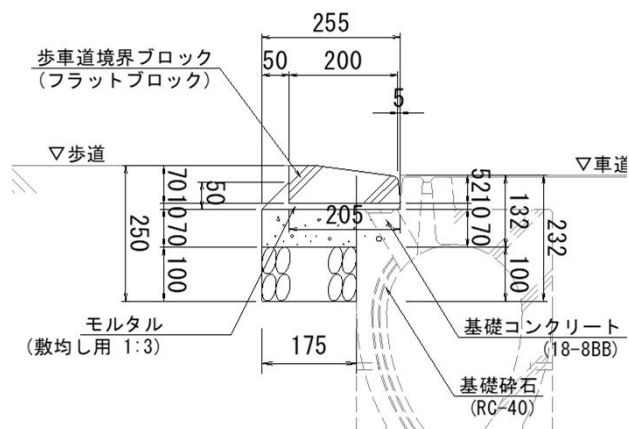
[illegible]

單位數量計算書

10. 0m

当り

歩車道境界ブロック (フラット)

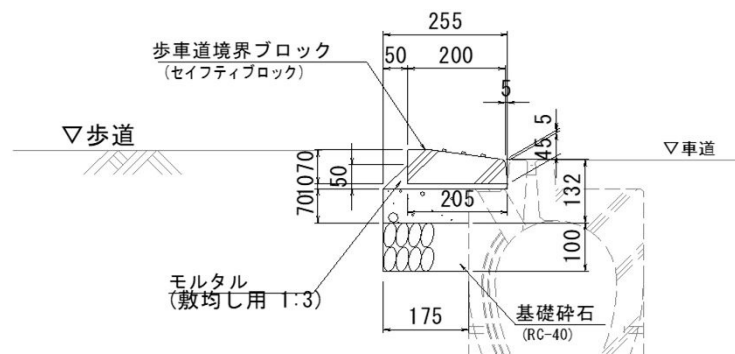
[illegible]

單位數量計算書

10. 0m

当り

歩車道境界ブロック（横断歩道）

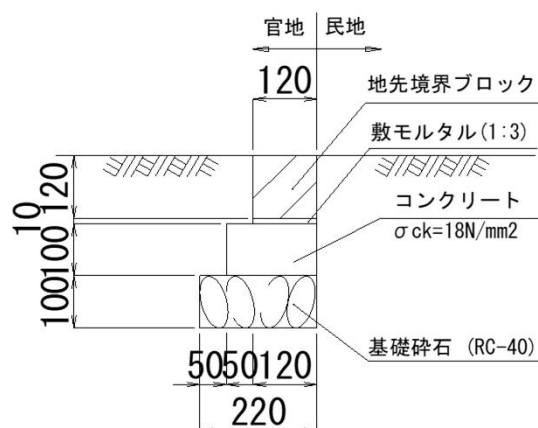
[illegible]

單位數量計算書

10. 0m

当り

地先境界ブロック

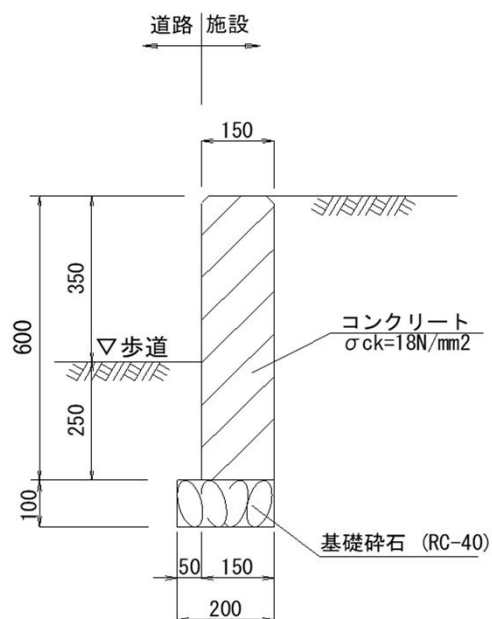
[illegible]

單位數量計算書

10. 0m

当り

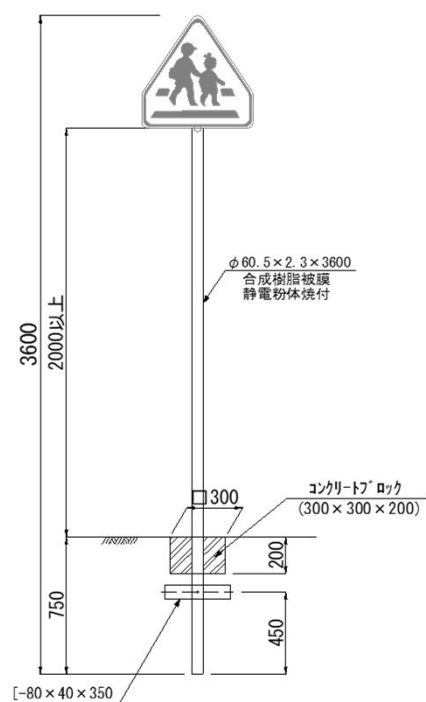
隔壁

[illegible]

單位數量計算書

10箇所 当り

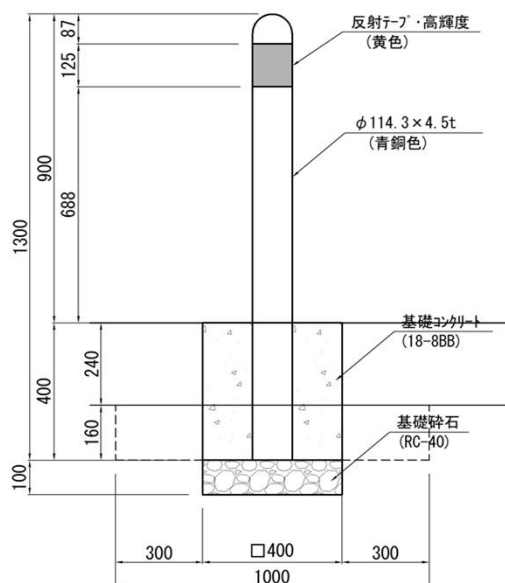
標識設置

[illegible]

單位數量計算書

10.0箇所 当り

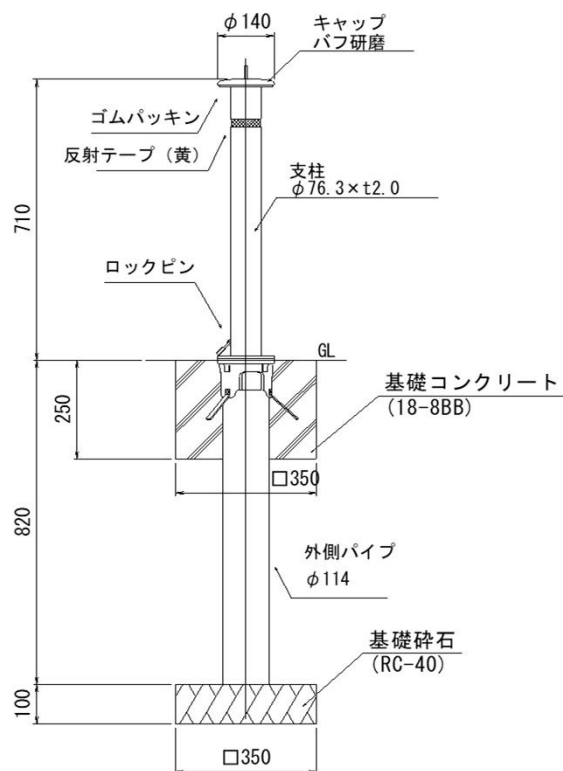
車止め

[illegible]

單位數量計算書

10.0箇所 当り

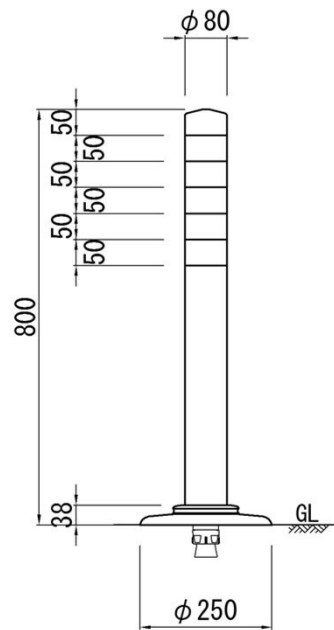
車止め (脱着式)

[illegible]

單位數量計算書

10.0箇所 当り

ポストコーン

[illegible]

10.0m 当り

Technical drawing of a gate structure, showing a cross-section of a double-row gate. The drawing includes dimensions and material specifications.

Dimensions:

- Overall width: 3000
- Overall height: 800
- Gate leaf width: 3000
- Gate leaf height: 800
- Gate leaf thickness: 400
- Gate leaf width (bottom): 100
- Gate leaf width (bottom): 300

Material Specifications:

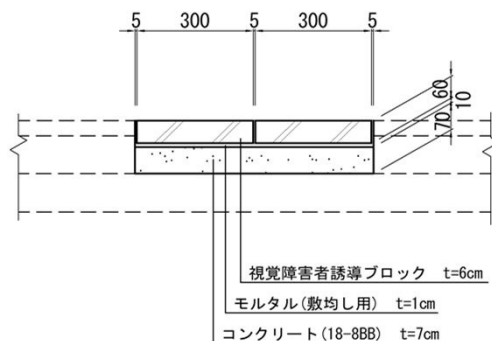
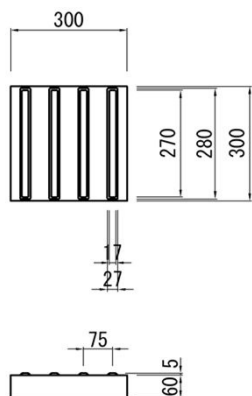
- Gate leaf: $\phi 42.7 \times 2.3$
- Gate leaf: $\phi 60.5 \times 3.2$
- Gate leaf: 基礎コンクリート (18-8BB)
- Gate leaf: 基礎砕石 (RC-40)

[illegible]

單位數量計算書

10.0m2 当り

点字ブロック（再利用）

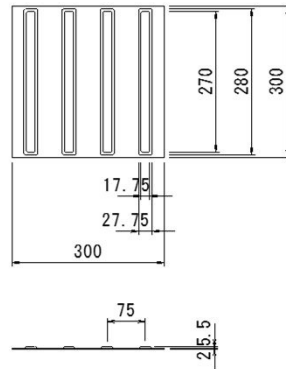
[illegible]

單位數量計算書

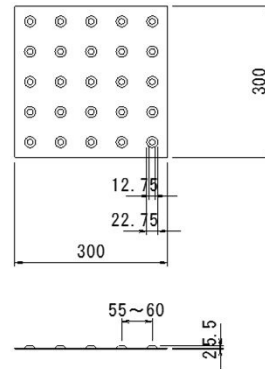
100.0枚 当り

点字シート

線状シート



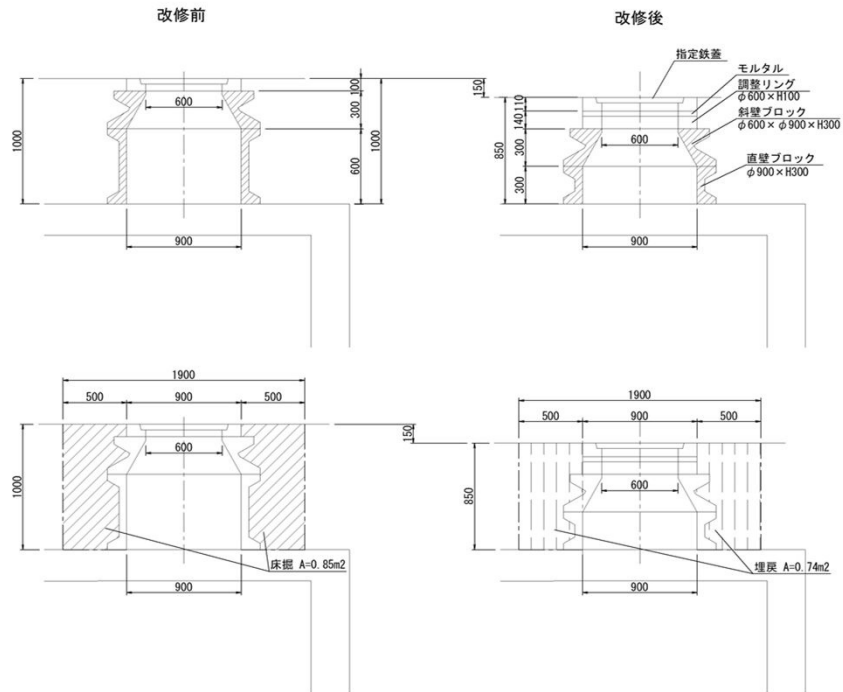
点状シート

[illegible]

単位数量計算書

10.0箇所 当り

防火水槽改修

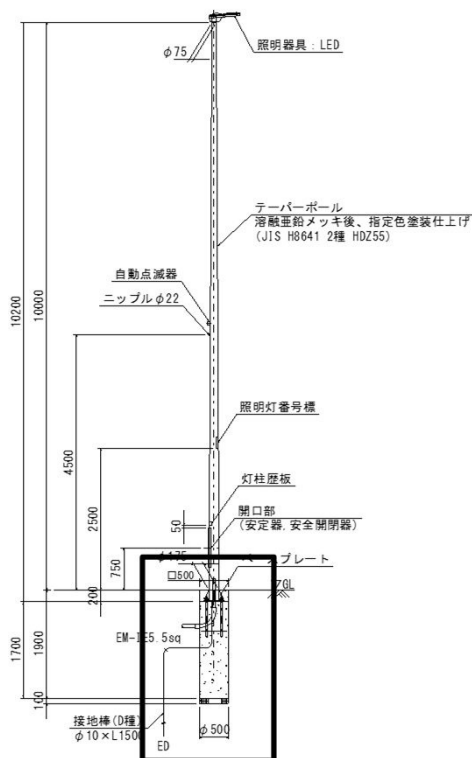


名 称	算 式	単位	数量
指定蓋 (受枠含む)		箇所	10.0
調整リング (H=100)		箇所	10.0
斜壁 (H=300)		箇所	10.0
直壁 (H=300)		箇所	10.0
モルタル		kg	200.0
撤去			
蓋及び受枠	0.192×10.0 (参考重量 蓋 : 77kg 受枠 : 115kg)	t	1.92
斜壁 (H=300)	$0.318 / 2.5 \times 10.0$ (参考重量 JIS型A : 318kg)	m3	1.27
直壁 (H=600)	$0.374 / 2.5 \times 10.0$ (参考重量 JIS型900B : 374kg)	m3	1.50
土工			
床掘り	$((1.90 \times 1.90) - (0.90 \times 0.90 \times \pi / 4)) \times 1.00 \times 10$	m3	29.74
埋戻し 発生土	$((1.90 \times 1.90) - (0.90 \times 0.90 \times \pi / 4)) \times 0.85 \times 10$	m3	25.28
残土	$29.74 - 25.28 / 0.9$	m3	1.65

單位數量計算書

1.0箇所 当り

照明柱

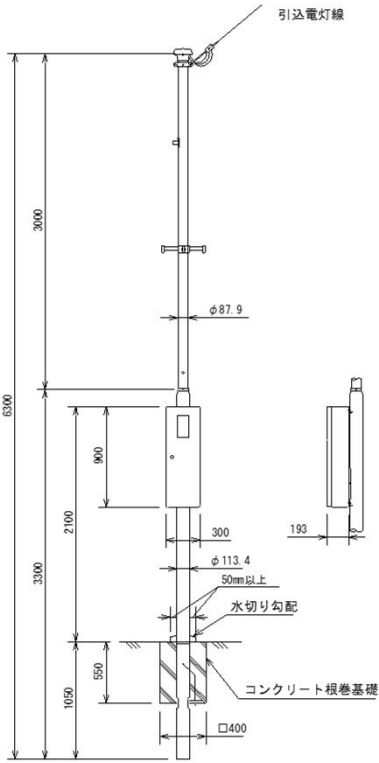


名 称	算 式	単位	数量
アンカーボルト	$4-M24 \times 700L$	組	1.00
基礎砕石 RC-40	$\pi /4 \times 0.50^2$	m2	0.20
型 枠	スパイラル径φ500	m	1.90
型 枠 (根巻コンクリート用)	$0.50 \times 0.20 \times 4.0$	m2	0.40
基礎コンクリート 18-8BB	$\pi /4 \times 0.50^2 \times 1.90$	m3	0.37
根巻コンクリート 18-8BB	$0.50 \times 0.50 \times 0.20$	m3	0.05
床掘り	$1.10 \times 1.10 \times 2.20$	m3	2.66
埋戻し (RC-40)	$(1.10 \times 1.10 \times 2.20) - (\pi /4 * 0.50^2 * 2.20)$	m3	2.23
残土		m3	2.66

単位数量計算書

1.0箇所 当り

引込柱

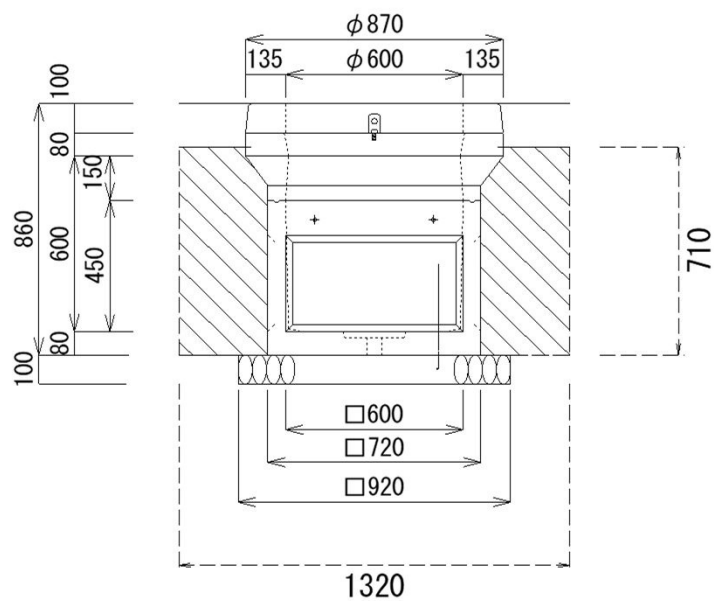


名 称	算 式	単位	数量
引込柱	丸形段付ポール：鋼管L=6.30m	本	1.0
分電盤	屋外用共架式	基	1.0
自動点滅器		基	1.0
型 枠	0.40*0.55*4.0	m2	0.88
根巻コンクリート 18-8BB	$((0.40*0.40)-(0.113*0.113*\pi/4))*0.55$	m3	0.08
床掘り	0.40*0.40*1.05	m3	0.17
埋戻し 発生土	$(0.40*0.40*1.05)-0.08$	m3	0.09
残土	$0.17-0.09/0.9$	m3	0.07

單位數量計算書

1.0箇所 当り

ハンドホール

[illegible]

10.0m 当り

Technical drawings of two types of manhole covers:

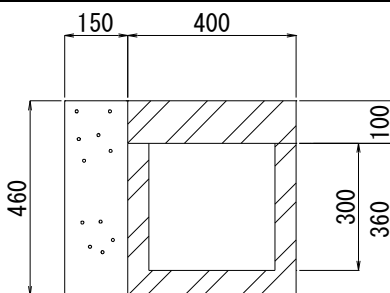
- 歩道舗装 (Sidewalk Paving):**
 - Width: 400
 - Total Height: 640 (Base: 40, Cover: 600以上)
 - Internal Label: (管+30 c m) 埋設標識シート
 - Installation Note: ※土工にて計上
 - Base: 配管工 FEP φ30 (外径40)
- 車道舗装 (Road Paving):**
 - Width: 400
 - Total Height: 840 (Base: 40, Cover: 800以上)
 - Internal Label: (管+30 c m) 埋設標識シート
 - Installation Note: ※土工にて計上
 - Base: 配管工 FEP φ30 (外径40)

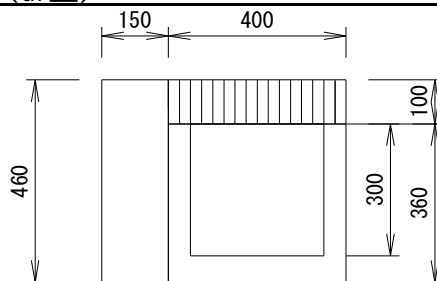
[illegible]

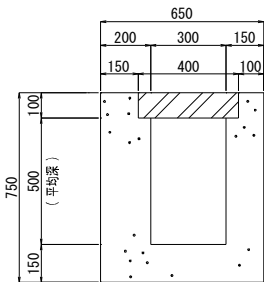
撤去単位量		L型側溝		1.0m 当り	
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量	摘 要
コンクリート	無 筋	$(0.45 \times 0.165) - (0.35 \times 0.065) +$			
		$(0.45 \times 0.30) - (0.15 \times 0.15 \times 3.14 / 4)$	m3	0.169	
コンクリート	有 筋				
塩ビ	廃材	3.9kg/m(参考)	t	0.004	

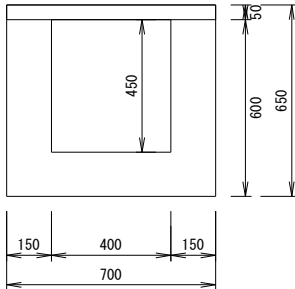
撤去単位量		L型街渠1		1.0m 当り	
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量	摘 要
コンクリート	無 筋	$(0.45 \times 0.165) - (0.35 \times 0.065) +$			
		0.45×0.10	m3	0.097	
コンクリート	有 筋				
			m3		

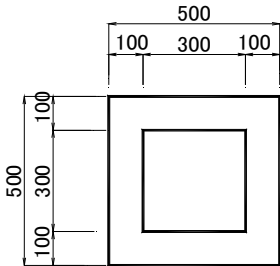
撤去単位量		L型街渠2		1.0m 当り	
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量	摘 要
コンクリート	無 筋	$(0.12+0.15)*0.5/2+$			
		$0.32*0.20$	m3	0.132	
コンクリート	有 筋				
			m3		

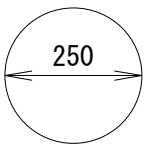
撤去単位量		U字溝 (CON蓋)		1.0m 当り	
					
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量	摘 要
コンクリート	無 筋	0.15*0.46	m3	0.069	
コンクリート	有 筋	0.36*0.36-0.30*0.30+	m3	0.080	
		0.40*0.10			

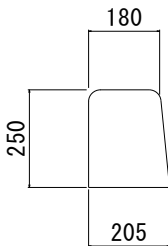
撤去単位量		U字溝 (Gr蓋)		1.0m 当り	
					
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量	摘 要
コンクリート	無 筋	0.15*0.46	m3	0.069	
コンクリート	有 筋	0.36*0.40-0.30*0.30	m3	0.054	
鋼材		35kg(参考)	t	0.035	

撤去単位量		管理桧		1.0 基当り	
					
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量	摘 要
コンクリート	無 筋	$0.75 \times 0.65 \times 0.65 - 0.30 \times 0.30 \times 0.50 - 0.40 \times 0.40 \times 0.10$			
			m3	0.256	
コンクリート	有 筋				
鋼材		27kg(参考)			
			t	0.027	

撤去単体量		集水枿	1.0 基当り		
					
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量	摘 要
コンクリート	無 筋	$0.60 \times 0.70 \times 0.70 - 0.45 \times 0.40 \times 0.40$			
			m3	0.222	
コンクリート	有 筋	$0.05 \times 0.70 \times 0.70$			
			m3	0.025	

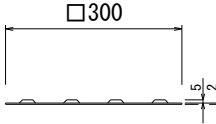
撤去単位量		暗渠管 φ300	1.0m 当り		
					
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量	摘 要
コンクリート	無 筋		m3		
コンクリート	有 筋	0.50*0.50-0.30*0.30	m3	0.160	

撤去単位量		暗渠管1 φ250		1.0m 当り	
					
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量	摘 要
コンクリート	無 筋		m3		
コンクリート	有 筋				
			m3		
産廃		3.8kg(参考)/4			
			t	0.004	

撤去単位量		歩車道境界ブロック		1.0m 当り	
					
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量	摘 要
コンクリート	無 筋	$(0.180+0.205) \times 0.250 / 2$			
			m3	0.048	
コンクリート	有 筋				
			m3		

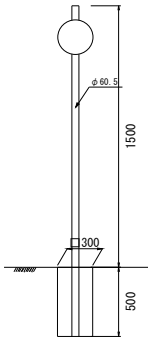
撤去単位量		地先境界ブロック		1.0m 当り	

撤去単位量		点字ブロック		1.0m2 当り	
□300 <					

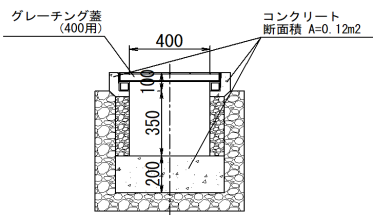
撤去単位量		点字シート		1.0m2 当り	
					
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量	摘 要
産廃		0.48*11.2 ※0.48kg/枚			
			t	0.005	

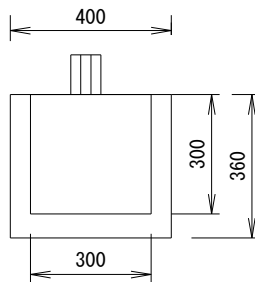
Technical drawing of a vertical assembly. The main body is labeled "本体 φ130". The core is labeled "芯材 φ76.3". The base is labeled "ネナセ棒 φ9×150". Dimensions are given in millimeters: 50, 699, 822, 1222, 50, 36, 400, 100, 300, 400. The drawing shows a cross-section of the assembly with a central core, a main body, and a base. The core is surrounded by a sleeve, and the base is a separate component. The dimensions indicate the overall height and the thickness of the various layers.

Figure 1 is a cross-sectional diagram of a vertical pipe assembly. The diagram shows a central vertical pipe with various components and dimensions. At the top, a cap (キャップ) is shown with a height of 140. Below it is a grommet (ゴムパッキン) and a bracket (ブラケット). The main pipe has a diameter of 76.3 x 12.0. A lock pin (ロックピン) is shown at a height of 710. The pipe is surrounded by a concrete sleeve (コンクリート) with a height of 250. The sleeve is reinforced with steel bars (鉄筋). The bottom of the sleeve is labeled '基礎コンクリート (18-88B)'. The pipe is labeled '外側パイプ φ114'. The bottom of the pipe is labeled '基礎砕石 (RC-40)'.

撤去単位量		標識撤去		1.0m 当り	
					
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量	摘 要
コンクリート	無 筋	$0.30 \times 0.30 \times 0.50 - (0.06 \times 0.06 \times 3.14 / 4 \times 0.50)$	m3	0.044	
コンクリート	有 筋				
			m3		
鋼材	車止め本体	5.5kg(参考)	t	0.006	

撤去単位量		隔壁撤去		1.0m 当り	
150 500					
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量	摘 要
コンクリート	無 筋	0.15*0.50			
			m3	0.075	
コンクリート	有 筋				
			m3		

撤去単位量		U字溝 (Gr蓋)		1.0m 当り	
					
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量	摘 要
コンクリート	無 筋		m3		
コンクリート	有 筋	0.12*1.0	m3	0.120	
鋼材		50.6kg(参考)	t	0.051	

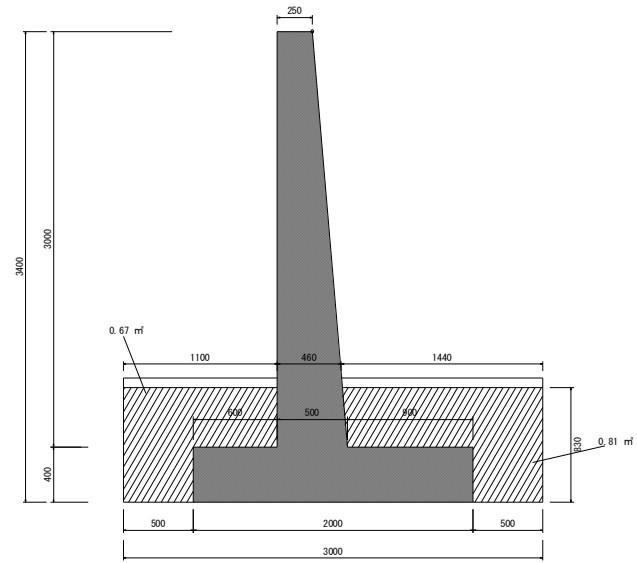
撤去単位量		U字溝1	1.0m 当り		
					
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量	摘 要
コンクリート	無 筋		m3		
コンクリート	有 筋	0.36*0.36-0.30*0.30	m3	0.040	
鋼材		32.0kg(参考)	t	0.032	

撤去単位量	浸透枳	1.0 基当り			
グレーチング 蓋 細目 (36.5kg) 700□ 150 400□ 150 500 150					
名 称	規格・形状	算 式	単位	数 量	摘 要
コンクリート	無 筋	$0.70 \times 0.70 \times 0.65 - 0.40 \times 0.40 \times 0.50$	m3	0.240	
コンクリート	有 筋		m3		
鋼材		36.5kg(参考)	t	0.037	

撤去単位量

館名表示壁

10m当り



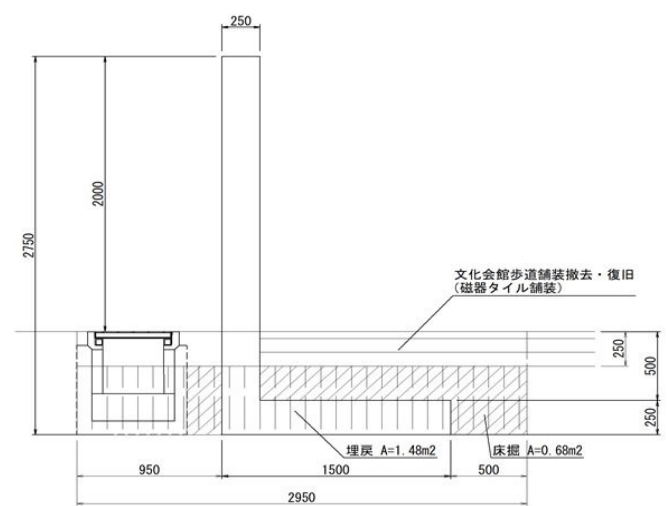
掘削幅3.00m

工 種	算 式	単位	数 量
館名表示壁撤去	$(1/2 \times (0.25 + 0.50) \times 3.50 + 0.40 \times 2.00) \times 10.0$	m3	21.13
有筋			
床掘	$(0.67 + 0.81) \times 10.0$	m3	14.80
埋戻	$0.83 \times 3.00 \times 10.0$	m3	24.90
発生土			

撤去単位量

目隠し擁壁

10m当り



工 種	算 式	単位	数 量
擁壁撤去	$0.25 \times 1.50 + 0.25 \times 2.50 \times 10.00$	m3	6.63
有筋			
床掘	0.68×10	m3	6.80
埋戻	1.48×10	m3	14.80
発生土			

撤去単位量		駐輪場		10箇所当り	
工 種	算 式			単位	数 量
自転車駐輪場基礎	$(0.60 \times 0.30 + 0.40 \times 0.50) \times 0.60 \times 2 \times 10$			m3	13.39
鉄筋Co	$+ (1.12 \times 0.30 + 0.40 \times 0.50 \times 2) \times 0.60 \times 2 \times 10$				
床掘	1.47×10			m3	14.70
埋戻 発生土	2.57×10			m3	25.70

スチールパイプ

φ76.3×3.2=5.77kg

φ89.1×3.2=6.78kg

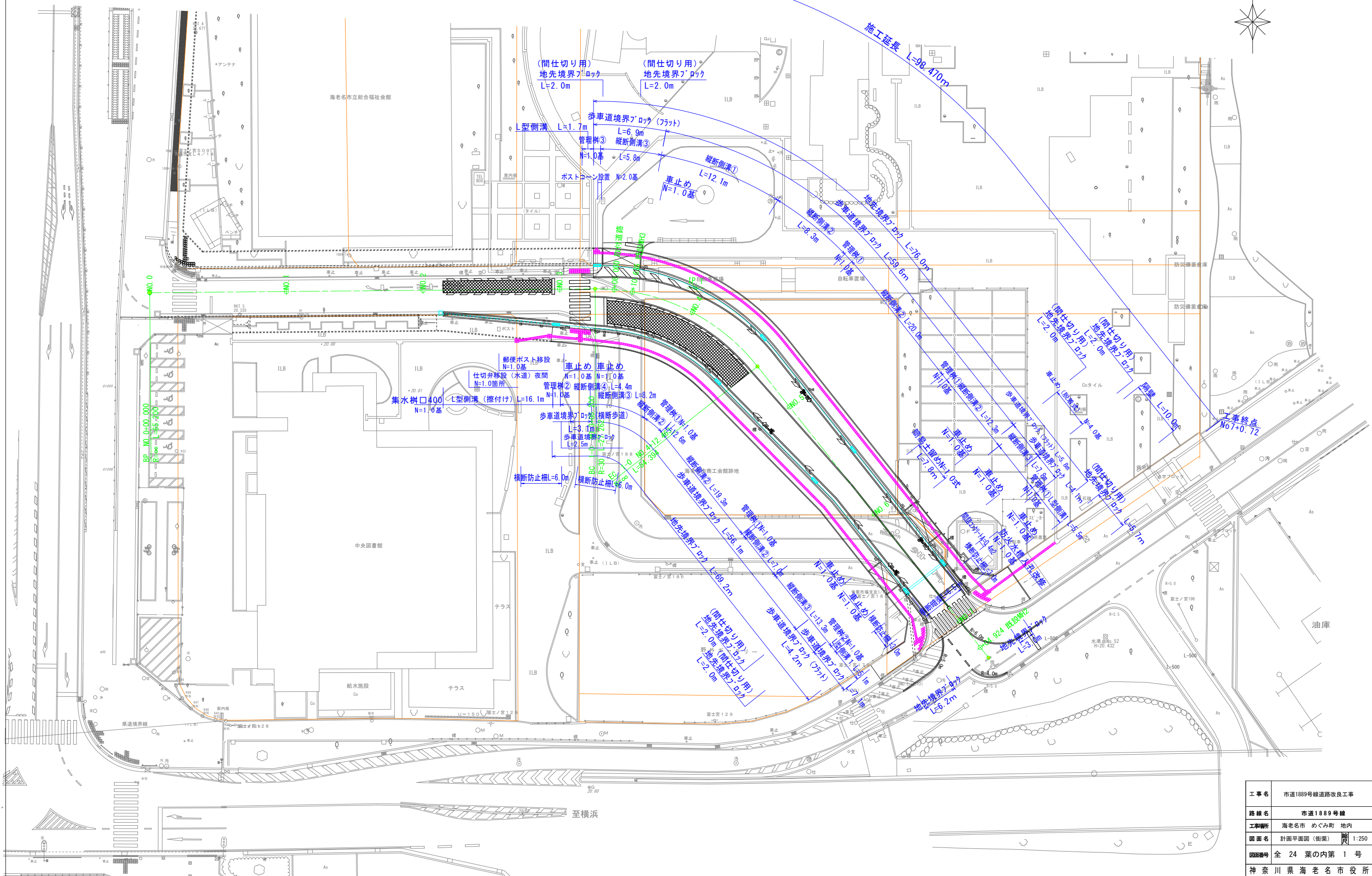
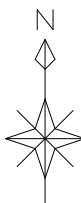
φ114.3×3.6=9.56kg

工 種	算 式	単位	数 量
φ76.3	$5.77 \times (0.077 \times 2 + 0.944 \times 2 + 0.075 \times 3 + 1.40) \times 2 \times 3$	kg	126.95
φ89.1	$6.78 \times 18.00 \times 6$		732.24
φ114.3	$9.56 \times 1.95 \times 4 \times 3$	kg	223.70

工事起点
No. 2+2.25

計画平面図（街渠）

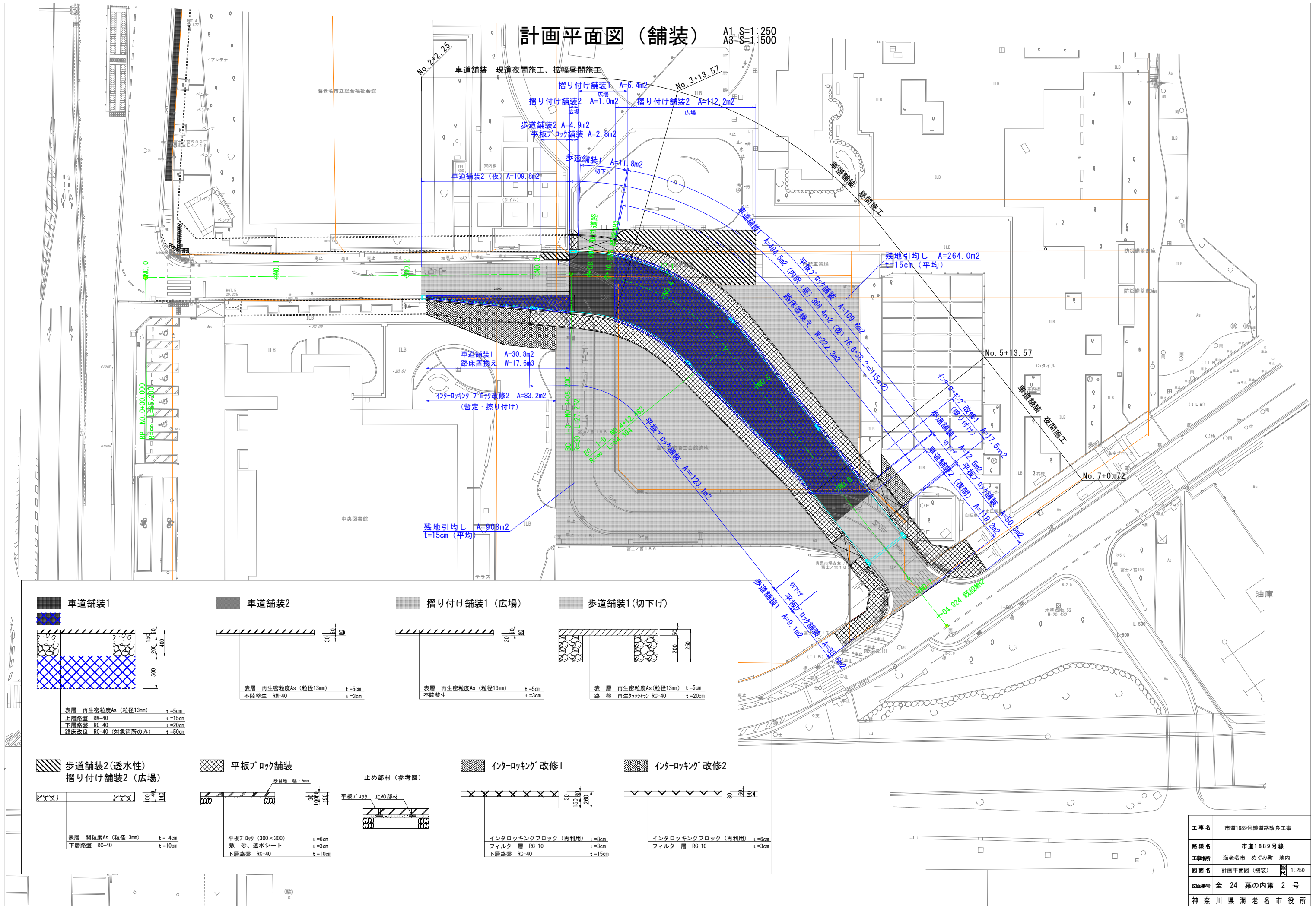
A1 S=1:250
A3 S=1:500



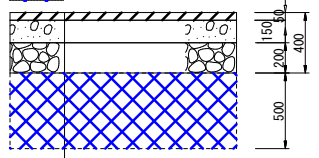
工 事 名	市道1889号線道路改良工事
路 線 名	市道1889号線
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内
図 面 名	計画平面図（街渠）
図面番号	全 24 葉の内第 1 号
施 工 所	神奈川県海老名市役所

計画平面図（舗装）

A1 S=1:250
A3 S=1:500

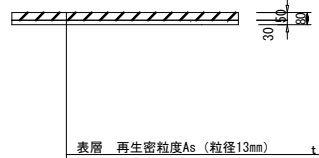


車道舗装1



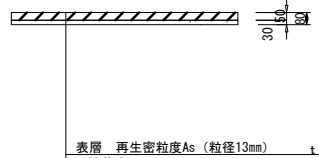
表層 再生密粒度As (粒径13mm) t=5cm
上層路盤 RM-40 t=15cm
下層路盤 RC-40 t=20cm
路床改良 RC-40 (対象箇所のみ) t=50cm

車道舗装2



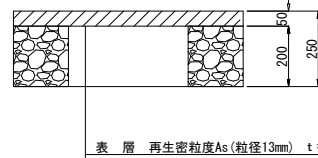
表層 再生密粒度As (粒径13mm) t=5cm
不陸整生 RM-40 t=3cm

摺り付け舗装1 (広場)



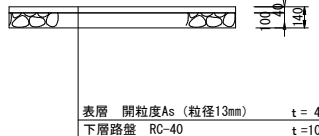
表層 再生密粒度As (粒径13mm) t=5cm
不陸整生 t=3cm

歩道舗装1 (切下げ)



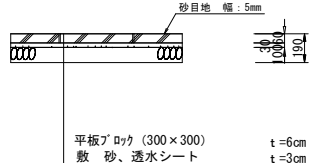
表層 再生密粒度As (粒径13mm) t=5cm
路盤 再生クッション RC-40 t=20cm

歩道舗装2 (透水性)
摺り付け舗装2 (広場)



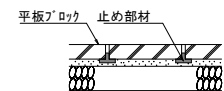
表層 開粒度As (粒径13mm) t=4cm
下層路盤 RC-40 t=10cm

平板ブロック舗装



平板ブロック (300×300) t=6cm
敷 砂、透水シート t=3cm
下層路盤 RC-40 t=10cm

止め部材 (参考図)



インターロッキング改修1



インターロッキングブロック (再利用) t=8cm
フィルター層 RC-10 t=3cm
下層路盤 RC-40 t=15cm

インターロッキング改修2

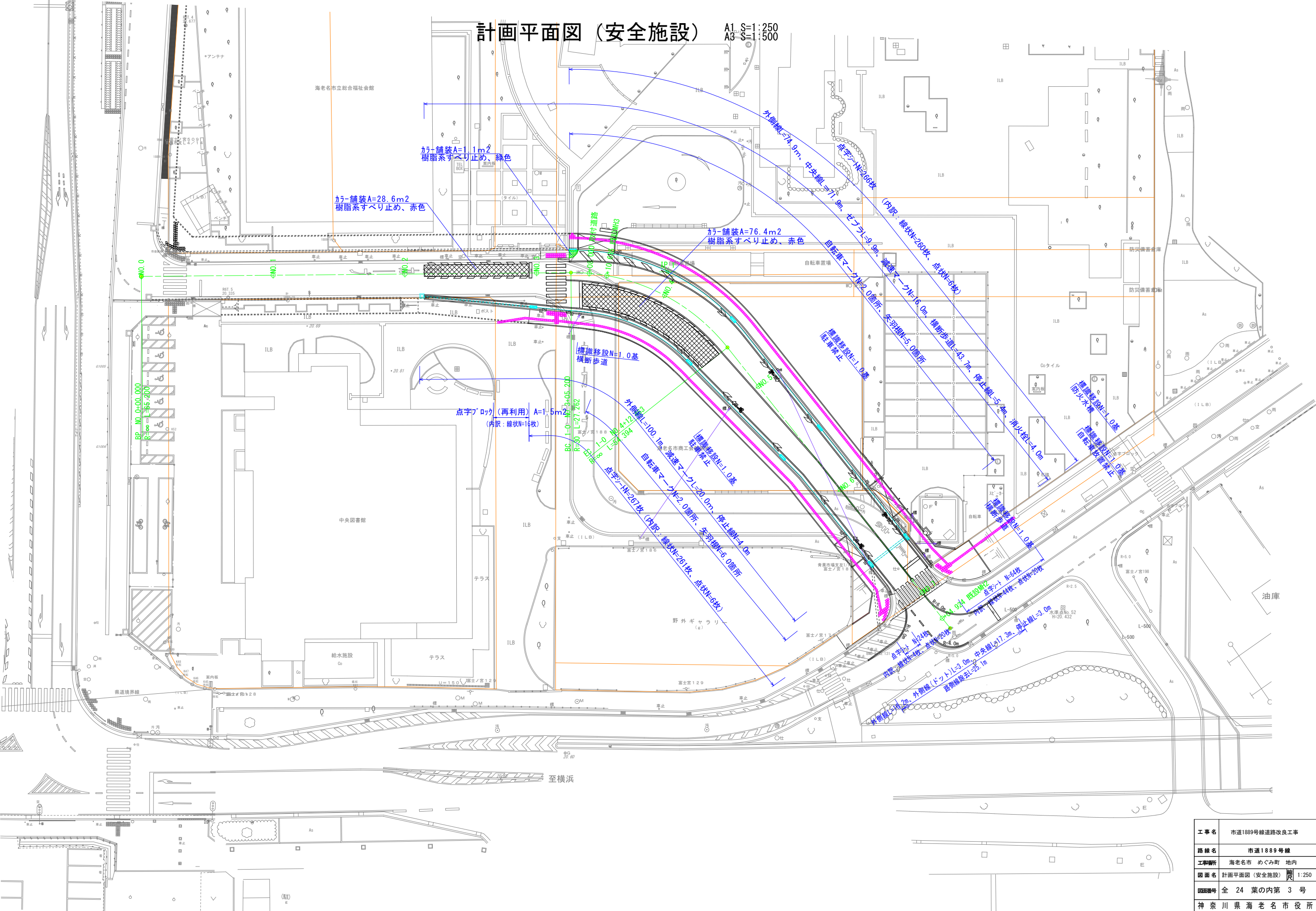


インターロッキングブロック (再利用) t=6cm
フィルター層 RC-10 t=3cm

工事名	市道1889号線道路改良工事
路線名	市道1889号線
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内
図面名	計画平面図 (舗装) 図 1:250
図面番号	全 24 葉の内第 2 号
神奈川県海老名市役所	

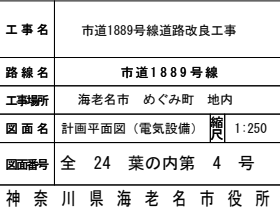
計画平面図（安全施設）

A1 S=1:250
A3 S=1:500



工事名	市道1889号線道路改良工事
路線名	市道1889号線
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内
図面名	計画平面図（安全施設）
図面番号	全 24 葉の内第 3 号
縮尺	1:250
作成者	神奈川 県 海老名市 役 所

A1 S=1:250
A3 S=1:500



V=1 : 100
H=1 : 250



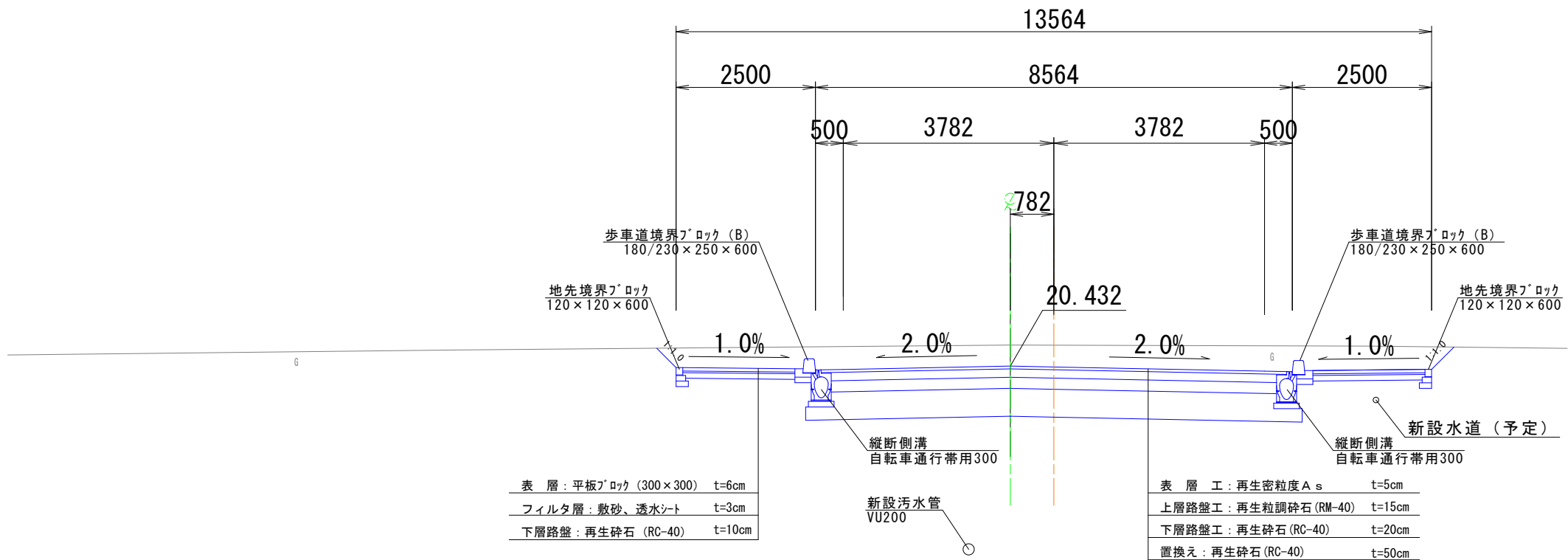
将来勾配

工事名	市道1889号線道路改良工事
路線名	市道1889号線
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内
図面名	計画縦断図 縮尺 V=1:100 H=1:250
図面番号	全 24 葉の内第 5 号
神奈川県海老名市役所	

標準横断面図 S=1:50

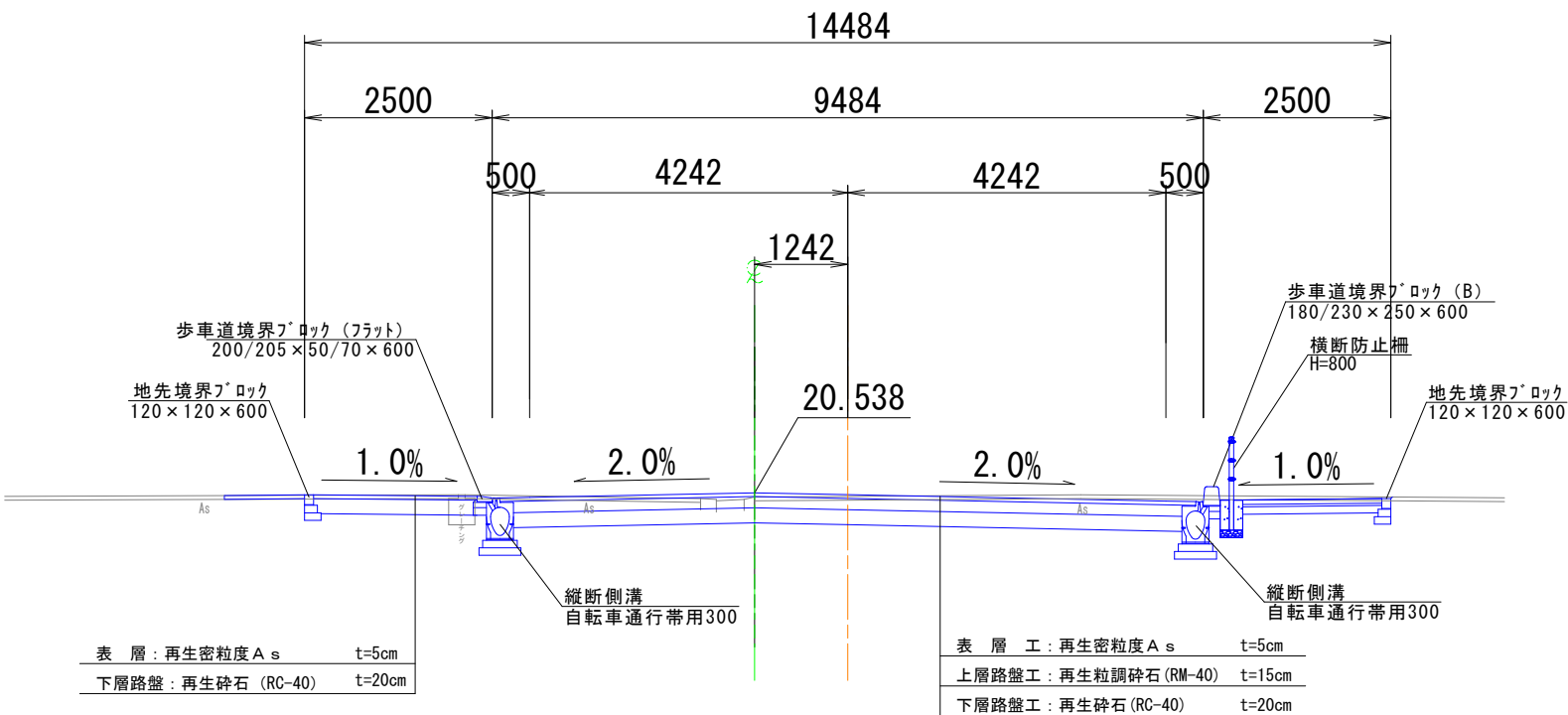
NO. 5

GH=20. 81
FH=20. 432



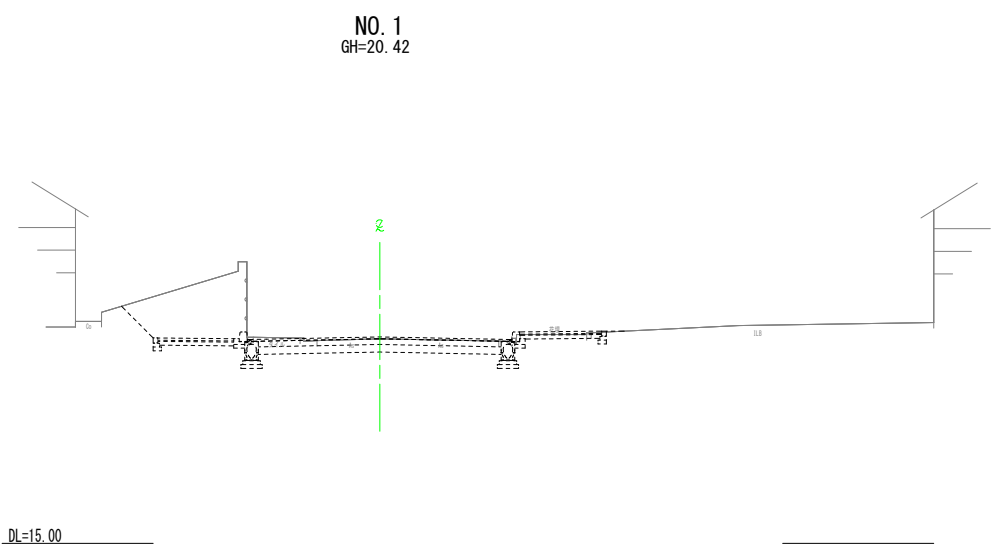
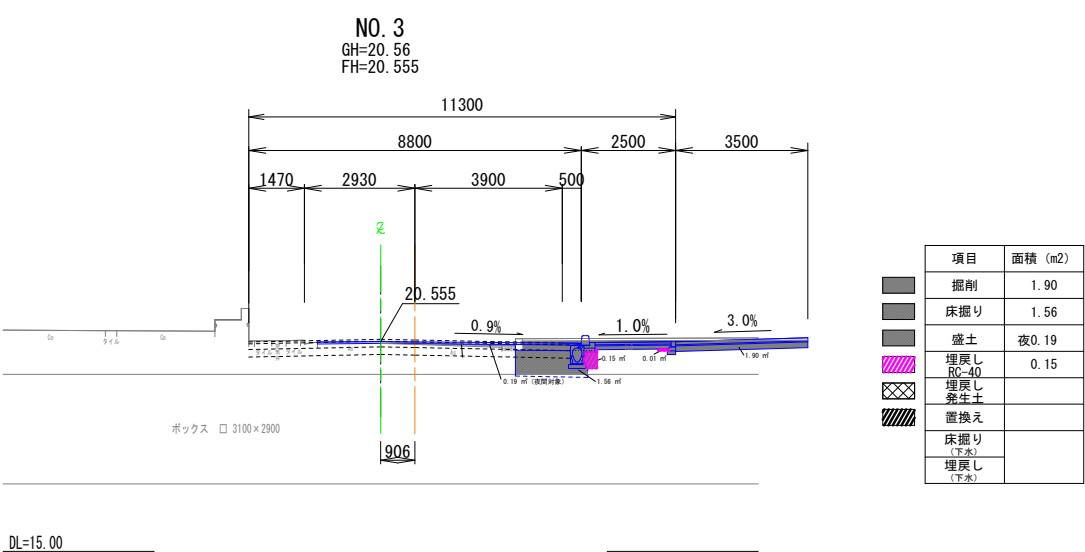
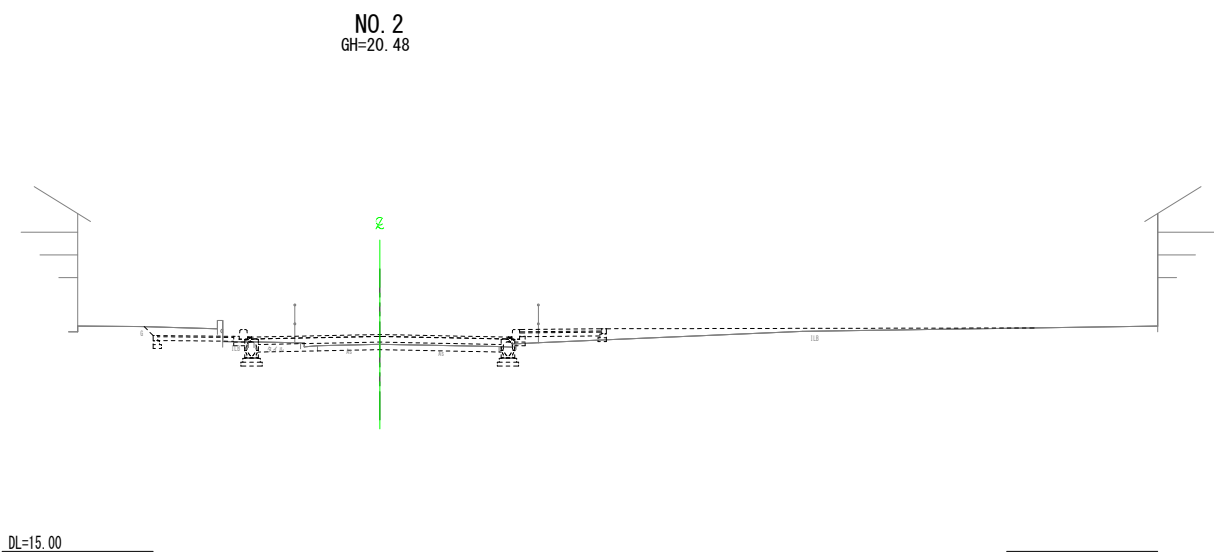
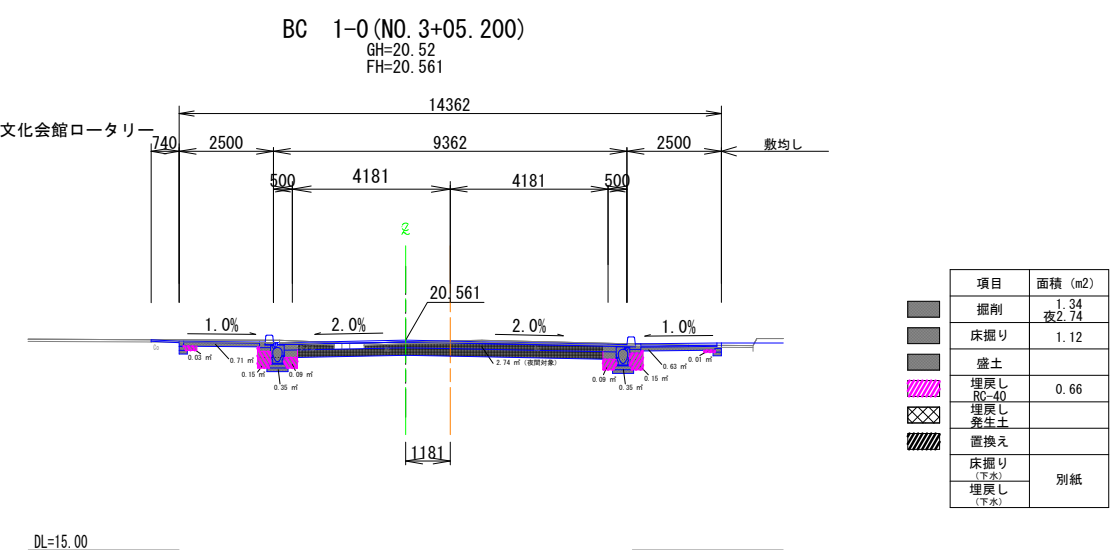
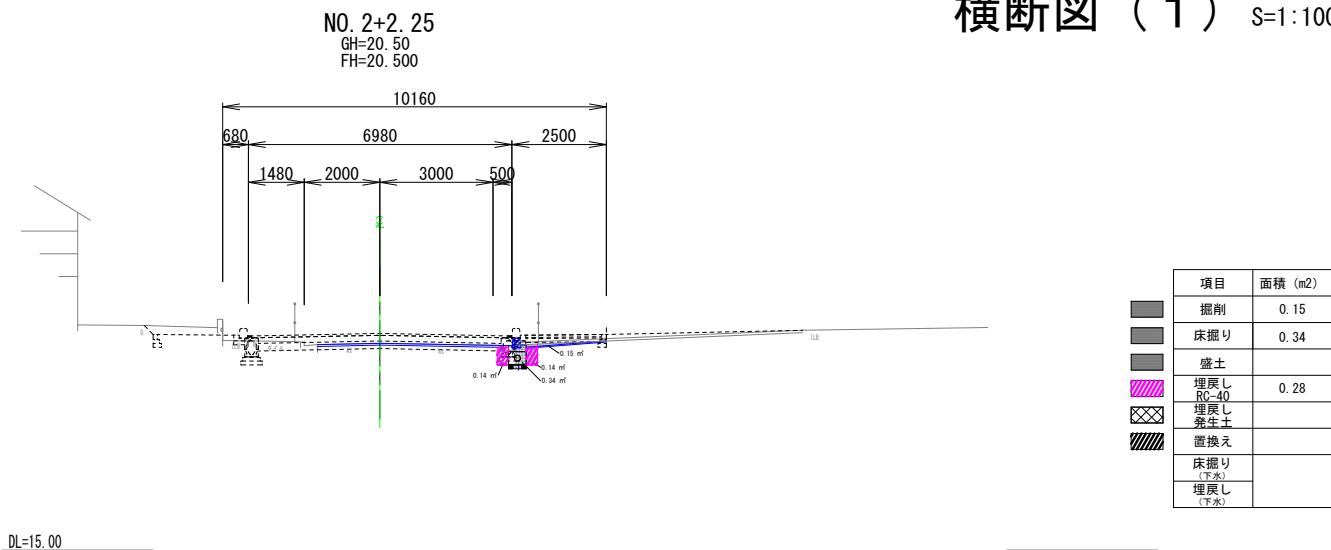
NO. 3+8. 0

GH=20. 48
FH=20. 538



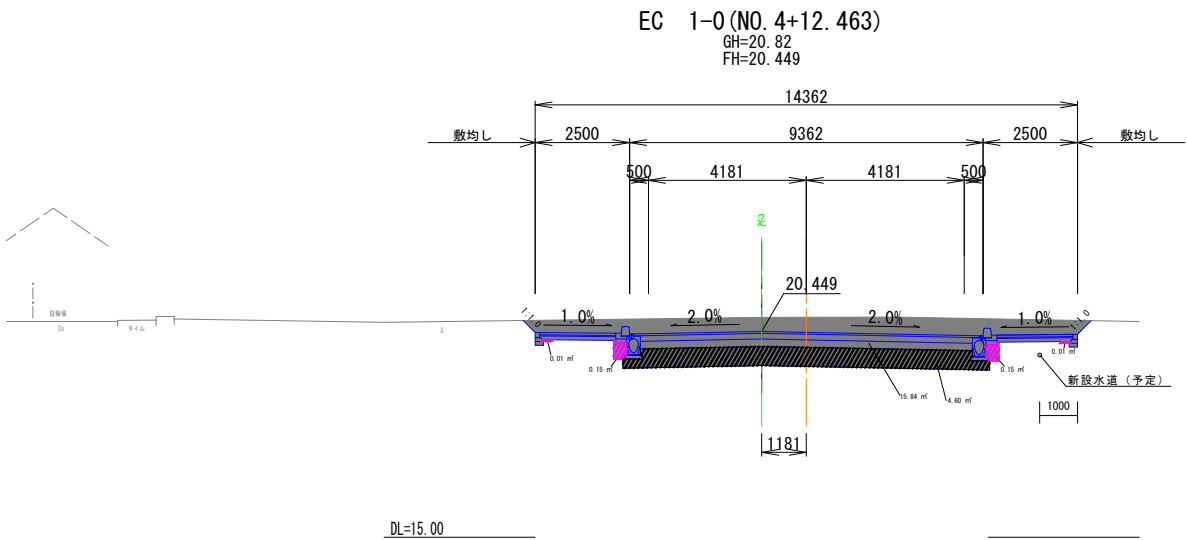
工事名	市道1889号線道路改良工事
路線名	市道1889号線
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内
図面名	標準横断面図 1:50
図面番号	全 24 葉の内第 6 号
神奈川県海老名市役所	

横断図（１） S=1:100

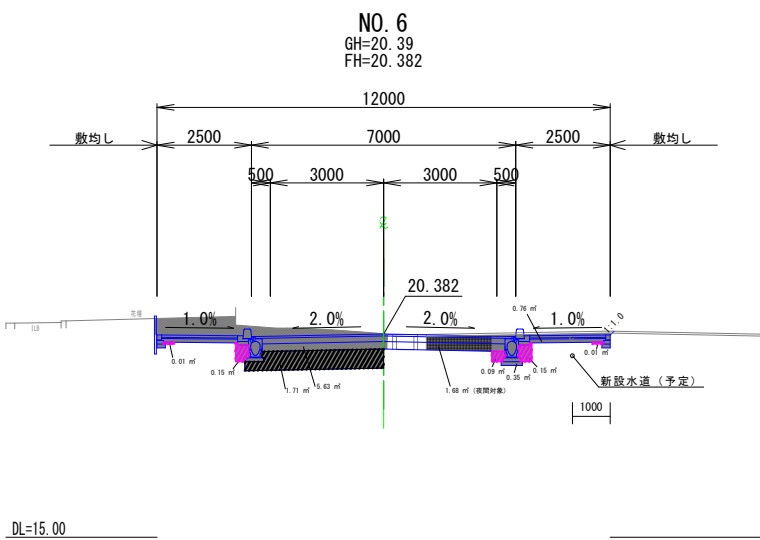


工事名	市道1889号線道路改良工事
路線名	市道1889号線
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内
図面名	横断図(1) 図 1:100
図面番号	全 24 葉の内第 7 号
神奈川県海老名市役所	

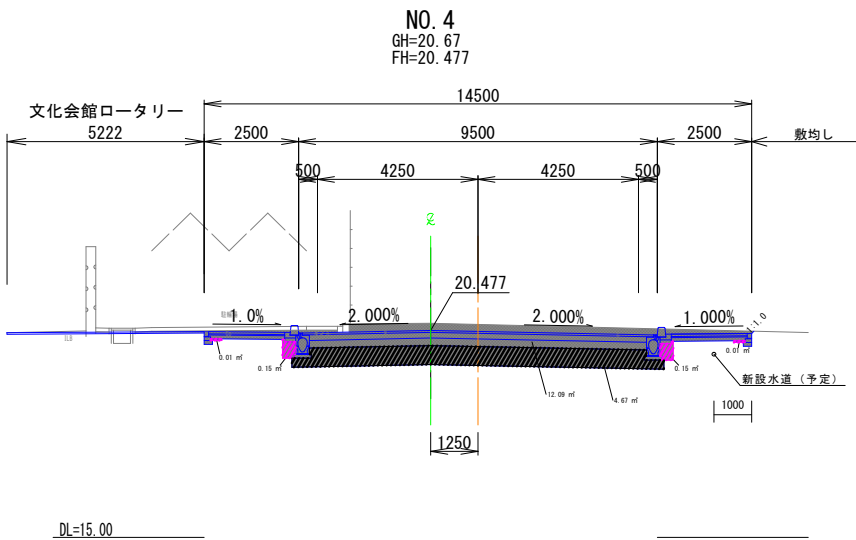
横断図（2） S=1：100



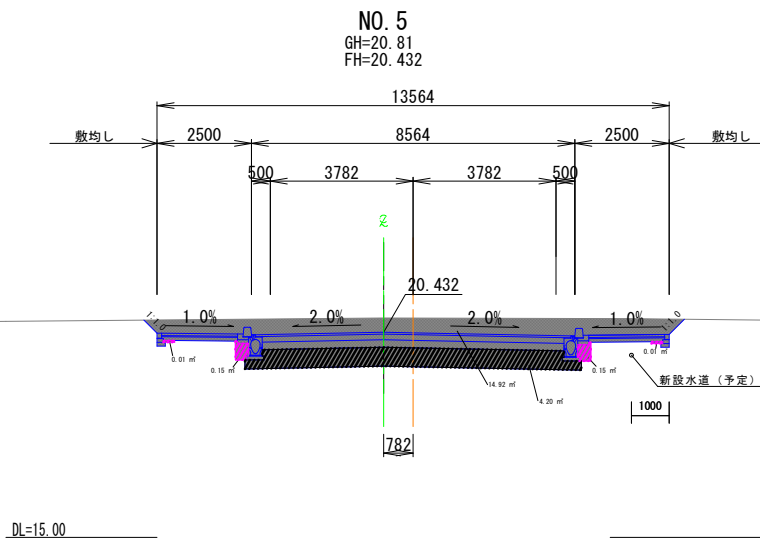
項目	面積 (m2)
掘削	15. 84
床掘り	
盛土	
埋戻し RC-40	0. 32
埋戻し 雑生土	
置換え	4. 80
床掘り (下水)	
埋戻し (下水)	別紙



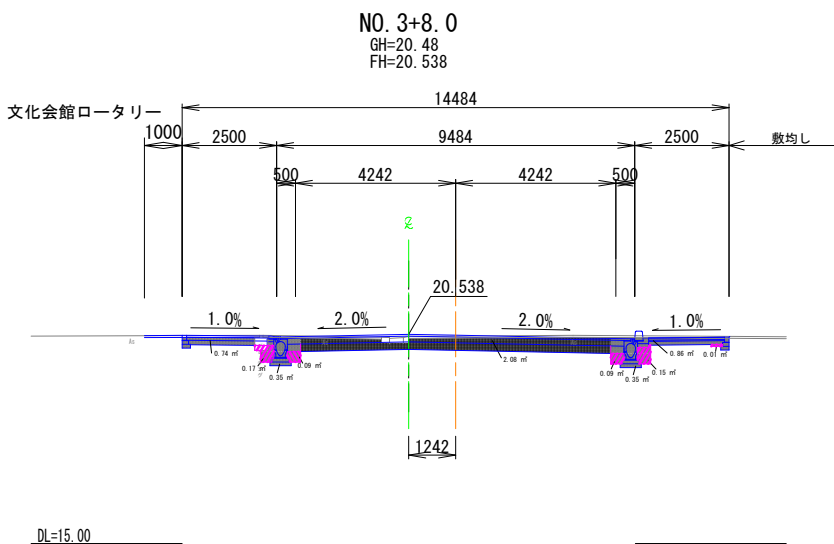
項目	面積 (m2)
掘削	6. 39 夜1. 68
床掘り	0. 35
盛土	
埋戻し RC-40	0. 40
埋戻し 雑生土	
置換え	1. 71
床掘り (下水)	
埋戻し (下水)	別紙



項目	面積 (m2)
掘削	12. 09
床掘り	
盛土	
埋戻し RC-40	0. 32
埋戻し 雑生土	
置換え	4. 67
床掘り (下水)	
埋戻し (下水)	別紙



項目	面積 (m2)
掘削	14. 92
床掘り	
盛土	
埋戻し RC-40	0. 32
埋戻し 雑生土	
置換え	4. 20
床掘り (下水)	
埋戻し (下水)	別紙

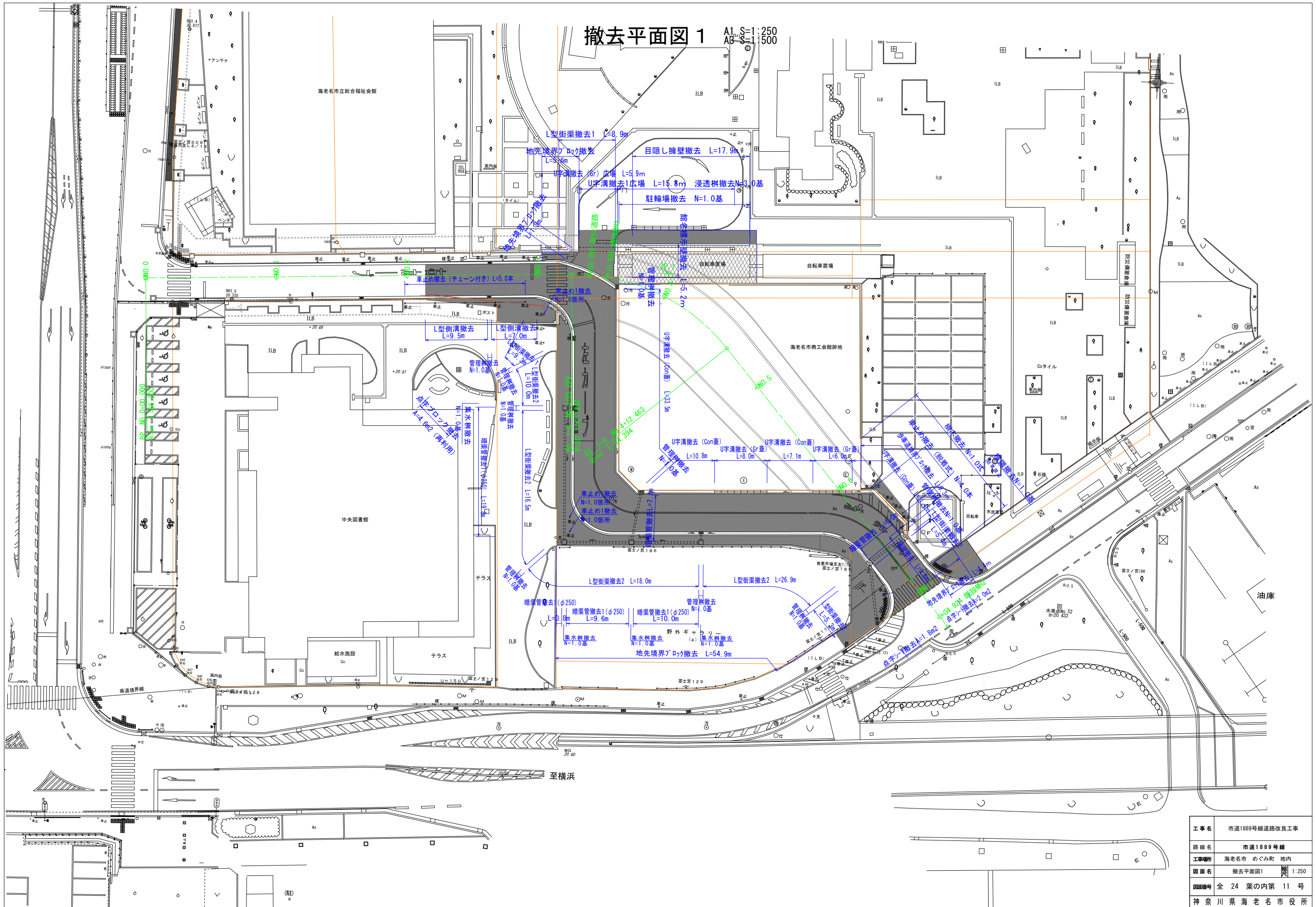


項目	面積 (m2)
掘削	1. 60 夜2. 08
床掘り	0. 70
盛土	
埋戻し RC-40	0. 51
埋戻し 雑生土	
置換え	
床掘り (下水)	
埋戻し (下水)	別紙

工事名	市道1889号線道路改良工事
路線名	市道1889号線
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内
図面名	横断面(2) 図 1:100
図面番号	全 24 葉の内第 8 号
神奈川県海老名市役所	

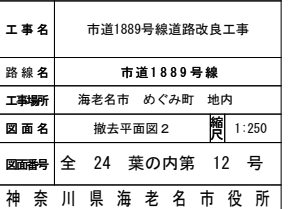
撤去平面図 1

A1-S=1:250
A3-S=1:500



工事名	市道1889号線道路改良工事
路線名	市道1889号線
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内
図面名	撤去平面図1
図面番号	全 24 葉の内第 11 号
縮尺	1:250
備考	神奈川県海老名市役所

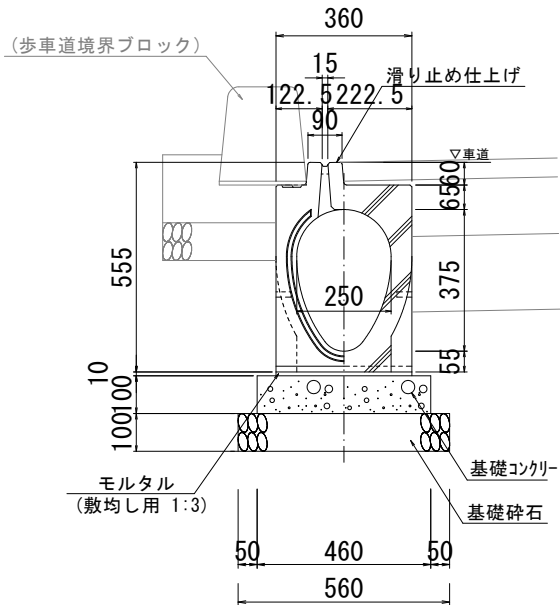
A1 S=1 : 250
A3 S=1 : 500



構造図（１）

縦断側溝①

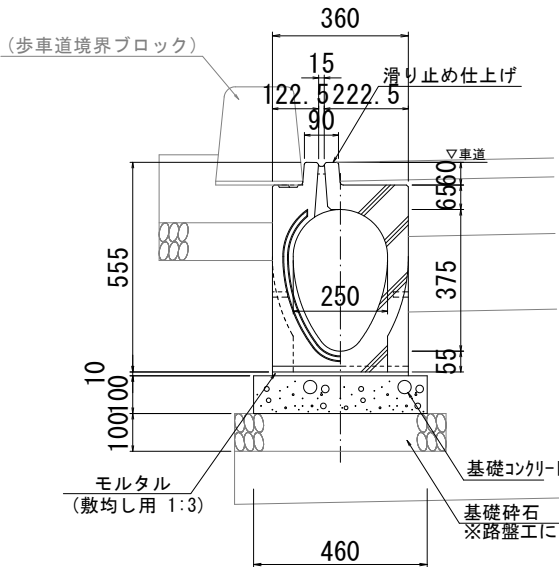
標準 S=1:10



材料表 (10m当り)				
名称	規格寸法	単位	数量	摘要
都市型側溝	自転車通行帯用/300用	本	5	L=2.0m/本
型枠		m ²	2.00	
敷モルタル	1:3	m ³	0.04	
基礎コンクリート	18-8BB	m ³	0.46	
基礎砕石	RC-40	m ²	5.60	

縦断側溝②

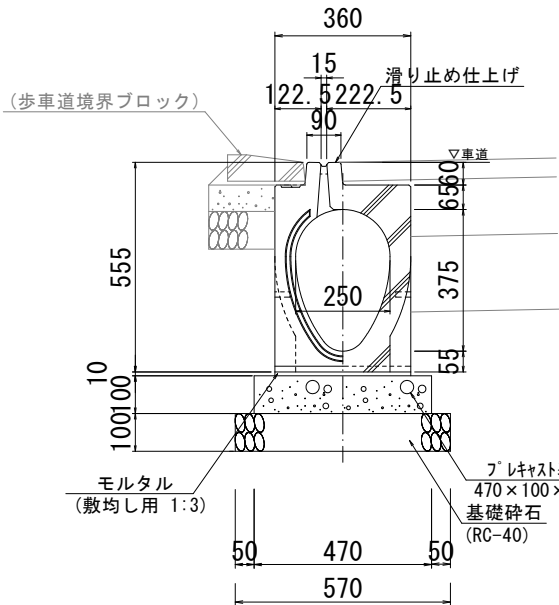
基礎砕石無し S=1:10



材料表 (10m当り)				
名称	規格寸法	単位	数量	摘要
都市型側溝	自転車通行帯用/300用	本	5	L=2.0m/本
型枠		m ²	2.00	
敷モルタル	1:3	m ³	0.04	
基礎コンクリート	18-8BB	m ³	0.46	

縦断側溝③

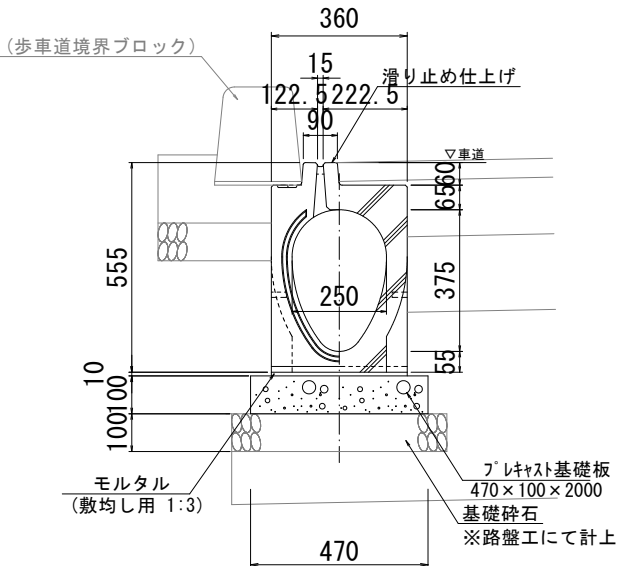
プレキャスト S=1:10



材料表 (10m当り)				
名称	規格寸法	単位	数量	摘要
都市型側溝	自転車通行帯用/300用	本	5	L=2.0m/本
敷モルタル	1:3	m ³	0.04	
プレキャスト基礎板	470×100×2000	枚	5.00	
基礎砕石	RC-40	m ²	5.70	

縦断側溝④

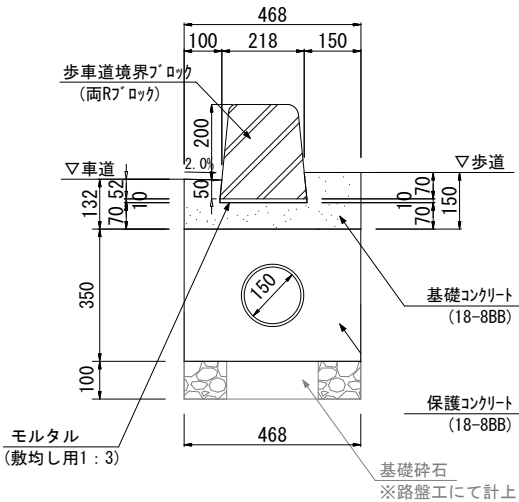
プレキャスト/基礎砕石なし S=1:10



材料表 (10m当り)				
名称	規格寸法	単位	数量	摘要
都市型側溝	自転車通行帯用/300用	本	5	L=2.0m/本
敷モルタル	1:3	m ³	0.04	
プレキャスト基礎板	470×100×2000	枚	5.00	

L型側溝（摺付け）

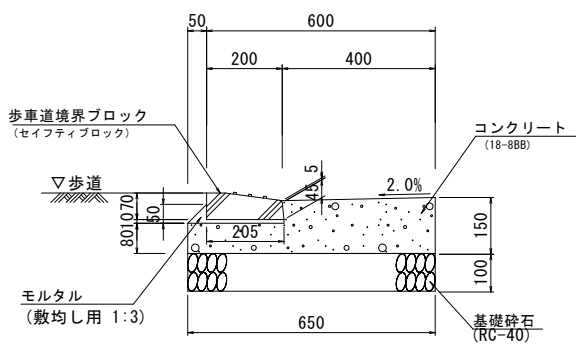
S=1:10



材料表 (10m当り)				
品名	形状寸法	単位	数量	摘要
歩車道境界ブロック	180/230×250×600	個	16.5	
型枠		m ²	2.82	L型側溝部
基礎コンクリート	18-8BB	m ³	0.53	L型側溝部
モルタル	敷き均し用1:3	m ³	0.02	
型枠		m ²	7.00	保護コン部
保護コンクリート	18-8BB	m ³	1.42	
塩ビ管	φ150	本	2.50	

L型側溝

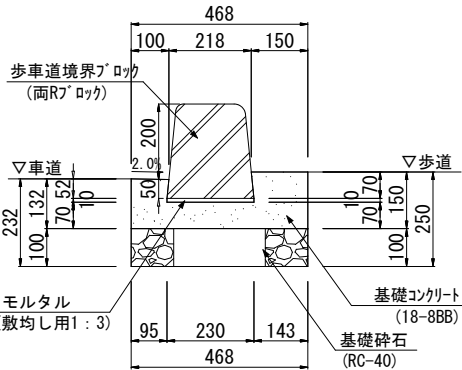
S=1:10



材料表 (10m当り)				
名称	形状寸法	単位	数量	備考
歩車道境界ブロック		個	16.5	
敷モルタル	1:3	m ³	0.02	
コンクリート	18-8BB	m ³	0.70	
型枠	一般	m ²	2.30	
基礎砕石	RM-40	m ²	6.50	

L型側溝 1

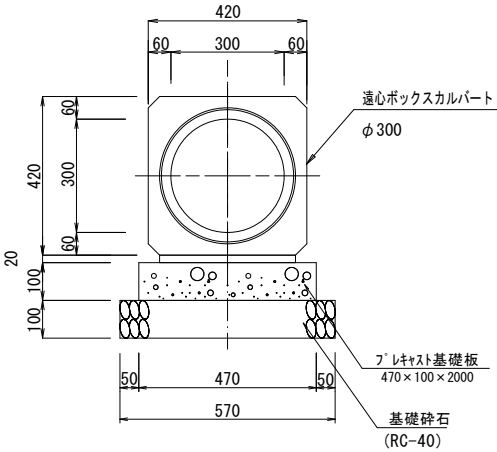
S=1:10



材料表 (10m当り)				
品名	形状寸法	単位	数量	摘要
歩車道境界ブロック	180/230×250×600	個	16.5	
基礎砕石	RC-40	m ²	4.68	
型枠		m ²	2.82	
基礎コンクリート	18-8BB	m ³	0.53	
モルタル	敷き均し用1:3	m ³	0.02	

横断暗渠

S=1:10



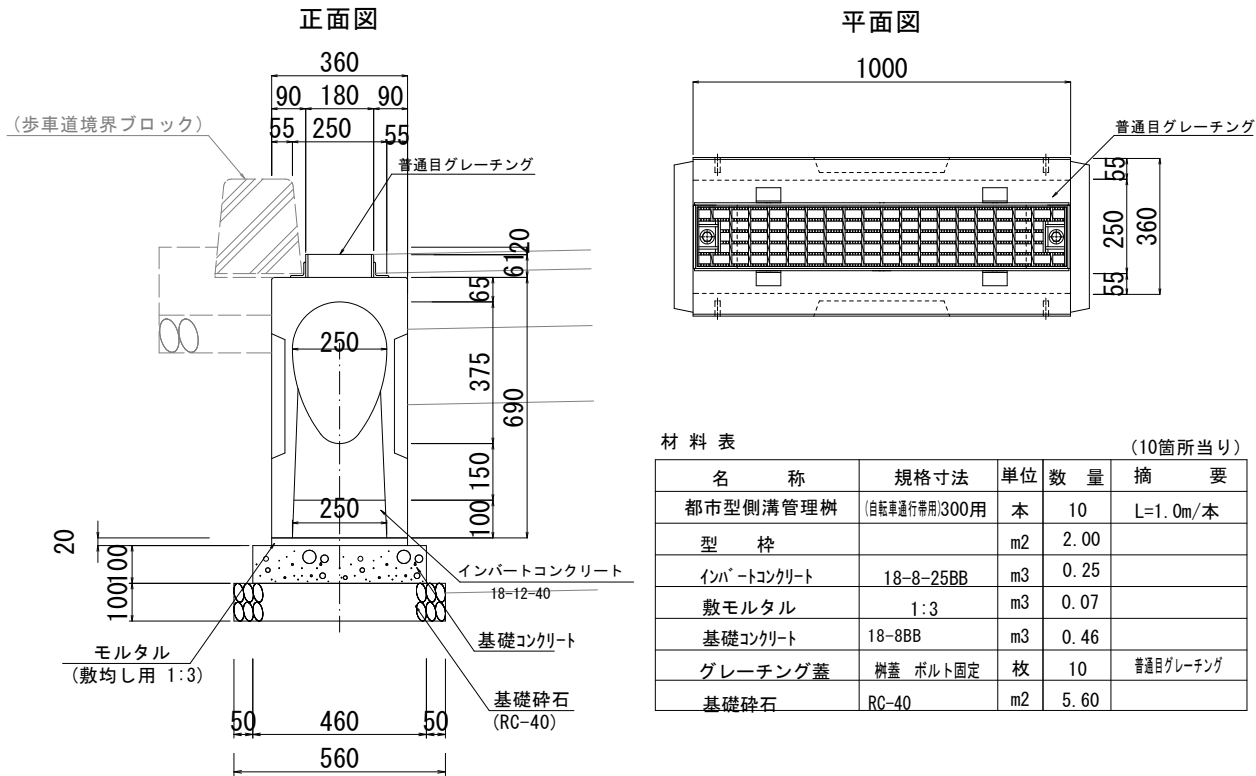
材料表 (10m当り)				
名称	形状寸法	単位	数量	備考
横断暗渠(CSB)	φ300	本	4.16	L=2.4m/本
敷モルタル	1:3	m ³	0.07	
プレキャスト基礎板	B=470 t=100	枚	5.0	L=2.0m/枚
基礎砕石	RC-40 t=100	m ²	5.70	

工 事 名	市道1889号線道路改良工事		
路 線 名	市 道 1 8 8 9 号 線		
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内		
図 面 名	構造図(1)	縮尺	1 : 10
図面番号	全 24 葉の内第 13 号		
神奈川県海老名市役所			

構造図（２）

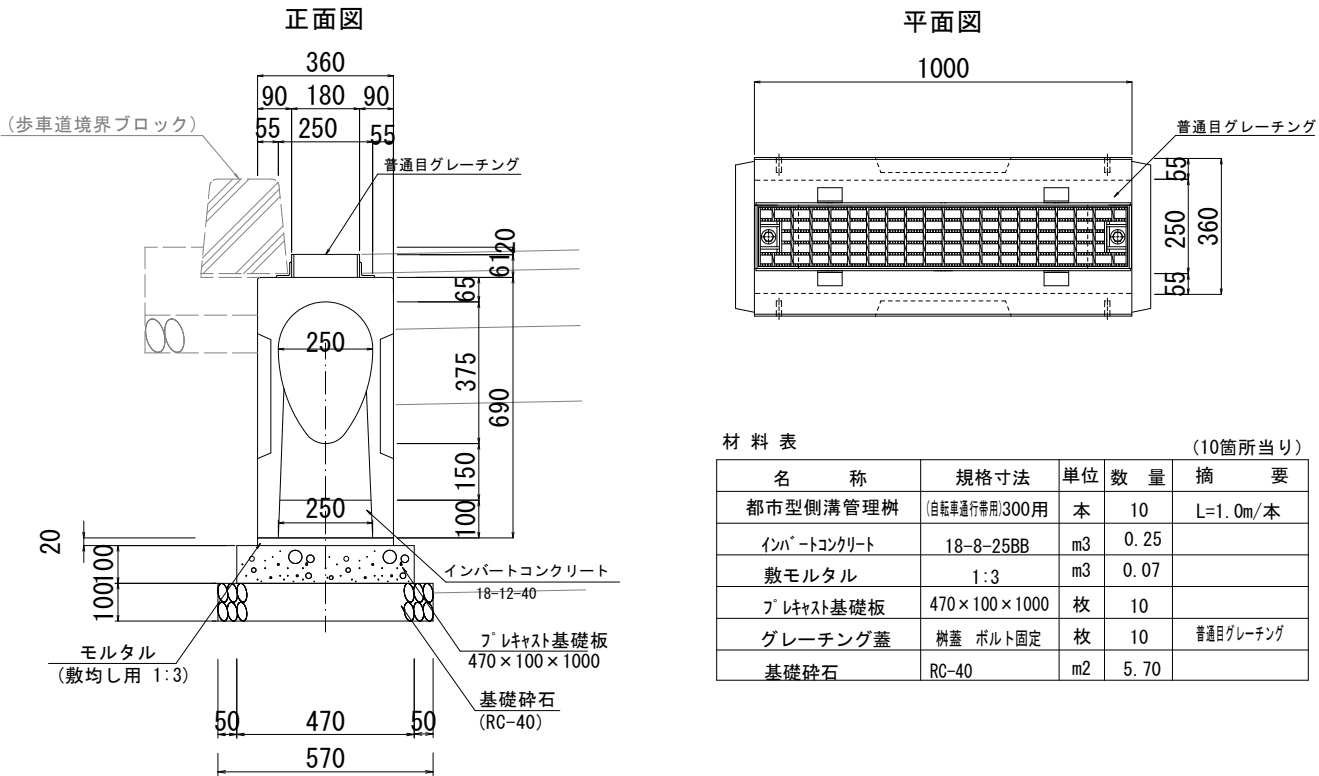
管理樹①

標準/普通目 S=1:10



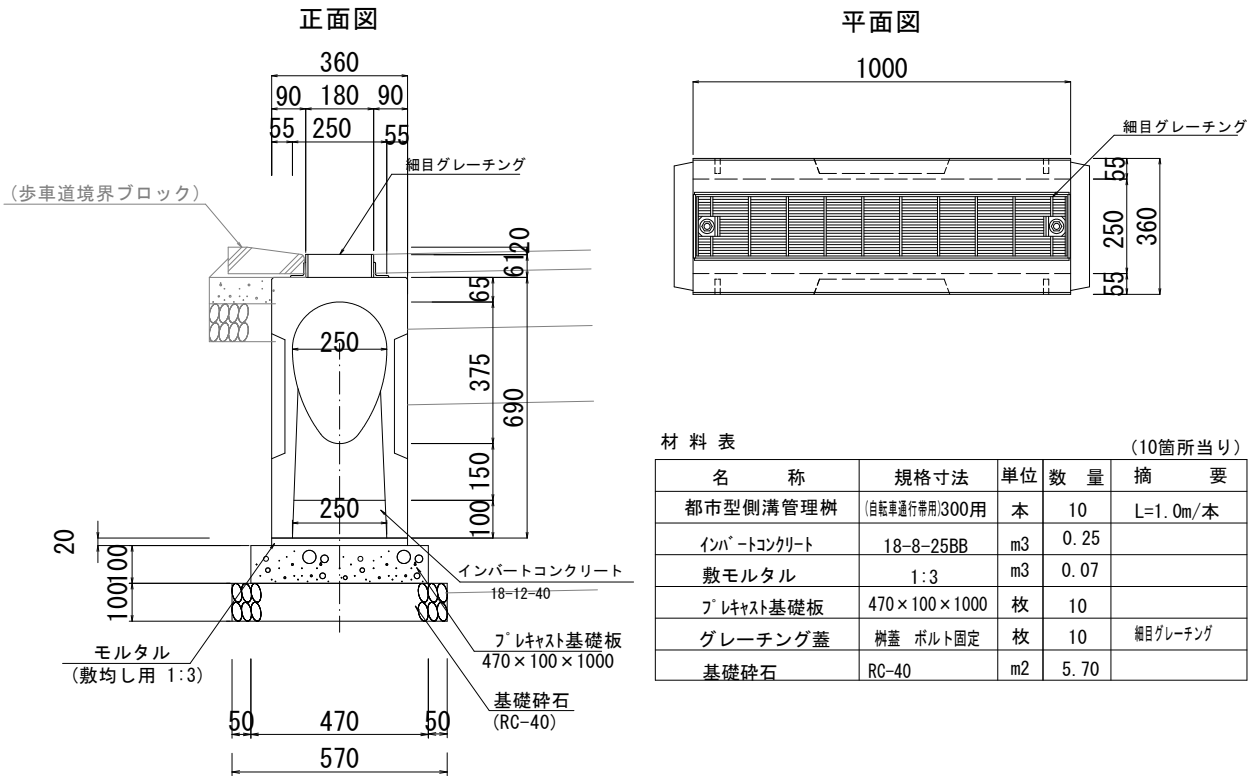
管理樹②

プレキャスト/普通目 S=1:10



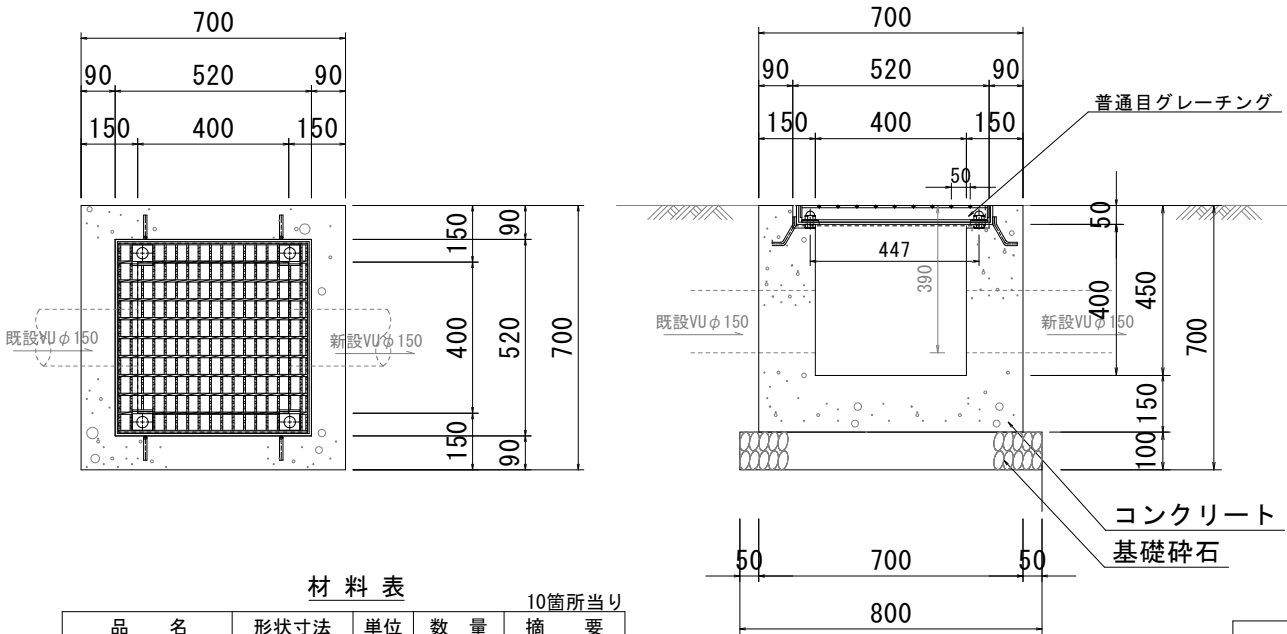
管理樹③

プレキャスト/細目 S=1:10



集水樹口400

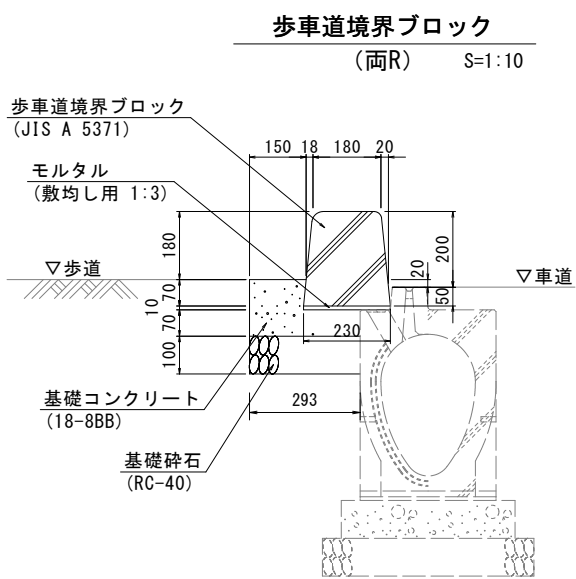
S=1:10



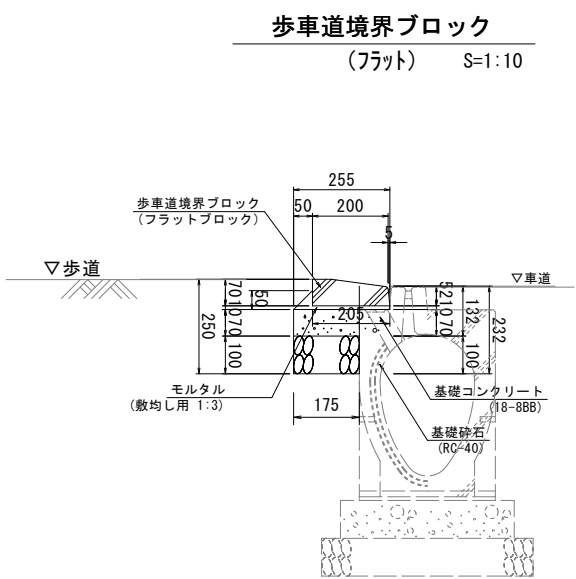
※ノリツリ仕様製の製品を仕様すること。

工 事 名	市道1889号線道路改良工事		
路 線 名	市 道 1 8 8 9 号 線		
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内		
図 面 名	構造図(2)	縮尺	1 : 10
図面番号	全 24 葉の内第 14 号		
神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所			

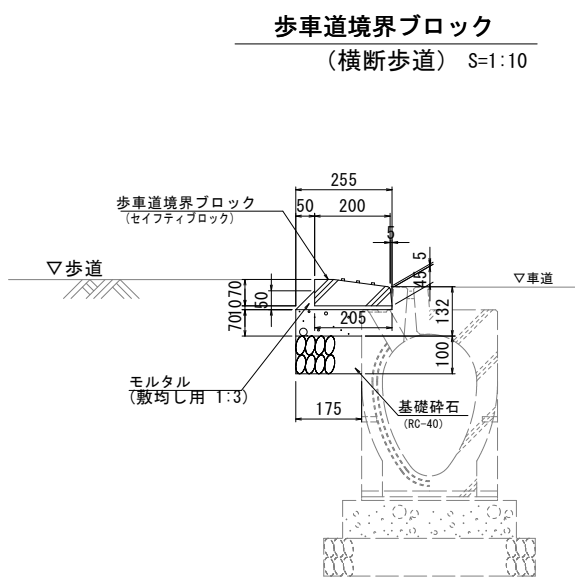
構造図（3）



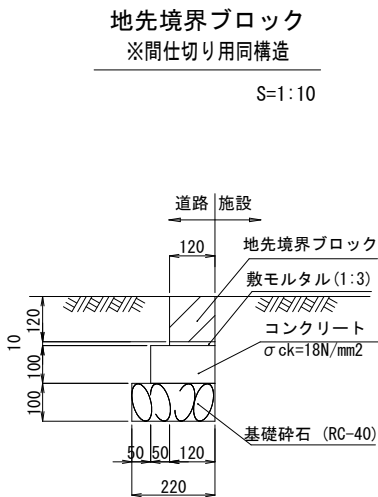
材料表 10m当り				
名 称	形状寸法	単位	数 量	備 考
歩車道境界ブロック	両R	個	16.5	
モルタル	敷均し用 1:3	m3	0.02	
基礎コンクリート	18-8BB	m3	0.33	
型 枠		m2	1.50	
基礎砕石	RC-40, t=10cm	m2	2.93	



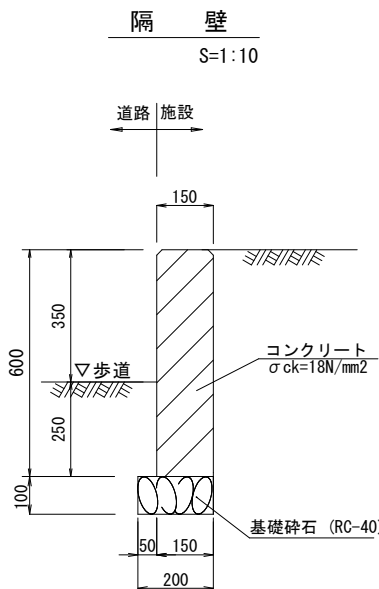
材料表 10m当り				
名 称	形状寸法	単位	数 量	備 考
歩車道境界ブロック	フラット	個	16.5	
モルタル	敷均し用 1:3	m3	0.02	
基礎コンクリート	18-8BB	m3	0.14	
型 枠		m2	0.70	
基礎砕石	RC-40, t=10cm	m2	1.75	



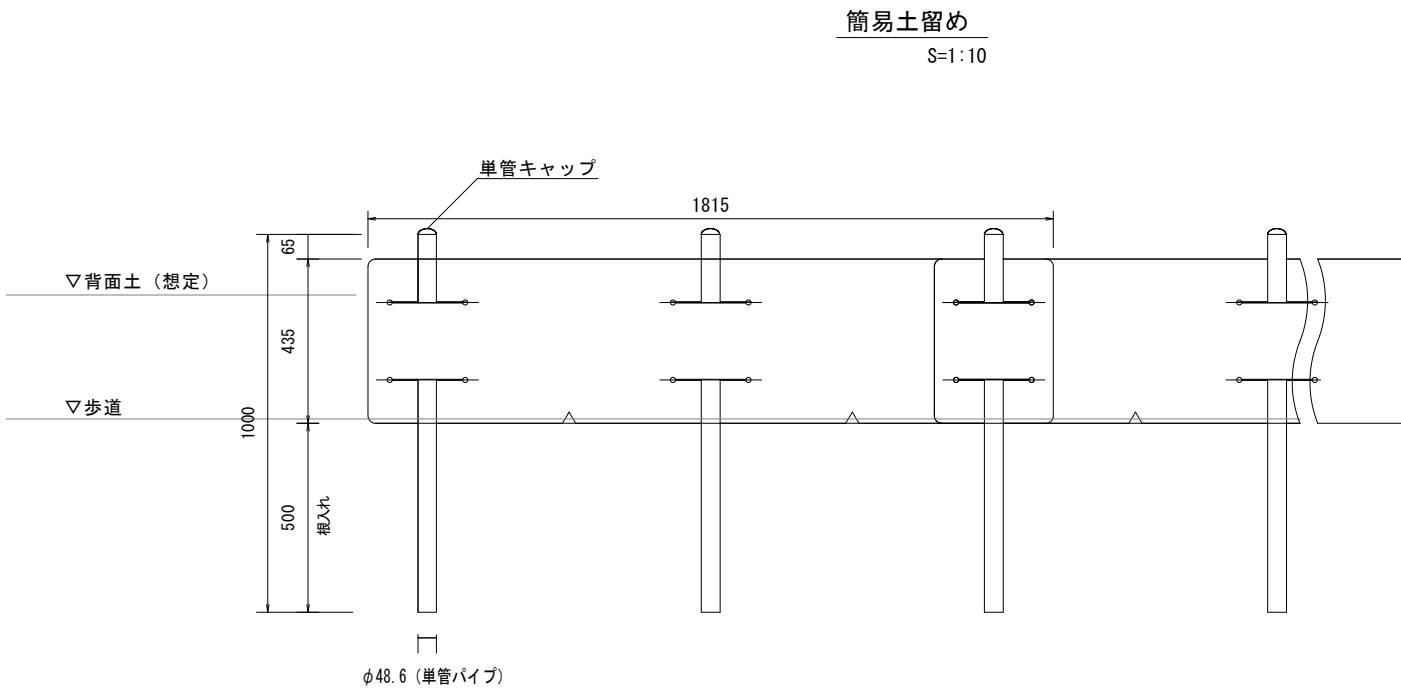
材料表 10m当り				
名 称	形状寸法	単位	数 量	備 考
歩車道境界ブロック	横断歩道	個	16.5	
モルタル	敷均し用 1:3	m3	0.02	
基礎コンクリート	18-8BB	m3	0.14	
型 枠		m2	0.70	
基礎砕石	RC-40, t=10cm	m2	1.75	



材 料 表 10箇所当り				
品 名	形状寸法	単位	数 量	摘 要
地先境界ブロック	120×120×600	個	16.5	L=0.60m/本
モルタル	1:3	m3	0.01	
基礎コンクリート	18N/mm2	m3	0.17	
型 枠		m2	2.00	
基礎砕石	RC-40 t=100	m2	2.20	



材料表 10m当り				
品 名	形状寸法	単位	数 量	摘 要
コンクリート	18N/mm2	m3	0.90	
型 枠		m2	12.0	
基礎砕石	RC-40 t=100	m2	2.00	

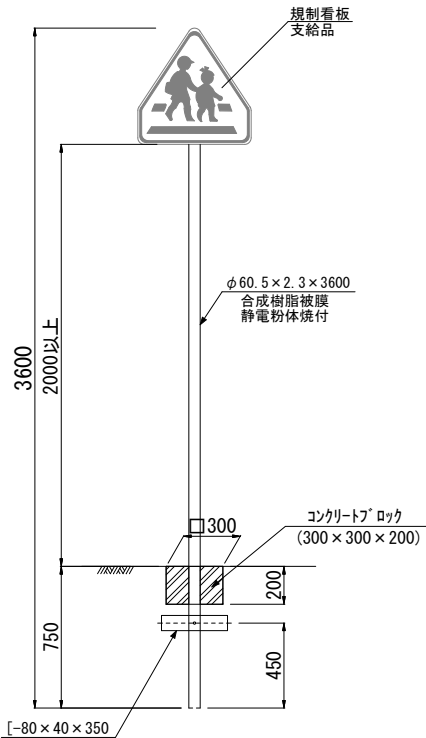


材料表 1.0式当り				
品 名	形状寸法	単位	数 量	摘 要
土留鋼板	435mm×1815mm	枚	5.00	
単管パイプ	φ48.6mm×1000mm	本	11.00	
単管キャップ		個	11.00	

工 事 名	市道1889号線道路改良工事		
路 線 名	市 道 1 8 8 9 号 線		
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内		
図 面 名	構造図(3)	縮尺	1：10
図面番号	全 24 葉の内第 15 号		
神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所			

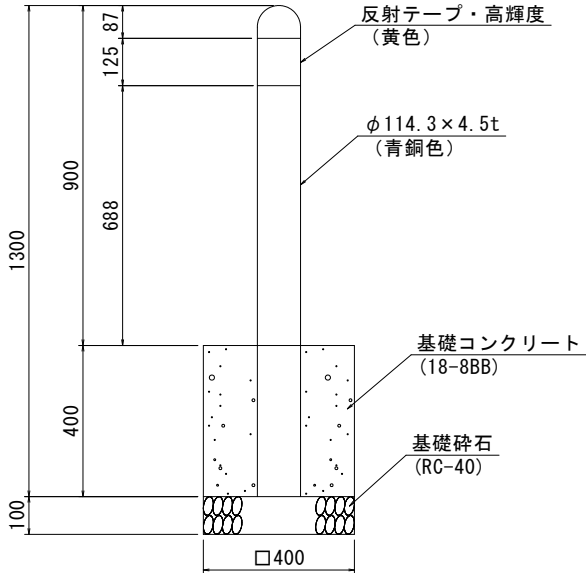
構造図（４）

標識移設
S=1:20



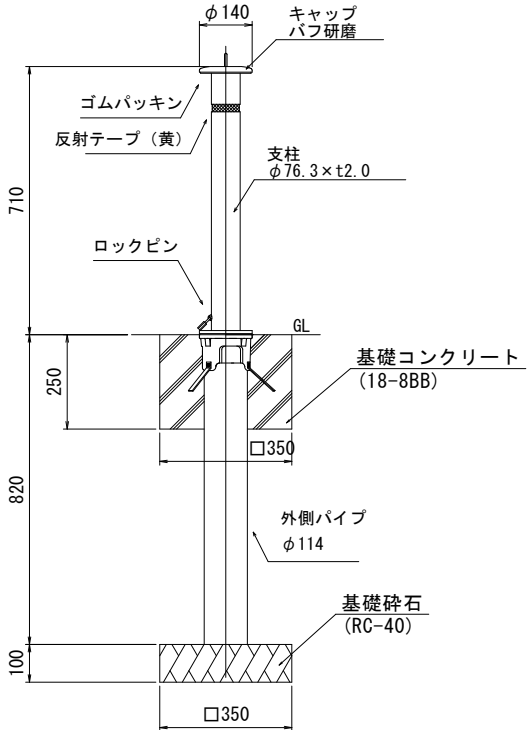
材料表					
					10箇所当り
品名	形状寸法	単位	数量	摘要	
標識版	耐蝕7mm板 400×600	枚	10.0	看板支給	
支柱	φ60.5×2.3×3600	本	10.0		
プレート	[-80×40×350]	本	10.0		
コンクリート'ロック	300×300×200	個	10.0		

車止め
S=1:10



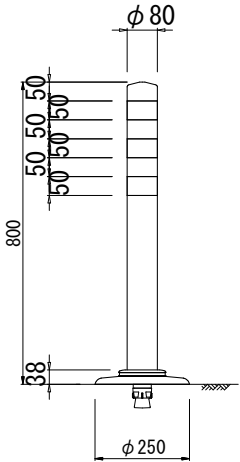
材料表					
					10箇所当り
名称	形状寸法	単位	数量	備考	
車止めポスト	φ114.3×4.5t	本	10.0		
基礎コンクリート	18-8BB	m ³	0.60		
型枠		m ²	6.40		
基礎砕石	RC-40, t=10cm	m ²	1.60		

車止め（脱着式）
S=1:10



材料表					
					10箇所当り
名称	形状寸法	単位	数量	備考	
車止めポスト	φ114・外側パイプ含む	本	10.0		
基礎コンクリート	18-8BB	m ³	0.28		
型枠		m ²	3.50		
基礎砕石	RC-40, t=10cm	m ²	1.23		

歩道誘導標設置
S=1:10

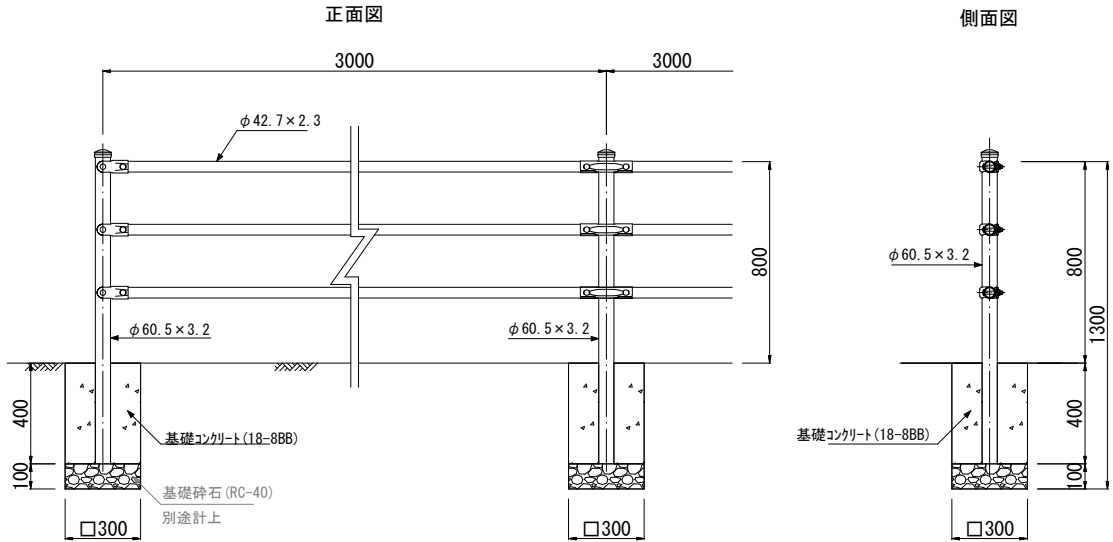


材料表					
					(10本当り)
名称	規格寸法	単位	数量	摘要	
車線分離標	L=800	本	10.0		

工 事 名	市道1889号線道路改良工事		
路 線 名	市 道 1 8 8 9 号 線		
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内		
図 面 名	構造図(4)	縮尺	図 示
図面番号	全 24 葉の内第 16 号		
神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所			

構造図（５）

横断防止柵 S=1:15

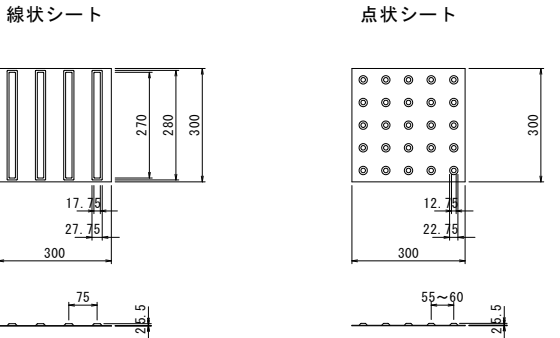


材料表

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
横断防止柵	H=800	m	10.0	
基礎碎石	RC-40	m ³	0.27	
基礎コンクリート	18-8BB	m ³	0.10	
型枠		m ²	1.44	

点字シート

S=1:10

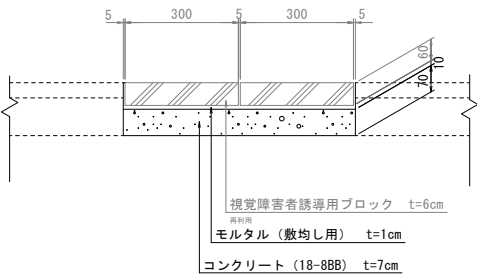


材料表

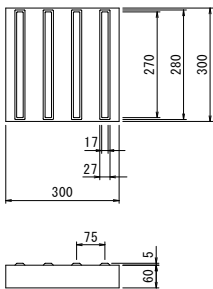
品名	形状寸法	単位	数量	摘要
点字シート		枚	100.0	
接着剤	アクリル樹脂	kg	28.0	

点字ブロック（再利用）

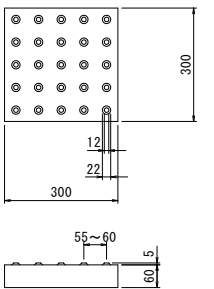
S=1:10



線状ブロック



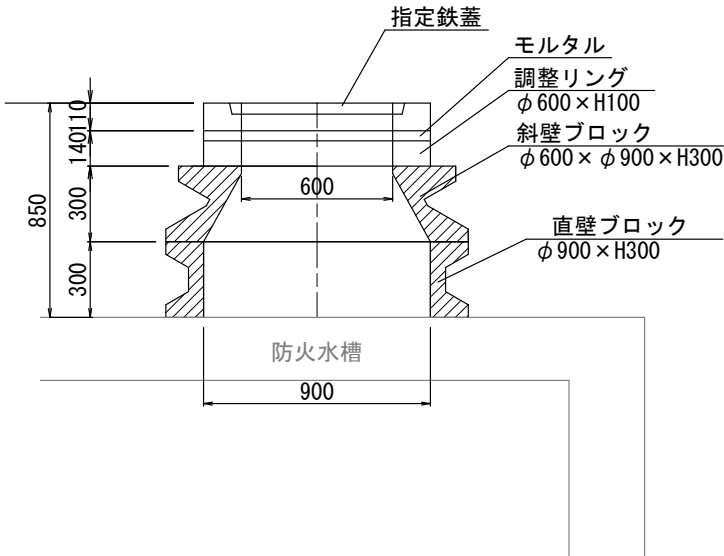
点状ブロック



材料表

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
誘導ブロック		枚	107.5	
基礎コンクリート	18-8BB	m ³	0.70	
モルタル		m ³	0.10	

防火水槽人孔改修 S=1:15



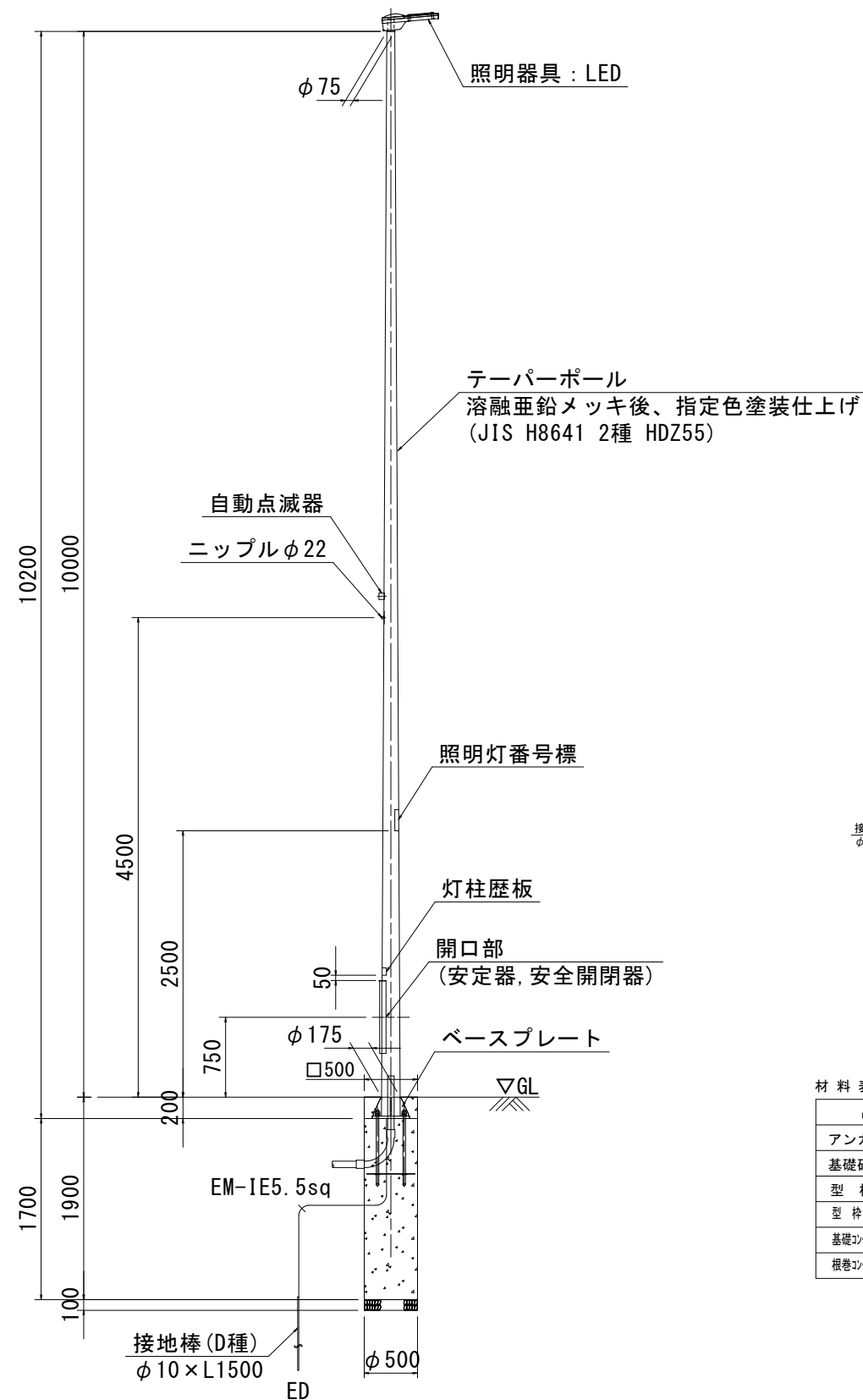
材料表

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
指定鉄蓋（受枠含む）		枚	10.0	消防指定
直壁ブロック		基	10.0	
斜壁ブロック		基	10.0	
調整リング		基	10.0	
モルタル		kg	200.0	

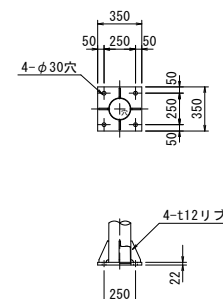
工 事 名	市道1889号線道路改良工事		
路 線 名	市 道 1 8 8 9 号 線		
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内		
図 面 名	構造図(5)	縮尺	1 : 10
図面番号	全 24 葉の内第 17 号		
神奈川県海老名市役所			

構造図(6)

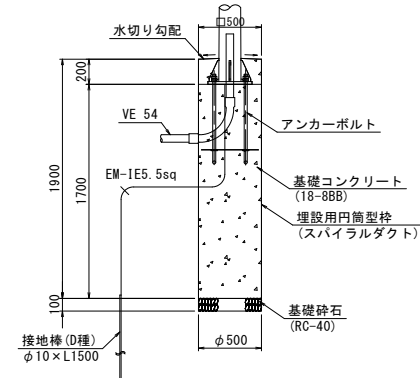
照明柱姿図 S=1:30



ベースプレート



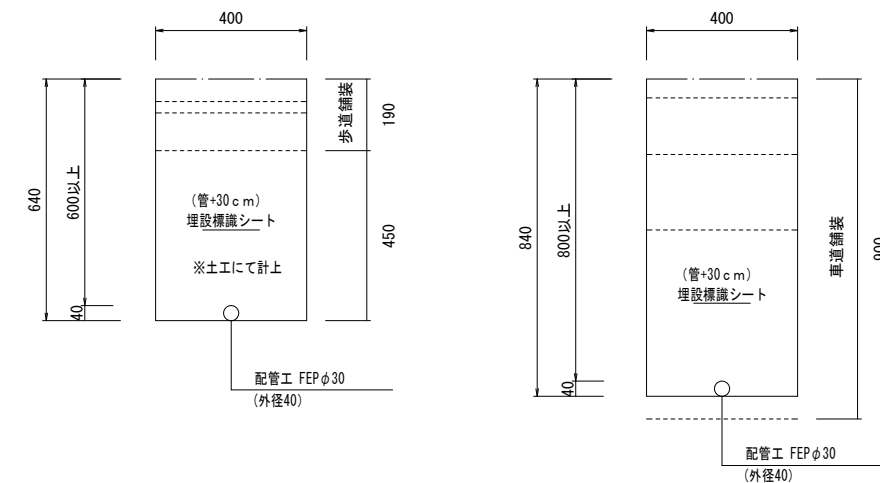
照明灯基礎



材 料 表 照 明 柱 基 礎

品 名	形状寸法	単位	数 量	摘 要
アンカーボルト	4-M24 L700	組	1.00	
基礎砕石	RC-40	m2	0.20	
型 枠	3/4 5/8 外φ500	m	1.90	
型 枠 (根巻エンガート用)		m2	0.40	
基礎エンガート	18-8BB	m3	0.37	
根巻エンガート	18-8BB	m3	0.05	

埋設管 S=1:10



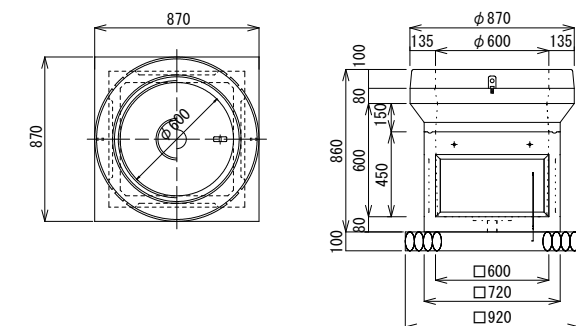
材 料 表

品 名	形状寸法	単位	数 量	摘 要
FEP管	φ40	m	10.0	
埋設シート		m	10.0	

10m当り

ハンドホール S=1:20

(T-8, 鎖・パッキン付) (600x600x600)



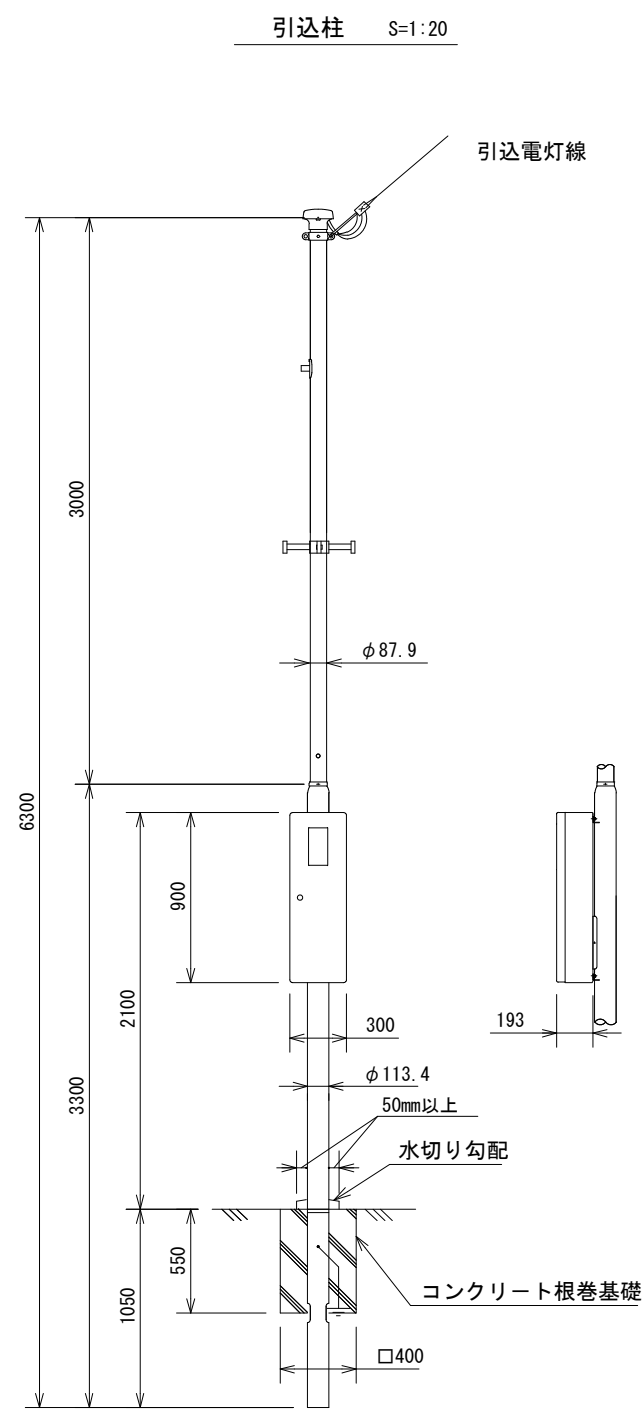
材料表

品 名	形状寸法	単位	数 量	摘 要
ハンドホール	鉄蓋含む	基	1.0	
基礎碎石	RC-40	m2	0.85	t=100mm

1基当り

工 事 名	市道1889号線道路改良工事		
路 線 名	市 道 1 8 8 9 号 線		
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内		
図 面 名	構造図(6)	縮尺	図 示
図面番号	全 24 葉の内第 18 号		
神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所			

構造図（ 7 ）

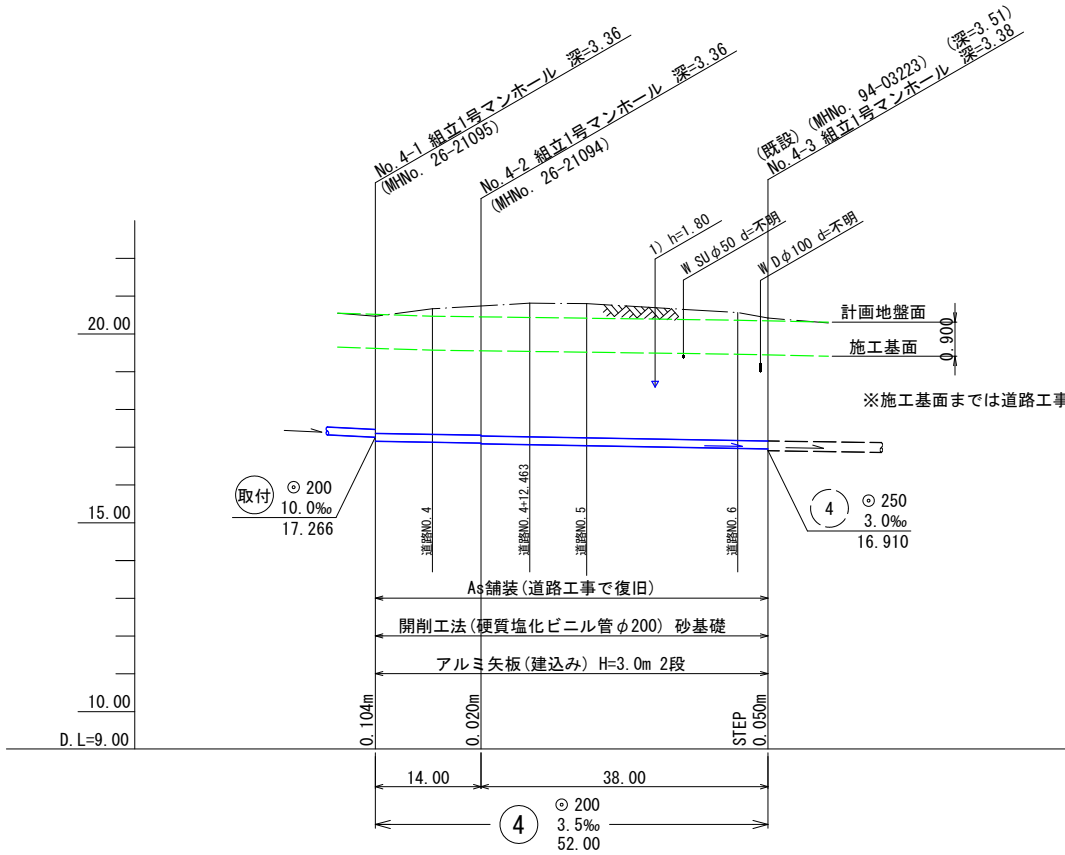


材 料 表 引込柱 1.0基当り				
品 名	形状寸法	単位	数 量	摘 要
引込柱		本	1.00	
分電盤		基	1.00	
自動点滅器		基	1.00	
型枠		m2	0.88	
根巻コンクリート	18-8BB	m3	0.08	

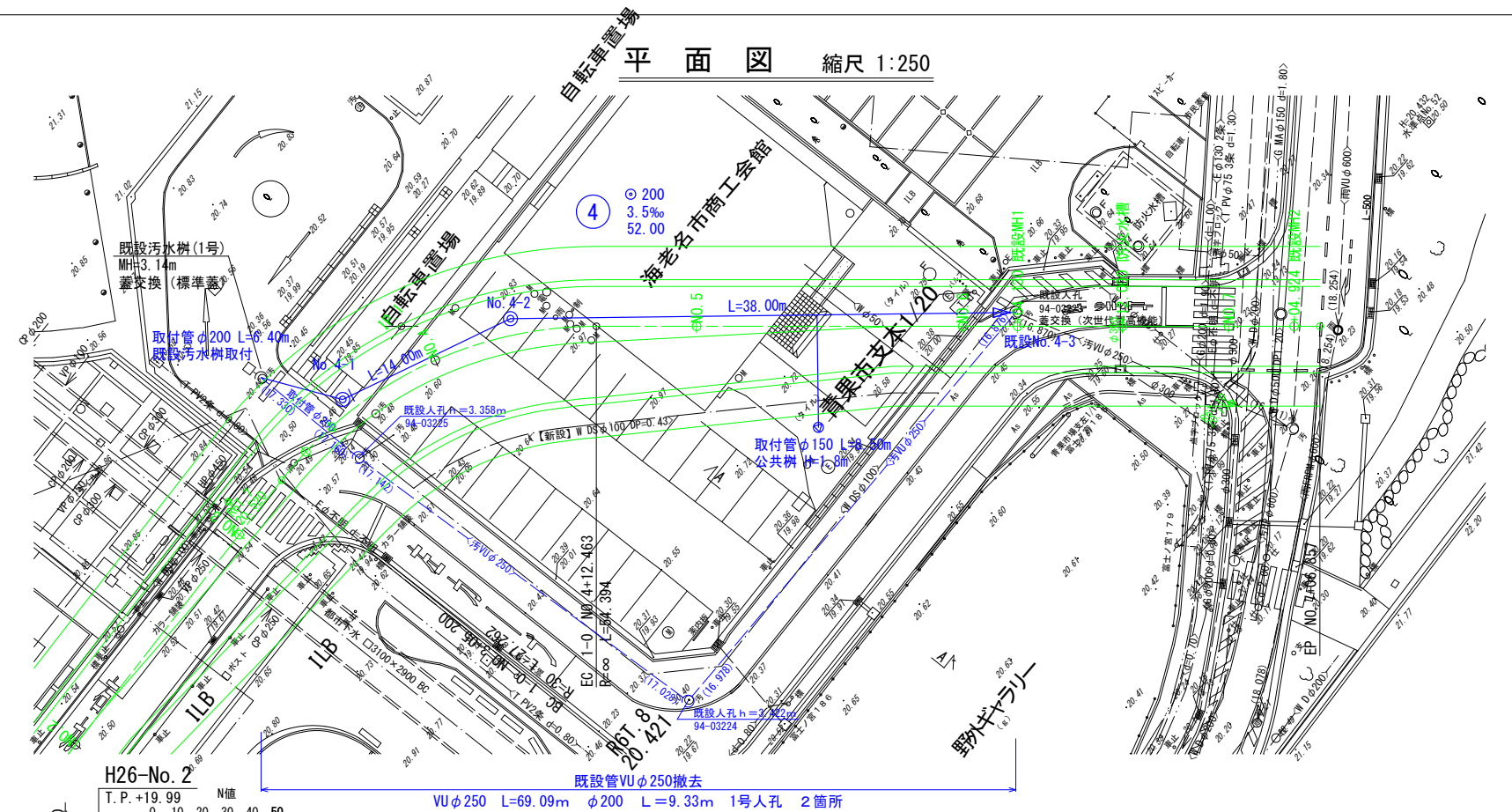
注記
1. ポールの表面処理は溶融亜鉛めっき後、指定色塗装とする。
2. 標準色：ダークブラウン

工 事 名	市道1889号線道路改良工事		
路 線 名	市 道 1 8 8 9 号 線		
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内		
図 面 名	構造図(7)	縮尺	図 示
図面番号	全 24 葉の内第 19 号		
神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所			

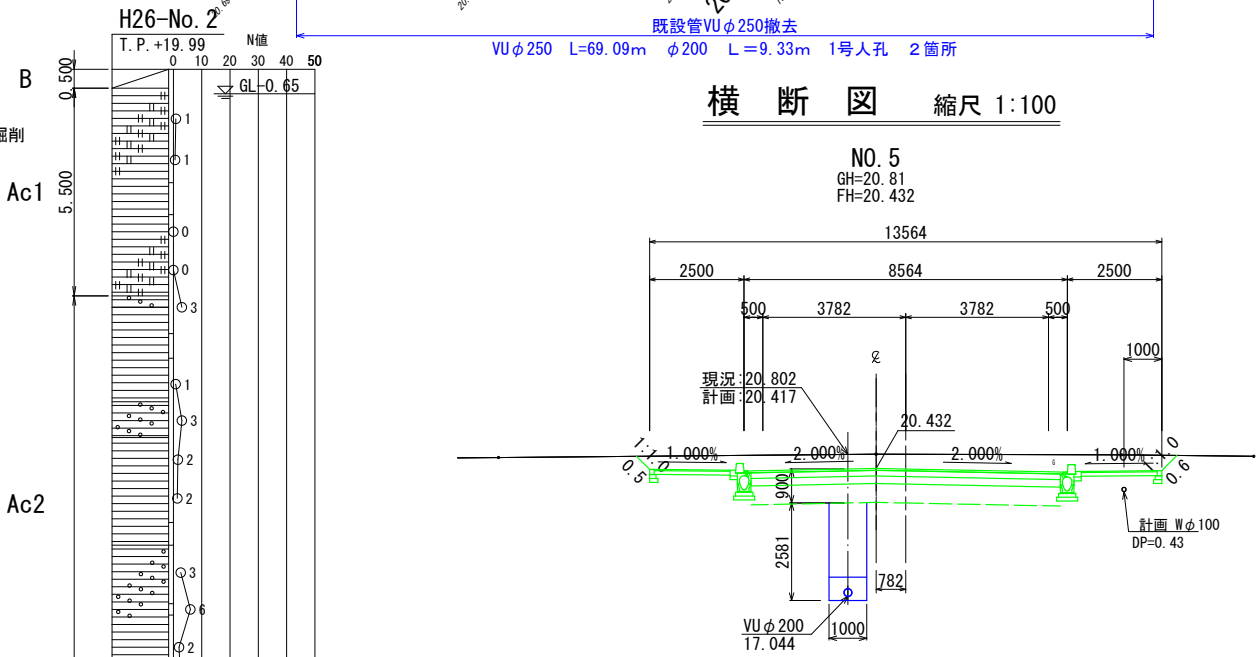
縦断面図 縦=1:100 縮尺 横=1:500



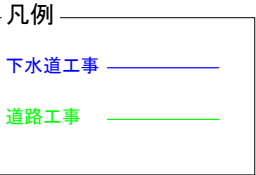
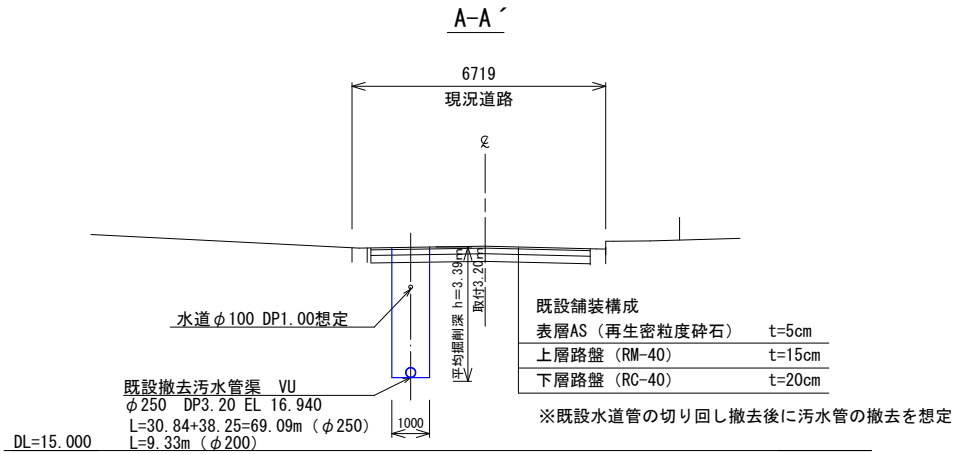
現況地盤高	20.47	20.74	20.42
計画地盤高	20.52 (19.62)	20.45 (19.55)	20.34 (19.44)
土被り	3.15	3.13	3.17
管底高	17.162	17.113	16.960
掘削深	2.57 (2.56)	2.55 2.57	2.59 (2.58)
追加距離	0.00	14.00	52.00
単距離	0.00	14.00	38.00
人孔番号	4-1	4-2	既設4-3



横断面図 縮尺 1:100



撤去標準断面図 縮尺 1:100



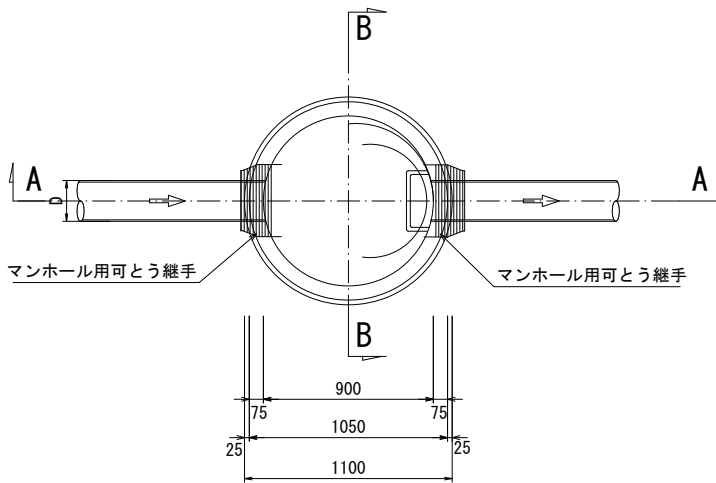
路線番号	4
------	---

工 事 名	市道1889号線道路改良工事
処理区名	公共下水道 左21分区
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内
図 面 名	平面図・縦断面図
図面番号	全 24 葉の内 第 20 号
神奈川県海老名市役所	

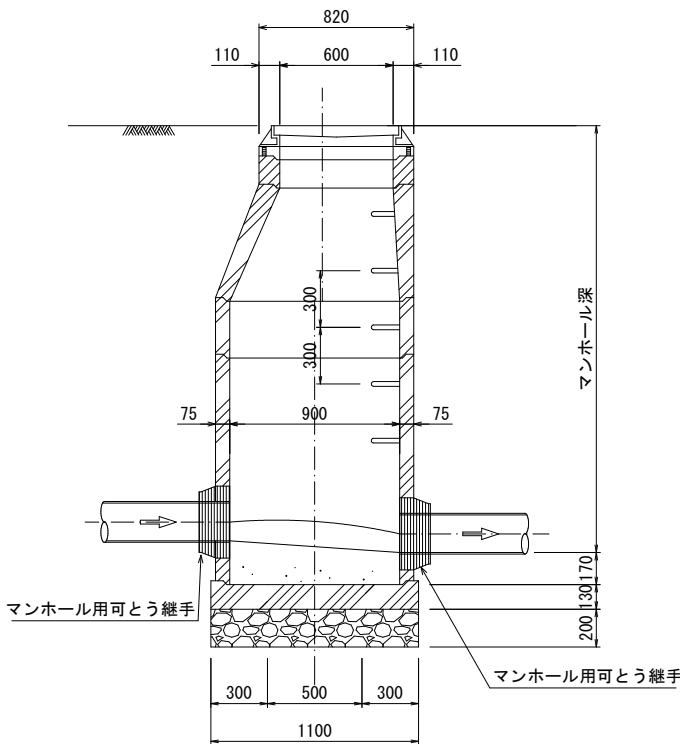
1号組立マンホール標準構造図 縮尺 1:20

※人孔深さH=2.00m以上は転落防止梯子付鉄蓋とすること
※緊急輸送路及び2車線以上の場合は
マンホール蓋はT-25を使用すること
※調整リングは50mmは使用不可とすること
※調整モルタルは30mm以上使用すること

平面図

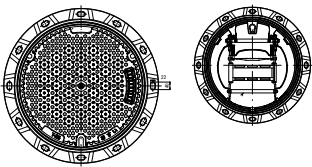


A-A 断面図

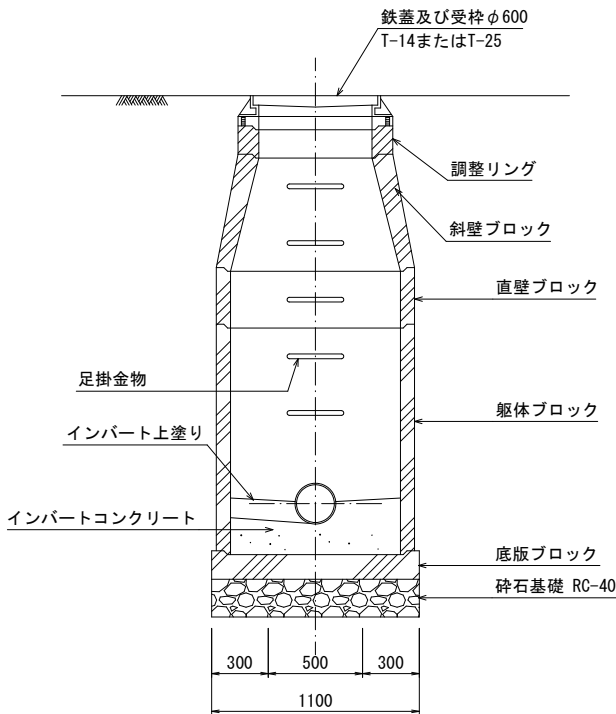


指定鉄蓋（次世代型高機能）

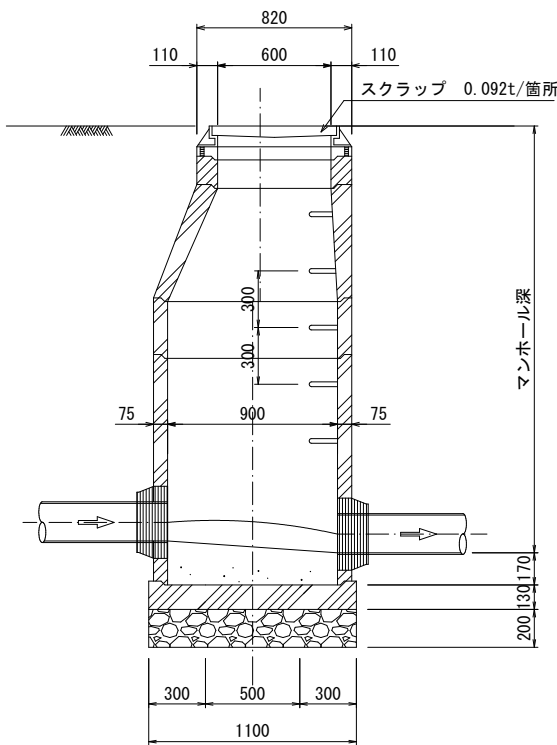
縮尺無し（参考図）



B-B 断面図



撤去標準図



VUφ250



断面積 A=0.06m²

VUφ200



断面積 A=0.04m²

躯体

$$(0.525 \times 0.525 \times \pi) - (0.45 \times 0.45 \times \pi) \\ = 0.230\text{m}^2 \times 3.39 \text{ (平均深)} \\ = 0.780\text{m}^3$$

斜壁

$$((0.375 \times 0.375 \times \pi) + (0.525 \times 0.525 \times \pi)) / 2 \times 0.45 \\ - ((0.30 \times 0.30 \times \pi) + (0.45 \times 0.45 \times \pi)) / 2 \times 0.45 \\ = 0.088\text{m}^3$$

底板

$$0.55 \times 0.55 \times \pi \times 0.13 \\ = 0.124\text{m}^3$$

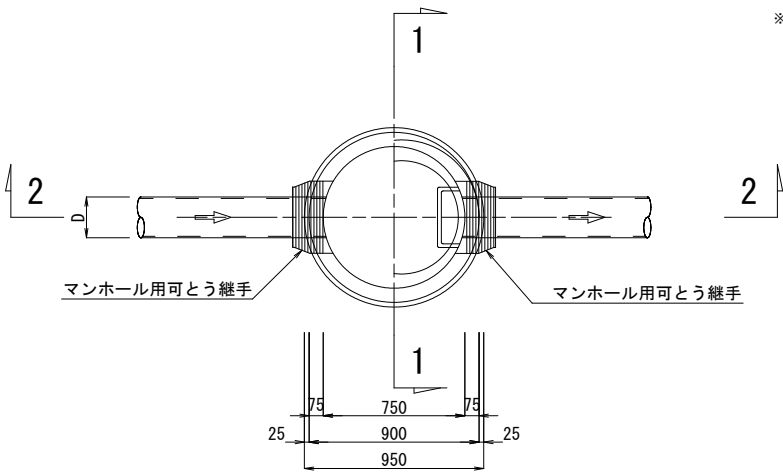
インパートコンクリート

$$= 0.160\text{m}^3 \text{ (数量計算書より)}$$

工事名	市道1889号線道路改良工事
処理区名	公共下水道 左21分区
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内
図面名	1号組立マンホール標準構造図 図面 1:20
図面番号	全 24 葉の内 第 21 号
神奈川県海老名市役所	

0号組立マンホール標準構造図 S=1:20

平面図



※50mmの調整リングは使用しないこと。

※マンホール深さ3～5mごとに中間スラブを設ける。

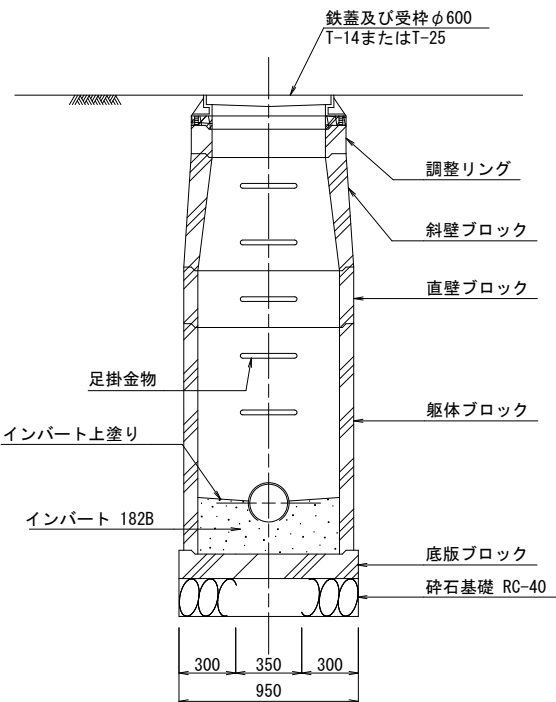
※緊急輸送路または車道が2車線以上の場合は、マンホール蓋はT-25を使用する。

※マンホール深さ2.0m以上は転落防止梯子付鉄蓋とすること。

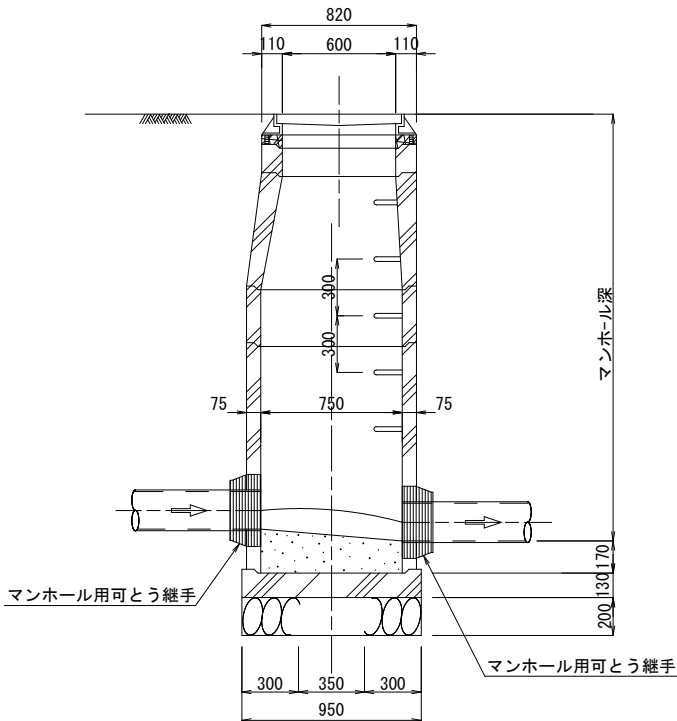
※調整モルタルは30mm以上とする。

※歩道や「ワッドアップ」部では、300mm斜壁ブロックは使用不可とする。

1-1断面図



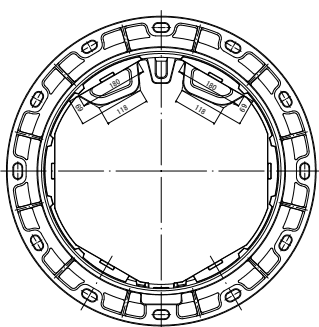
2-2断面図



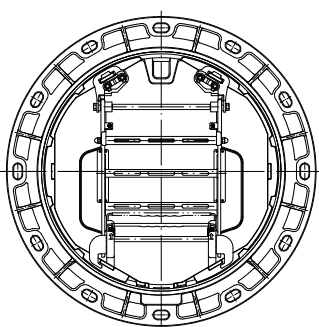
マンホール蓋



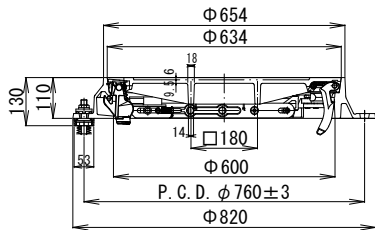
マンホール枠



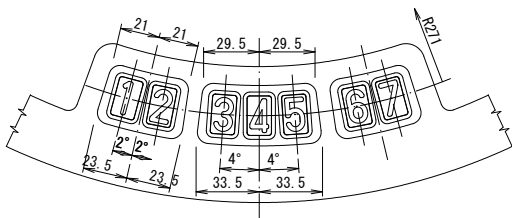
転落防止梯子付



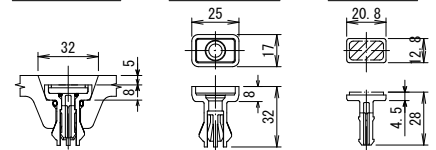
カバー・フレーム断面図



キャップ取付平面図



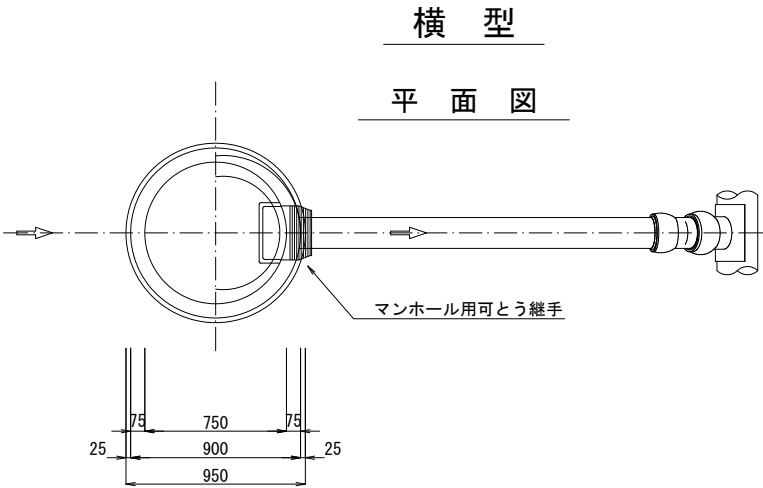
キャップ取付断面図 外枠キャップ詳細図 キャップ詳細図



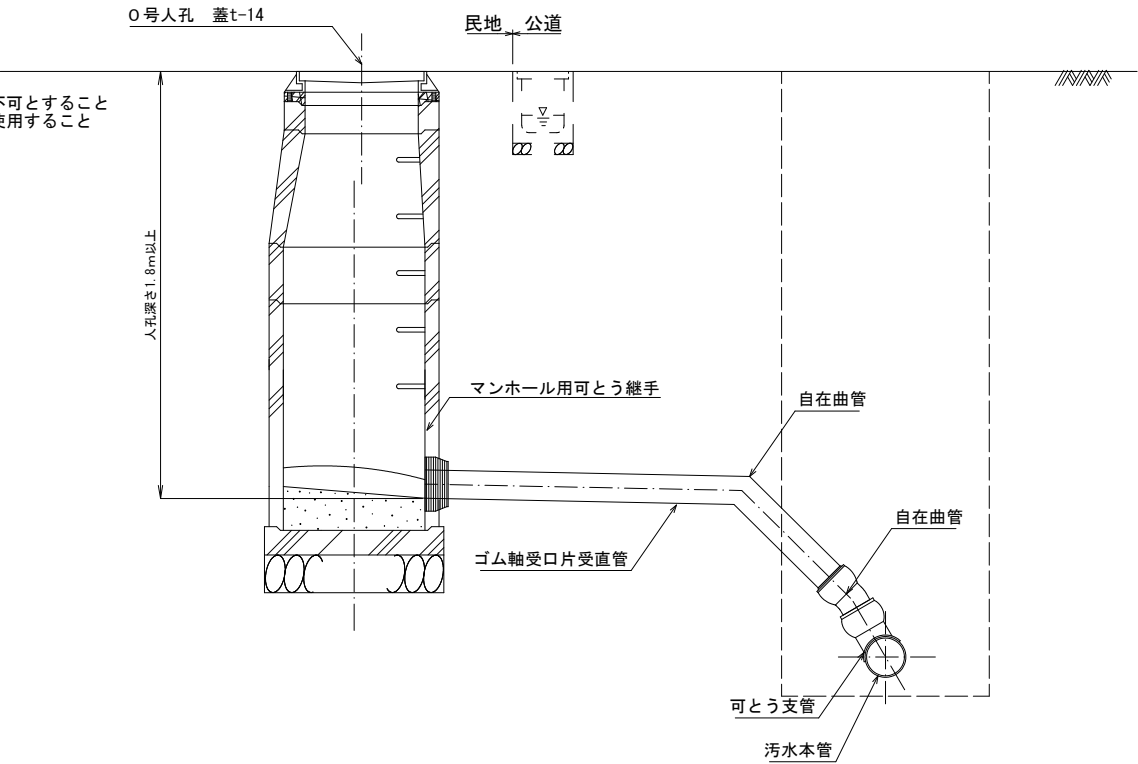
工 事 名	市道1889号線道路改良工事
処理区名	公共下水道 左21分区
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内
図 面 名	0号組立マンホール標準構造図 図示
図面番号	全 24 葉の内 第 22 号
神奈川県海老名市役所	

硬質塩化ビニル管基礎標準図

汚水桧取付管標準図

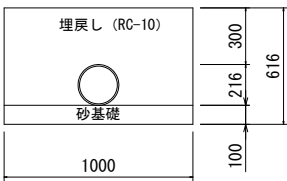


縦断面図

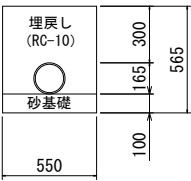


※調整リングは50mmは使用不可とすること
※調整モルタルは30mm以上使用すること

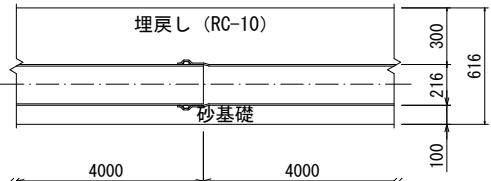
断面図



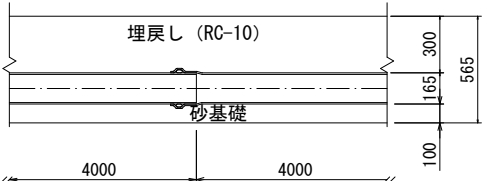
断面図(取付管部)



縦断面図



縦断面図(取付管部)

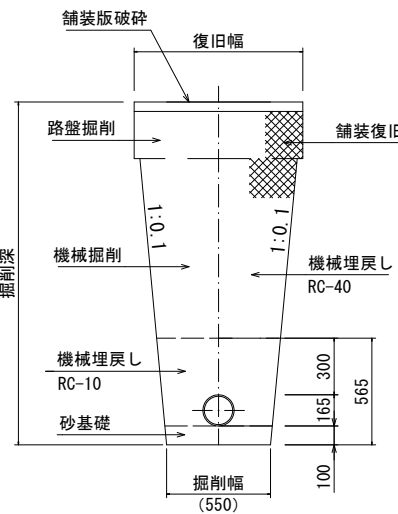


土工標準図

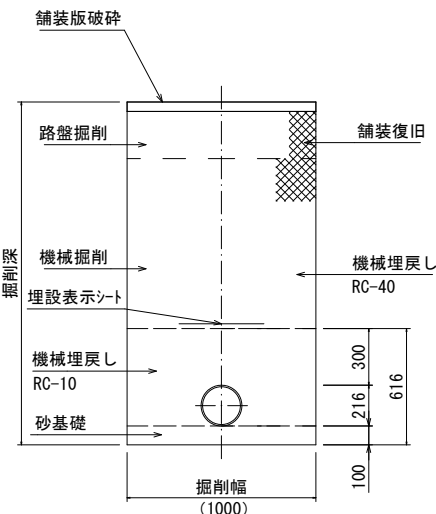
取付管
(塩ビ管φ150・200)

本管
(塩ビ管φ200)

掘削 埋戻し



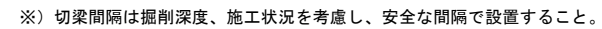
掘削 埋戻し



工事名	市道1889号線道路改良工事
処理区名	公共下水道 左21分区
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内
図面名	取付管・土工標準図 図 1:20
図面番号	全 24 葉の内 第 23 号
神奈川県海老名市役所	

縮尺 1:20

平面图

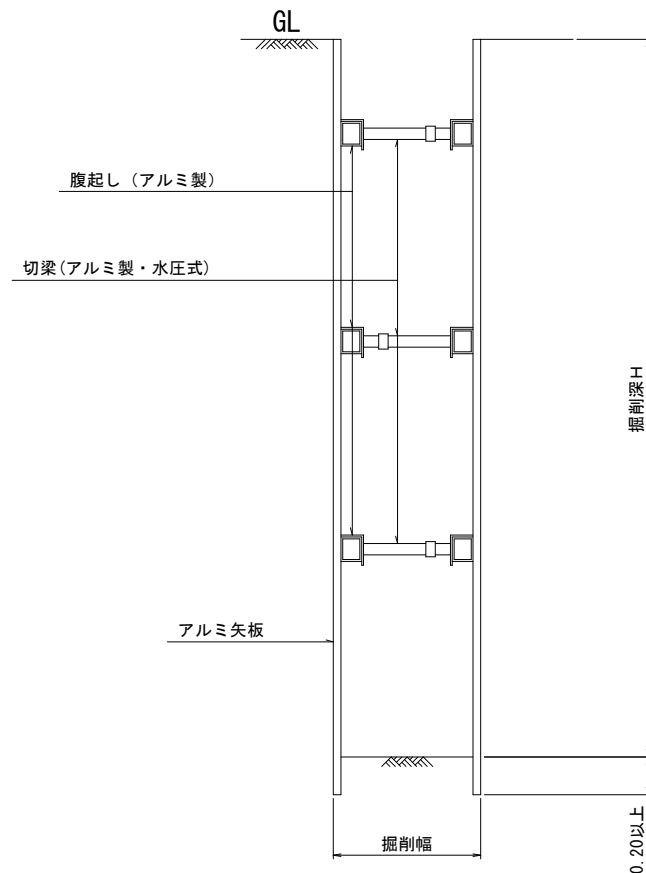


矢板設置基準

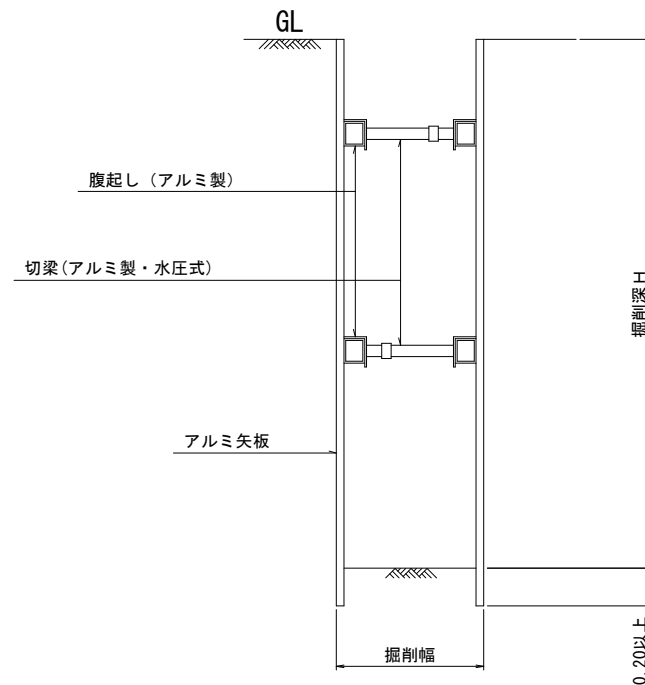
掘削深 (m)	矢板材	支保工段数
	矢板長 (m)	
$1.5 < H \leq 1.8$	2.0	1
$1.8 < H \leq 2.0$	2.5	1
$2.0 < H \leq 2.3$	2.5	2
$2.3 < H \leq 2.8$	3.0	2
$2.8 < H \leq 3.3$	3.5	2
$3.3 < H \leq 3.5$	4.0	2
$3.5 < H \leq 3.8$	4.0	3

断面図

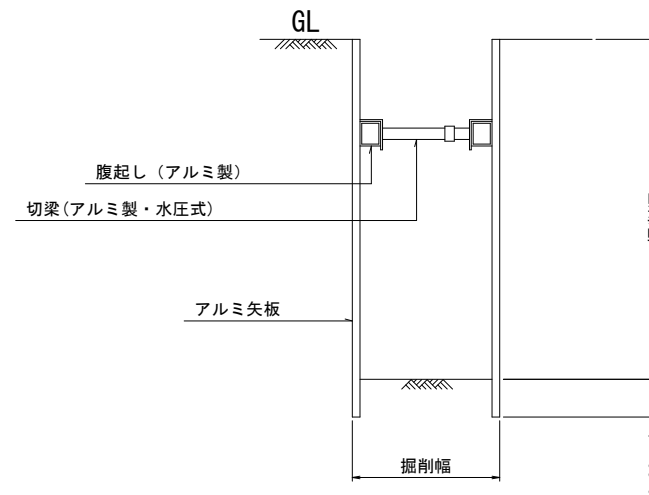
3 段 支 保
3.50m < H ≤ 3.80m



2 段 支 保
2.00m < H ≤ 3.50m



1 段 支 保
1.50m < H ≤ 2.00m



工 事 名	市道1889号線道路改良工事		
処理区名	公共下水道 左21分区		
工事場所	海老名市 めぐみ町 地内		
図 面 名	アルミ矢板土留工標準図	審 判	1:20
図面番号	全 24 葉の内 第 24 号		
神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所			